臺灣日日新報 夕刊
三月二十六日

支那側讓步せねば停戰會議の前途暗憺

二十五日の會議内容

【上海二十五日發電通】本日の停戰會議の中心となれる我軍の撤收問題に關し支那側は[illegible]に先づ第一に我軍が閘北及び其の附近に撤退すべきを主張して止まず、之に對し我方は次の如き主張を述べ强硬態度を示したるに支那側は會議を[illegible]て逃れんとする氣あり、會議決裂の危機に瀕したので日本側は[illegible]支那側の態度に付き反省を求め[illegible]するに決したのである。日本側が我軍の撤收に付き主張したる要旨は左の如くで主として田代參謀長が説明の任に當つた[illegible]

[illegible]の線の以内で停戰協定としては之以上讓步する事が出來ぬと云ふにある、現在我軍の兵員は〇〇〇〇、馬匹〇〇〇あり、この衛生及び作戰の設備を考慮する時は實際問題として之を共同租界とその附近に收容する事は不可能であつて、上述の[illegible]の線は最大限度の讓步地域である、尤も右線の前方に日本軍を全部配置すると云ふ意味でなくその線以内に日本軍を撤收し右線で同時に事件再發の危險を防衞せんとするのが和平保障のため必要であると云ふにある、右に對し列國公使

及び列國の各國武官は日本側の主張を妥當と認めた樣子であつたが正式には意思表示をせず、支那側は[illegible]日本の主張する線では國民が承知しないから絶對に承認出來ぬと[illegible]、若し日本がこの點を讓步しなくばこの會議は究極において決裂に終る外なしとまで放言した[illegible]日本側の主張が緩和されぬ限り會議の前途は少しも光明を見出しがたく悲觀的空氣濃厚である

[illegible]に對し列國が如何なる回答を寄[illegible]

重要問題では意見は一致せず

重光公使が聲明

【上海二十五日發電通】本日の正式和平會議後、重光公使は左の如きコンミユニケを發表した

午後の會議に於て新たに具體的事項の討議に到達した、而議は重要ならざる問題では逐次進捗してゐるが、重要問題では彼我の意見が一致を見るに至らず、困難を感じつつある、此の困難打開の爲め爾者の努力を要しつつある、明日は午前十時から會議を開き、個目の討議に入る[illegible]

新竹州水產會總會

【新竹電話】新竹州水產會にては二十四日午前十時から州會議室に[illegible]豫算、七年度事業施行法等を[illegible]附議した

滿洲國の通告と各國の空氣

何れも有利に轉向

【北平二十五日發電通】滿洲新國[illegible]

本庄軍司令官に軍刀を贈る

九州切つての銘刀鍛冶、福岡縣[illegible]九州刀匠[illegible]氏（六十八歳）は今回本庄軍司令官に軍刀獻納の爲め[illegible]本庄軍司令官に[illegible]を贈つた

（寫眞は軍刀を手に喜ぶ本庄司令官隣が森氏）

次期特別議會に關稅改正案を提出

今議會の成績を見た藏相が主稅局に調査を急がす

【東京二十六日發電通】高橋藏相は六十一議會が閉る政府に有利な形勢を以て終了したので之に力を得て、次期特別議會に關稅の根本的改正案を提出すべく主稅局に調査を急がしむることとなつた、即ち金輸出再禁止後の我國經濟狀勢に[illegible]し產業の保護助成を目的とする改正を斷行せんとするものである

一、從價稅は我國關稅の八割近くを占めてゐるが爲替下落の結果比較的輕安となつてゐるものも多く且つ產業保護の見地より改正の餘地あるもの少くないので之が引上をなすこと

一、從價稅中には一般關稅と關聯せしめて考慮する必要あるもののなきや否や[illegible]改正眼目となつてゐると

鰻香でなかつた川村邸の歡喜

『此の前の酒があるから大いに飲み給へ……』とご大機嫌

上述からお祝の振廻りが繼いた

【東京二十六日發本社特電】どうやら待だけで終りさうだつた司法大臣の椅子が今度こそは大丈夫と付込んだ二十五日午後川村竹治氏邸の電話がチリ〳〵と鳴る、取次の書生、森官長から就任式參内の用意の知らせに飛上つて二階書齋に朝から待つてゐた主人へ御注進[illegible]二度目の

歡喜の 燕尾モーニング

[illegible]に運んだ川村さん『前の燕尾だからネー君』

新大臣あまり嬉しくもなささうな顏をして見せた

『大分ためたやうですが、自信はありましたか』

『ブランまあ嬉しい話は北さうに』とニヤリ〳〵笑つて見せる

『此の前は澤山お祝の酒を貰つて腐らしてしまつた、酒は腐つてゐない飲まないか』

[illegible]御機嫌がいい川村女學院の校長さん文子夫人も飛んで歸つてくる

『今日はどうかと思つてゐましたのですがお蔭樣で……』

女學生のやうに含羞んでそれでも嬉しさは隱し切れない、燕尾に着替へて再び應接間に現はれた川村さんガツシリ椅子に腰を下す

『また拘束もないが誠心誠意やる、これだけは確かだ』

大臣の椅子を[illegible]右手でドンと膝を叩く

『右翼も左翼も同じやうに極端になつては困る、テロは絶對に掃滅する決心だ』

三時二十分夫人と共に

朗かな 顏に送られて自動車に收まる、給仕政友東北代議[illegible]

臺中州下に農業移民新港に漁業移民

農務課水產課の討議で漸く大體の成案を得

本島に於ける農業、漁業移民問題に就いては殖產局及び水產課に於て先般來研究討議され漸くその大體の成案を得たので上司の決裁を經てその實行に着手する段取りとなつた、即ち農業移民に就いては其の場所は臺中州北斗郡沙山庄に於ける保安林解除跡地約一百甲の肥沃なる土地にして此の地に六年度二十戶、七年度二十戶、八年度以降十年度まで每年三十戶總計百三十戶の移民を招致する計畫である、然るに前年度は既に年度末も接迫してゐるし又本島在住內地人にして熱心に移民たることを希望して居る向もあるので本年度は取敢ず之等の中より眞面目な者を選定して沙山庄に移すこととし島外より

從事 してゐる者農業に關[illegible]にして開墾事業に從[illegible]いてゐる者又は小規模經營者にして[illegible]

新國家の蔭に活躍した熱血の日本女性

私の復讐よ……彼女は言ふ

本社奉天通信員 小濱生

（一）

東亞の一角に、奇蹟の如く出現した滿洲國は、執政に溥儀氏を[illegible]推戴し[illegible]國務總理に、鄭孝胥氏を選任して三千萬民衆の總意を[illegible]年三月一日建國を宣言された。そして、歷史的執政就任式は同月九日、首都長春執政府に於て清朝の古式を以て莊嚴に擧行されたのである。今や、世界の

[illegible]

血潮に よつて[illegible]

[illegible]

女性は [illegible]

[illegible]

敗殘兵 が[illegible]

[illegible]

滿鮮へ發展の爲株式會社を創立

高雄靑果組合で株式の募集に著手

【高雄電話】高雄靑果組合では[illegible]滿鮮支那地方に於ける靑果販路宣傳機關として共合組合を組織する[illegible]株式會社設立の計畫を聞てたが當時これが設立の可否につき意見の一致を見なかつた關係からして

停頓の 狀態にあつた、然るに組合の芭蕉生產は今や百萬籠を突破するの狀態であるので內地市場に對する出荷調節の必要から滿鮮方面に出荷し漸く內地[illegible]市價を維持することは生產者にとつて利益であるといふ見地から設立に至りてこれが設立について意見の一致を見た結果、その計畫を實現すべく既に株式の募集に

著手し たのでこれが設立も遠からざる見込である、同株式會社は資本金五十萬圓、四分の一拂込となり、株式は便宜上一時組合總代と代議員にて引受け生產者をして株主たらしむる方針である

外山司令官廿五日南下

外山臺灣憲兵隊司令官は中南部地方視察のため宮田副官を隨へ二十五日午後十時三十分臺北驛發南下した

[illegible]門圖には附近の子供達や川村女學院の生徒達が列を作つて[illegible]ける萬歲の中を自動車は一路官邸へ夜はお祝の[illegible]を[illegible]新大臣を圍んで文子夫人の心盡しのお料理で一家水入らずの晚餐が賑やかに開かれた

その日その日

○

[illegible]内閣改造で、犬養老首相の面目も立つた――

○

この老[illegible]、[illegible]決めた事に異論たらう〳〵たらうと反對したとて已むを得ぬ――しかし大悲な氣組

○

內務大臣の椅子を副總理と心得てゐる日本には、今後とも此の椅子の争奪戰は跡を絶つまい

○

之で一先づ政局安定た、後に財界と對外政策の刷新しにフンドシを締てかからねばならない

○

政界の根本的な郭清は選擧法の根本的改正にある。なまじつかの改正ならやられ方が增し

○

滿洲國の樂土化は、日本武士の刀にかけても必ず實現させねばならぬものだ、聯盟であらう何れ

○

戶籍法は[illegible]に馬賊を一掃する金本位制も[illegible]

○

支那から一二億の民衆が滿洲へ[illegible]する位の[illegible]

○

國家の重大事を自ら選んで[illegible]

[illegible]

候補

[illegible]

人事

▲小野正雄氏（臺北州[illegible]）三板町三番地（[illegible]）へ移轉

▲太田吾一氏（元臺中州知事）二十八日內地へ歸還

▲北村英明氏（熊本縣警視、特別高等課長）二十六日高雄より來北（鐵道ホテル）二十七日香港へ

◇無絃琴◇

[illegible]

火の鳥

(51)

中村星湖作
吉本雅生畫

春遠からず（四）

小澤夫婦の[illegible]を取らなければならないやうな氣持で、秋山はそのH[illegible]までそこに居て色々な話をし、晚飯の馳走になり、また何や彼と話しつづけてゐるうちに夜も更けて、たうとう泊り込んでしまつた。

『[illegible]の用意はないのだから、[illegible]して寢うんだな。その代り、[illegible]かさねて、[illegible]火は焚きつぱなしにして置いてやるよ。』

[illegible]

婦人倶樂部 別冊附錄
生花獨習方 下
（秘傳を公開された一流の家元大家方の名）
盛り花 投入れ 生花
初めての方にも立派に活けられるので非常な評判！
お花の先生も大喜び
實物そのままの色刷り三十二枚を入れ親切な圖解と說明つきで見ればスグ活けられる
その上、[illegible]の場合や花の運び方、水あげ法、[illegible]全部の秘傳を公開されたので初心者は勿論、先生方も大喜び、大評判です
ぜひ早く御求め下さい
特別附錄 [illegible]
婦人倶樂部四月號は
仕の外、更に重要記事、名小說滿載！
大奉仕 六十錢
講談社 大日本雄辯會講談社

梨樹鎮に兵匪現はれ
鮮人二百餘虐殺の報
掠奪放火虐殺相次ぎ
全市は火の海と化す

【ハルビン二十五日發電通】東支鐵道東部線穆稜鐵道終點梨樹鎮に兵匪四百現はれ掠奪放火虐殺相次ぎ全市火の海と化し民家數百全燒し鮮人二百餘虐殺されたとの報あり眞相尚不明なるも鮮人は續々ハルビンに避難してゐる

上海を中心に
支那の大軍が移動
對日抗爭を口實に
實は地盤の爭奪が目的

【上海二十五日發電通】張發奎軍の南方移動に連れ蔣介石系の熊式輝の第五師其他も江西省の共匪討伐を中止し、目下陸路浙江省を杭州に向け移動中と傳へらる、之は我軍に對抗の作戰たると共に廣東系軍隊と蔣介石軍が日本軍に對抗すると云ふ口實に地盤爭奪の內爭と見らる、何れにしても上海を中心とする支那大軍の移動は隱れなき事實で注目に値する

わが將校斥候
支那軍と遭遇戰
二十四日陸渡橋で

【上海二十五日發電通】二十四日午後三時陸渡橋にある我が將校斥候は同地西方三キロ（白川公館附近）の內地圏で支那軍と遭遇し約二十分間交戰後退避した、我に損傷なきも不穩な支那軍の我が前線侵入明らかとなり前線部隊は嚴戒してゐる

子供の日の當選標語
廿五日發表

臺灣社會事業協會にてはかねて子供の日の標語を募集中の所去る二十五日を以て締切り嚴選の上左記の通り當選標語を決定發表した、因みに應募總數は五百二十句であつた

一等

○弱く生み強く育てよ　臺南州新化郡左鎭庄茄苳　陳春木

二等

○正しき姿に伸びゆく子供　嘉義市北門町六ノ六三　賞島保三

○母に健兒　臺北市古亭町五三　岩元マス

三等

○健かに育つても親の心がけ　新竹市水田二三五、田中飛明

○無理に伸ばすな縮めるな　臺北市三橋町四　更家西門

○國の光は子供の笑顔から　花蓮港街入船通り七一　小野みのる

○注意して放任せよ　新竹州新竹郡關西庄關西一五〇　呉清煥

○可愛い子には陽をあてよ　臺北市三橋町四　更家英

選外佳作

○強い子供は御國の寶　臺北州宜蘭街乾門二六七　八木千枝子

○輝く日の本明るい子供　臺北市兒玉町二の二三　岡田清一

○正しき姿に明るき子供　臺北市文化村北三條　森田和歌

○子供の健康は一家の幸福　臺南州西螺街西螺　中和

○強き子に笑ふ弱き子に泣く　臺北市新富町三の一　福田如狂

○氣を過すな厚着をさすな　臺北市表町二の二　石原文子

○健氣にまさる榮養なし　基隆市東町一九　大內ツル子

肉彈三勇士慰靈祭
新竹で擧行

【新竹電話】新竹市に於ける長崎佐賀兩縣人會主催の肉彈三勇士慰靈祭は既報の如く二十六日午前八時から新竹公園忠魂碑前にて擧行、神官の修祓、降神、供饌、祝詞、永石、大木兩縣人會長、山本市尹、在鄕軍人新竹分會中副分會長の祭文、內海知事其他各代表の玉串奉奠、撤饌、昇神等の式嚴かに行はれ九時十分閉式したが兩縣人會員、官民有志、各學校上級生徒、在鄕軍人等四百餘名參拜、其他の學校兒童も隨時參拜盛會であつた

嘉義の三勇士慰靈祭

【嘉義電話】嘉義肥前會主催嘉義市役所及び在鄕軍人分會後援の嘉南新報社の保管三勇士慰靈祭は二十六日の第十二師團紀念日當日午前八時より嘉義公會堂後庭に於て盛大に擧行された

交通整理の標示器
『沈默の警官』がお目見得
仲介者は濱中南署長

今から數年前ナニワ・ボーイが東京にお上りしてお巡りさんが交通整理をしてゐるのを見て、不思議がつたものである、だが今ではナニワ・ボーイの都大阪でも要所々々にお巡りさんが直立して、ゴー・ストップと鮮かに路面の混雜を統制してゐる、殊に交通巡査の存在は現代都市の產物であり、又必然的な存在でもある、我が島都臺北市でも今や各要所に交通巡査の立姿が見受けられ、又交通標示器が目をひいてゐる、ところが從來の標示器は大風の場合或は自動車の衝突などによつて倒れ、時に人を傷つけ、時にかへつて交通の妨害をなす事がある、そこで濱中南署長の發案で「沈默の警官」の呼び名で內地の大都市に用ゐられてゐる巡査のやうなモダーンな標示器を採用する事になつた、即ち半圓形の重い鐵物の上に交通標示を載せた物であるからどんな場合にも決して倒れる事なく、其の職責を果すわけである、數日前から島都の要衝臺北驛前廣場に於て四基用ゐられてゐるが、取り敢ず十基程を配し其他人出の場所に移動して交通の安全を期するのださうである、そして此の「沈默の警官」を威嚴づけるためしばらくは警官を附隨させる、と言ふ「どうぞ沈默の警官を保護して對しやつて下さい」と濱中署長は語つてゐた

長官夫人二十八日
新竹視察

【新竹電話】小林總督長官夫人は二十八日午後一時九分上り列車にて新竹着、直ちに自動車にて新竹神社に參拜し州廳、感化院、刑務所、商品陳列館、森林公園等を視察の上歸北すると

大桶山登山

去る十三日實行の豫定であつた臺灣山岳會の月例登山大桶山行は雨天で延期中であつたが來る二十七日改めて實施の由、集合は午前六時二十分臺北驛前發にて新店より徒步タンピヤより登山夕刻迄には歸北するから一般會員外の參加が希望されてゐる、旅費概算三十錢各自負擔である

嘉義の夕の放送プロ
來月四日臺南放送局から

【嘉義電話】來る四月四日臺南放送局開設を記念として同日午後六時より同九時二十分まで三時間に亘り放送さるゝ嘉義の夕べのプログラムは次の通り決定した

▲齊唱「昭和の日本」嘉小五年生初和有術外三名

▲談話「私の希望」嘉女公五年生王氏裝主

▲獨唱「春の夜の風」嘉小四年生池田愛子

▲國「十五夜お月樣」嘉女公五年生王氏淑宗外二名伴奏　若栗爾惠三郎

▲朗讀「敵陣攻め」嘉小五年生有村春夫

▲合唱「仲秋お月見」東門公五年生李錦泉外二名

▲獨唱「お星樣」女公六年生林氏美

▲童話「地獄」第三國語講習所生徒

▲談話「樋居さん」第一國語講習所生徒燕永裕

▲獨唱「何處かで春が」「夢買ひに」女子公四年生陳氏金花（以上六時より同三十分まで）

▲「新興嘉義について」松岡嘉義市尹

▲「義人吳鳳について」三好木商工會長（以上六時三十分より七時迄）

▲講談「豆腐屋の大臣」女子公高木駒次郎

▲ピアノ獨唱「乙女の祈り」女子公石川喜子枝

▲三曲合奏、安生長治氏外二名

▲圓山流琵琶「肉彈三勇士」嘉義小學校村山千水

▲「某人錦義氏」加士峯吉

▲長唄二曲、嘉義市藝妓連（以上七時より八時四十分まで）

▲ラジオドラマ「吳鳳」嘉義市有志

▲嘉義行進曲、嘉義藝妓連

▲嘉義小唄、同上（以上八時四十分より九時二十分まで）

中南部の富豪荒し
豪遊中に捕はる
四度目の刑期を終へたばかり

臺北北署管內市內日新町貸座敷へ數日前見慣れぬ一本島人男現はれ金錢を湯水の如く使ひ豪遊してゐたので中南部の富豪だと睨んで遊興してゐたのを北署刑事が探知しその身元を洗ひ二十四日北署へ引致取調べた結果、黃は臺中州員林郡田中庄外埔二八五番地陳深泉こと云ひ前科四犯の前科者で臺中刑務所で十一年間服役し昨年十二月中假出獄したが出所して間もなく臺中州下一帶の富豪の邸宅を荒し廻り前後十數回に亙つて千餘圓に達する竊盜を働いた事を自白した、しかもその犯行たるや文字通り鮮かなもので午前二時頃の深夜を利用して木を傳はつて二階の窓口より忍び入り貸金庫を破り現金を竊取しそれらを罪の發覺を防ぐべく臺北に逃げ分しては右の如き豪遊を續けてゐたものである

出獄したばかり
叔父を斬る
仲間と二人懸りで

【朴子電話】臺南州東石郡義竹庄義竹九三七番地黃某は昨六年から同人の叔父黃清某に對し屢々金錢を無心し斷られたのを根に持ち前科者と共謀して同人宅に押しかけ刃物を揮つて同人の右腕に斬りつけ重傷を負はせたが、被害者は直ちに臺南醫院に搬送され入院加療中にて生命危險である、犯人は現場より逃走したので同署で直ちに手配搜査中である

スズラン座を
晝間公開

臺灣子供世界社では月刊雜誌「子供」一萬部其他兒童に關する圖書等の販賣を兼ね今回全島各地に巡業して居た兒童劇スズラン座の一行を招聘し來月二十八日から四日間榮座で晝間公開することと成つたが觀劇料も十錢とするさうである

理髮業者試驗

臺北州下理髮業者定期試驗は四月十八日午前九時より州警務部で行はれる事になつてゐるが志願者は二ケ年以上同業に從事したもので四月五日迄に所轄署へ提出する事

北署の定期召集

臺北北署定期召集は在鄕百四十餘名、岸川署長指揮の下に午前八時より市內圓山グラウンドに集合し操練を行つた

急死の理由は喀血
臺南の變死事件

【臺南電話】臺南市錦町料理屋大黑の仲居川畑クラが外出から歸るや喀血して死んだことについては其後解剖の結果、時間に亙り流水箇所の內容物に何等毒物の混じてゐないこと認められず、又同女が自殺する樣の模樣も認められず、結局同女は從來肺結核に罹つてゐたためこれによる急性の喀血をなし死に至つたものと見られてゐる

ライヘル氏逝く

【ベリン二十四日發電通】フランスに於けるアマチュア・スポーツの父と言はれ、曾つて一九二四年パリに行はれたオリンピック大會の主催フランスライヘル氏は本日逝去した

日赤愛婦の內地視察團員募集

來る五月上旬東京に於て日本赤十字社總會並に愛國婦人會總會の開かれるを機として臺灣支部にては總會出席者の總會參列に便宜を計り、併せて伊勢大廟參拜を始め各地の名所や產業狀況を巡遊視察する視察團を組織することとし、左記に依り參加者を募集する、尙希望者は臺北の兩支部又は各州廳に各市郡役所內の日赤愛婦事務所へ至急申込まれたいと

日程　四月二十六日出發、五月二十日歸臺往復二十五日

旅費　一人百五十圓

締切　四月十六日

辯護士齒科醫
軟式野球試合

オールド・スポーツマン揃ひの辯護士團は二十七日午後二時から新公園小學校運動場で齒科醫師團を向ふに廻し軟式野球試合をやるさうだ、顏觸れが顏觸れだけに人氣を呼ぶ事だらう

新竹婦人修養講習會終了

【新竹電話】新竹婦人修養講習會では二十六日午後二時から新竹女子公學校にて修了式を擧行した、修了生は二十六名であつた

昭和幼稚園主交代
城南幼稚園と改稱

臺北市佐久間町の昭和幼稚園經營者細川八氏が都合により內地へ引揚げる事になり、新に吉田氏が之を經營し城南幼稚園と改稱する事になつた

梅屋敷庭園で
トーキー撮影

大阪作野商店トーキー班では二十七日午後一時より梅屋敷庭園に於て藝妓連出演の新小唄及南の島二題をパテーベビートーキー九ミリ半に撮影すると

ヲアルカム

▲本年度でも又國際ポスター懸賞の國際ポスター（二回目）▲

商況
二十六日

米況

正米市況（前場）
期米不變富市場は閑散

▲二期蓬萊　各限共不申

▲二期丸糯

	當限	中限	先限
不申	九・八四	一〇・二	一〇・〇二

各地期米相變らず保合で富市場も見送閑散蓬萊全部不申丸糯當限中中限二本先限四本出來たのみその他不申引移保合

大阪期米
▲前場

	節	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
當	二四〇〇	二四〇三	二四〇〇	二四〇二	二四〇三	二四〇三	二四〇二	二四〇五	二四〇八	二四〇四	[illegible]
中	二四五四	二四五〇	二四五一	二四五〇	二四五〇	二四四九	二四五〇	二四四九	二四五一	二四五三	二四五二
先	二五〇〇	二四九〇	二四九一	二五〇一	二五〇一	二五〇三	二五〇〇	二五〇〇	二五〇一	二五〇一	二五〇一

東京期米
▲前場

	寄	止	高	安
當	二三六五	二三七〇	二三七〇	二三六五
中	二四六〇	二四六六	二四六六	二四六〇
先	二五一九	二五二六	二五二六	二五一九

神戸期米
▲前場

	寄	止	高	安
當	二三九九	二三九七	二三九九	二三九五
中	二四四七	二四五一	二四五一	二四四七
先	二五〇五	二五〇七	二五〇八	二五〇五

株況

大阪短期
▲前場

	寄	引
東洋紡	一三八・九〇	一三八・八〇
[illegible]	四四・一〇	四三・六〇
[illegible]	四六・五〇	五九・〇〇
[illegible]	[illegible]	四六・四〇
[illegible]	三八・四〇	三八・〇〇
[illegible]	一〇七・五〇	一〇七・六〇
[illegible]	九五・三〇	九五・四〇
[illegible]	一六七・四〇	一六七・三〇
[illegible]	七九・四〇	七九・二〇
[illegible]	七七・〇〇	七七・〇〇

大阪長期
▲前場 [illegible]

東京銀行貸株
[illegible]

東京國債
▲前場 [illegible]

東京短期
▲前場 [illegible]

東京長期
▲前場 [illegible]

天氣概況（廿六日）

本島及沖繩方面は殆ど風全く衰へ一帶に風弱く島內及沖繩列島共無風快晴の好天氣で近海も極めて穩かとなつて居ります

▲天氣豫報（二十七日）

臺北地方　第一區、第二區、第三區　風向定らず晴れ

基隆（廿七日）　淡水（廿七日）　干潮　滿潮

各地氣溫（二十五日）

[illegible]

草山はつゝじの滿開

今が一日の御清遊に是非

草山……巴旅館

バス……巴自動車商會

セルロイド玩具

其他新型豐富荷揃

多少に拘はらず御用命の程願上ます

臺北市新起町三ノ五五

玩具商　猪澤三郎商店

解雇廣告

右者（給仕）今般不都合の行爲有之解雇致候に付自今當院とは何等關係無之候

三月二十六日

臺北市兒玉町二丁目

松永齒科醫院

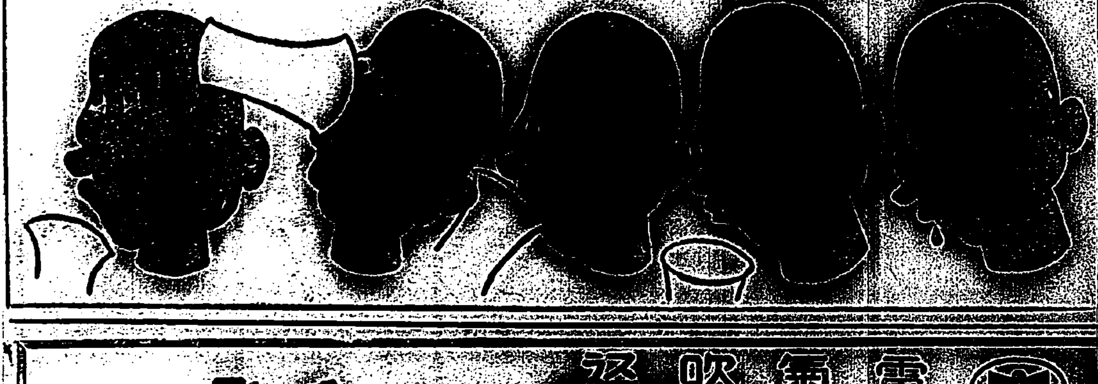
おみやげには

臺北名物　メロー

京町一丁目　メロー商會

電2325

貸株　廣告



滋強飲料

カルピス

たのだ　滋強飲料ではない

清涼　美味　慰安飲料として……正に滿點！

電氣吹込

レコード

コトモのレコード

夕燒小燒　……

素的浪曲二題

紀の國屋文左衞門　……

爆彈三勇士の歌

ここまで大衆盤です

東京市外……　株式會社　日本ポリドール蓄音器商會

ポリドール式　ポリドール

四月新譜（三月二十日發賣）

元祿花見踊り

名橋譽石切

大衆盤

殘月譜（139）

志乃田紬司作
清水三重三畫

捕りもの（二）

今夜は石原近傍に——と、睨んで、狙ひを立てて出た三千ケ瀬だ。狙つて、待ちぶせ、玉のやうにわつ〳〵したものだらう。金はあり、酒は飲んだ、思ふだけ喰ひ占つて、まだ〳〵浮かれた氣分の矢先へ、鋭い一聲だつた。

「えつ？わたしですか」

「さうだ、先刻から待つて居てやつたんだ」

さう云ふ聲は、馬道の熊六だつた。

「ぢや、さつきの親分か？」

三千ケ瀬、親しげにふらりとすると、

「おいや！問ゐることがあるから番屋に來い！」

「な、なんですつて」

三千ケ瀬、度膽を拔かれてしまつた。

「てめえ、さつき、三味線の女の[illegible]髪をしたな！」

「へい」

三千ケ瀬、小さくなつてしまつた。

「貴様そいつは、その丸髷つて素姓の女房になつたんだな」

「へい、さうなんで」

「名前は何と云つたか、聞いたないか？」

「名前ですかい？」

三千ケ瀬、頭を掻いた。

「そ、そ、何とか云つたけな、歌の文句みたいな名前ぢやなかつたぞ、え—と、喉元まで出て居て云へねえや」

「うん、落ちついて、思ひ出せ」

熊六、すこぶる興味を見せて居る。

三千ケ瀬、腕組して、頭に思ひ出して居るのだ。

「どうだ、良技とは云はなかつたか？」

「え、え、え」

三千ケ瀬、にっこり頷いた。

「そ、さうなんです」

「ちえッ、畜生！」

熊六、矢庭に三千ケ瀬の標籠を引つ摑んだ。

「いてててて、あつ、親分！」

三千ケ瀬は苦しい聲を張り上げた。

「ど、どうするんです！」

「おお、はははは」

氣拔けのしたやうな聲で笑つて、馬道の熊六は、三千ケ瀬を睨した。

「親分、何だか知らないが、わたしは、その良技さまとやらとは、たつた、それだけ口をきいたばかりですぜ」

急に、良技さま、さま付けに云つた。三千ケ瀬も、なか〳〵ぬかつては居らぬ。

「ふふ、さうぢやらう」

熊六、薄笑ひであつた。

「ふーん、我孫子遊りへ行つてやがるのか！」

[illegible]して呟いた後。

「で、何かい、我孫子で、丸髷と聞けば、すぐ判るな」

「へい、そりや大判りで——」

と三千ケ瀬、熊六の顔を覗いて見て。

「だが、親分、よしたがいいですぜ」

「何を——」

「へへ、あの女、丸髷には勢々[illegible]すぜ。何しろ金が唸つてますからなあ！」

「馬鹿な事を云やがるない！」

ぴつしやり、横つ面へ來た。

「痛つ！」

三千ケ瀬は、飛び上つた。

「親分、そつちの用は濟みましたかい？」

と、それでも一人、のつそり三千ケ瀬の前へ出て來た。

東京の横顔（八）

米村耿二

國際獵奇の港——ホンモク・ア・ラ・モード

東京の横顔、書いてゆけばかかる。

彼女達は、有頂天になつて嬉しがる。「陸戰隊入港！陸戰隊入港！」酔にのせたジャッキイ・キャップから、顔へ、胸へ、首ッ玉へ、[illegible]のパンツの鼓動へまで、キッス、キッスの雨を降らせるのが、彼女達なのである。

「——威勢がよくつて、金ッ放れが好いから、あたいたち、ヤンケ（洋毛の略稱）の水兵さん達が、いちばん好きだわ！」

これは、ハンガリウのマダムの話だ。同時に、横濱の女達の相言葉でもある。

× ×

しかしながら、だからと言つてニッポンの男性は完全に彼女達の愛と抱擁の中から、ノックアウトされてゐるか、といふとさうではない。

「——そりやネエ、萬事、レディ・ファストで、女の言ふことなら何んだつて、O・K、O・Kと、やさしくきいてくれる異人さんに、心から惚れ込む時が、ハマに入つて來る大抵の女に、一度や二度はあるにはあるわ。でもね、何んちつたつて先様は外國の方でせう……ハマの港を出ちまへば、あとはくらやみ、泣きの涙だわ。矢ッ張り、頼もしいのは——ニッポンの方よ。……親をすりや意地が出る。異人さんに惚れるのは、ここへ來た當座の事だけなの……」

——と、第一キヨ・ホテルのナミコが、かう言つてゐますよ。

× ×

だからと言ふ理由からでもあるまいが、鬪つては、異郷ニッポン[illegible]

ぎりがない。鼻先きの、さうぞつとした中に、ペンを持つ——なんてそんな心構へでは、ただの[illegible]だけでさへ、お[illegible]することの充分でないのを、しかし、良食を見て、記者僕は深々と悲しむ。僕の好きな[illegible]のみなさまへ、純[illegible]の[illegible]を——[illegible]だけでなく、[illegible]を、そして[illegible]を、心[illegible]を、明白りと書きお傳へしたいと思つてゐるので、ここに、東京と切つても切れない關係を持つ彼女等——國際獵奇の港の花（ヨコハマの、否ホンモクの夜こそはミス・ニッポンの[illegible]といふべきであらう！）に就いて、そのほんの皆見だけでも當いて、このたびのこの稿をおしまひにさせていただから

× ×

——十三僕のお膳が引かれた、四十八の[illegible]を[illegible]に、[illegible]とひるがへして、灰色の[illegible]が入つて來る！舞で、[illegible]で、金使ひが荒いU・S・ネビイ・ボオイ（メリケン・セーラー）が、洪水のやうに押し寄せてくると、例令、その時、讀みかけてゐた[illegible]でも、いきなりおつぽり出して飛び出してゆく

と來て、喧嘩だ！喧嘩をやらかさないで、おとなしく借りて踊れば、踏み倒し、[illegible]は出てゆく[illegible]は[illegible]る——ではなくつて、[illegible]は出てゆく借金こそ[illegible]と相成るわけなのである

× ×

そこで、大丸谷よりひと足お先きに小港が先驅となつて、ニッポン人への門戸を開き、新らしい經營方針で、最近になつてやり出した。一晩の遊興費、十圓乃至二十、三十圓（さう安くはありませんね）從つて、客種も中流階級以上のインテリがその大部分——しかし、ビール一本（七十錢也）だけを飲んで、二人連くらゐで、二時間も三時間も頑張るニッポン青年もあるんだから、商賣はないが。ともかくも、最近はかうしたすう勢のために、外人[illegible]、[illegible]といふ成績を示してゐるのである

× ×

——一外人だ、外人だといつたところで、ピンからキリまである。木枚、十天、小港——此三ッを總稱して俗にホンモクと謂ふ[illegible]である）

ホンモク・ホテル街の女王として、さん然と輝やいてゐたニッポンの、否世界の[illegible]人と[illegible]されてゐた、そのかみのキヨの「お瀧」さんの時代も、もうセコ・ハンになつちまつた

月十五圓から二十圓と言ふ[illegible]な[illegible]、[illegible]を[illegible]かりし生活も、今は[illegible]となつて仕舞つた。その「お瀧」さんの後繼に[illegible]の「お瀧」さんは？と言へば、それは第一キヨ・ホテルの「ナミコ」である。[illegible]

人に對しては、[illegible]くその門戸を閉ざしてゐた大丸谷のホテル街も、大いに[illegible]的になつて來た。何に[illegible]上げします、外人専門の[illegible]を[illegible]げてゐるのは、この大丸谷と本牧、十天、小港——此三ッを[illegible]

れで、そこの女學校を三年まで行つて[illegible]、やがて[illegible]の[illegible]から[illegible]、[illegible]川で約一年、そしてすぐハマへ移り[illegible]つた彼女である。クラ[illegible]ボウそつくりの容姿、聰明で朗らかだ——といふのが彼女の評判だ。ハマへ來たばかりの頃、東京の[illegible]町の、株屋で老舗の大男[illegible]と、死ぬほどの戀をして、流石ボックリその彼氏に死なれて泣いてゐたものを、ドイツ大使館附の武官[illegible]氏の、やさしいこころと[illegible]に慰められるやうになつた

「——それから丁度一年目、やつぱり日本男子の方が好いわ。第一張り合ひがあつてネ。でも今度は獨身のジミな方にするの。彼氏と別れてからは、ただもういち圖に稼いだわ。おかげで借金も少たくなつたし、お金を貯めて、お嫁入り道具を買つて、立派な結婚式を擧げるわ。さうしてネ、若し宅になつて下さる方がやつて下さるなら、階下で酒場でも開きたいと思ひますの……」

黒曜石のやうな瞳を、大きく突しく、[illegible]と見開いて、彼女ナミコ[illegible]

× ×

が、それも二、三ケ月、燃ゆるやうな[illegible]人との戀も[illegible]にして[illegible]はかなくも、崩れゆく渚の砂だつたのである。お定まりの彼氏の[illegible]國！

は、から言ふのである

鹿[illegible]しいウイン！このウインクを、そしてETCを求めて、彼[illegible]の、英パン（[illegible]）だの——もろ〳〵のナイトが、ハマへハマへと飛んでゆくわけなのである

× ×

なつかしいハマの物語

長谷川伸作「[illegible]」を讀まれた方は、明日りと思ひ出して貰へると思ふ。また下村千秋、サトウ・ハチローの[illegible]の物を、手にされた方なら、[illegible]よくハマの姿を明白りと[illegible]いて貰へると思ふ。東京に於ける上海——[illegible]は東京に於ける上海的存在である日本に於ける唯一の、國際獵奇の港——ヨコハマの夜こそは、ミス・トウキヨウの[illegible]だ——、さう僕は、大きくよびたい。ここに限りない物語を、一つ一つ拾ひ上げる事は、紙面が許されない

——さて、この邊で、東京の[illegible]に對するつたないペンをおかしていただくことにします

（三・二十二日）

田谷與世山の聲樂と舞踊

◇田谷力三、與世山澄子ら一行の「舞踊と聲樂と西部映畫の[illegible]」が二十三日から四日間築座で開かれてゐる

◇テナー田谷は、淺草に[illegible]華やかなり頃の花形で、現に世界的テナーとして名聲を博してゐる藤原義江が外山英次郎と云つてゐた時分には田谷の人氣には及びも付かなかつた

◇田谷君の獨唱は所謂素人受けがしない、ハミカミ屋で[illegible]や[illegible]世の[illegible]が[illegible]り上手でないのも大きな原因で、[illegible]ほどに有名にならないのは寧ろ氣の毒である

◇しかし、彼の聲を聽いてゐるとたとひ一般の人でも、[illegible]の[illegible]成歌手とは全く趣が違ふ事が[illegible]るであらう。殊の[illegible]がベラボーに[illegible]くて、[illegible]のあれ程豐富なのは日本人の歌手には餘りない、[illegible]を聽くより[illegible]、聽き氣分を感ずる場合に田谷の好さがある

◇北村[illegible]子嬢は故北村[illegible]時氏のお[illegible]さんで、[illegible]の天[illegible]な[illegible]はれてゐて好い、田谷に取つて好[illegible]

◇與世山澄子、島津子一[illegible]の舞踊、これは今まで來た[illegible]の舞踊とは全く[illegible]を異にしてゐる、石井[illegible]か男性的だら與世山は女性的、石井にグロテスクだが與世山はエロチックだ、[illegible]派だ、[illegible]

◇三萬圓の保險を足に付けたと云ふ島津子である、旣に[illegible]の[illegible]をしてゐる

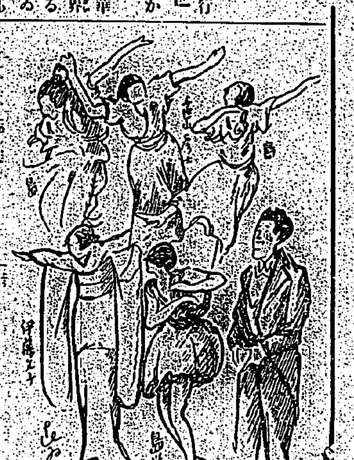
◇[illegible]する[illegible]でないが上品である

に[illegible]りはないが、[illegible]のとれた[illegible]しいしなやかな[illegible]だ、彼女の特長は[illegible]やかな[illegible]だ、[illegible]や木の葉の舞ふ樣に、小波の打つやうに、テンポの速い[illegible]の[illegible]、[illegible]だ、[illegible]の千變萬化だ

◇お[illegible]子の少女[illegible]の可[illegible]な舞踊は[illegible]されてゐる、所謂[illegible]行進に育てられたのと違つて研究[illegible]だ、ヤマがない代りに上品で[illegible]だ[illegible]を云ふと[illegible]向きではない、[illegible]の[illegible]が公會堂邊りで[illegible]に[illegible]すべきものだ、家庭向き[illegible]である

◇一[illegible]の[illegible]に[illegible]はつた[illegible]の伊[illegible]文子、新舞踊を[illegible]いテンポで氣分を出さうとしてゐる、[illegible]を好くしてエロチックを出さうと云ふのが狙ひ所らしい、未だ[illegible]はされてゐないが好い味が出てゐる

◇[illegible]要するに[illegible]やかでないが上品[illegible]（一記者）



伊藤文子
與世山
島津子
田谷力三

内臺融和の先決問題は何

一青年

◇近頃よく紙上にて諸君の内臺融和論を拜見致しますが前に我が臺灣の爲に誠に悦しい事であると思ひます、私もその内の一人として同じく我が國の領土である臺灣の[illegible]我が臺灣の同胞の爲に叫ぶものであります、私の渡臺したのは大正三年の春でした丁度今から十八年も前の事でその當時は今の樣に開けてなく島民の教育文化等は今と雲泥の差であつた

◇領臺三十八年の今日でも尚内地の一部分の人で臺灣には首狩る生番が蟠延しか住んで居ない所と恐られてゐる樣にその當時は一般の者に非常に危險視されて困つた時代で、私の渡臺についても母親も涙を流されたものだ、そして私は一擲千金の夢を見ながら飛出して今日に至つたものである

◇その内に受けた[illegible]旋の内で生涯忘れられないのは決して一擲千金の樣な夢はかなし心で渡臺すべきでない事で、いやしくも渡臺した以上我が臺灣の爲に一生を捧げる心掛がなければならぬ、そして骨を臺灣に埋める積りでなければならぬと言ふ事で私はこれをもつて渡臺者に[illegible]め忠告したい

◇私は我が臺灣の文化向上又は統治上にはどうしても内臺人の融和は最も必要であると思ふ、故に内臺融和論は卓上の論でなく互に努力しその實を上げねばならぬ、その融和を計るなら如何なる方針のもとに進むべきか？共婚政策によるもよろしからうが併し現在の有樣では一般に成し難い點がある、私は精神的融和が先決問題であると思ふ、何故なれば此精神的融和が出來れば今迄の諸氏の述べられた理想の域に達する近路であるからである

◇我々母國民は本島人を同胞として一視同仁であらねばならぬ、そしてその人格を尊び決して輕ずるものではない、そして吾々は本島人を親の如く彼等を我が敎へ子と思ひ常に愛撫し同情の念を持つて當ねばならぬ、そして彼等も臺灣の地に生を享けた一個の日本人である事を常に心に置くべきである

◇さうすれば自然母國人を敬慕する念が起き日本の忠良なる國民として恥ない所の相當な働をすると思ふ、されど當時ともすると臺灣官吏の一部のものにはかかる理想を無視し、とかく壓迫する事がある、つつしむべき事ではありませんか、東洋の平和を維持する大和民族の旗の下に私は諸君と共に一生を内臺融和に捧る積りである

公開欄

本欄は讀者の自由發表の[illegible]、[illegible]は不可、[illegible]行數は十五字六十行以内▲匿名にても住所氏名は別に記入の事▲[illegible]取捨は係にあり

臺日俳壇

木開係選

[illegible]銀の小春に山船の汽笛また[illegible]逢ふ日を待てと鳴る　基隆　俊男

△春の花園百色千色迷ふ蝶々に無理はない　臺北　無常

△花ちや生かせと蝶も云うたす　みれ咲く野に鬼薊　臺北　古泉

△[illegible]迎ふ選際も南京蟲にや役に立つまい如露佛子　臺北　非[illegible]

◎國の花散咲かせて見たい老木ながらも山櫻　臺北　[illegible]

（[illegible]）時事吟として[illegible]

[illegible]、何[illegible]、[illegible]制限、[illegible]、何れも投書[illegible]、[illegible]名は[illegible]

名家敗退將棋（八九）

（小泉氏二回勝三八目）

先手　△六段　小泉兼吉

後手　▲五段　堀内宗善

△四六金▲四四步△五三桂成▲同金△八二龍△五二步△五四步▲四五步△三六金△三五桂△二五金打▲二三玉△二五金△六同步

▲小泉六段曰く　四六金、[illegible]が[illegible]敵手にも[illegible]いて居る積で私の方としては他に[illegible]い手がない

▲堀川五段曰く　四四步は敵の四五桂が頑張つてゐては[illegible]の玉に[illegible]な[illegible]が出來さうで[illegible]した[illegible]に四五步と利かされると[illegible]に空隙は許さないで[illegible]五步と突いて決戰に行つた

▲小泉六段曰く　三五金の切りは敵に[illegible]るか自玉に必至が掛つてゐるので止むを得ずに[illegible]

▲大崎八段講評　下手四四步は敵の[illegible]になるがよろしくない、三五桂となる[illegible]の[illegible]切に乘ずるか[illegible]ある上手五三桂と[illegible]で八三[illegible]と先を利かしつつ玉に迫つたは好手である次に三五金の切りは當然で如何に危險でも[illegible]は他にはない、[illegible]に多くの武器を[illegible]すので危險ではあるが[illegible]を緩和する[illegible]である、必至[illegible]と攻むれば[illegible]し二七桂成[illegible]三五香と[illegible]かして[illegible]は殘念である

（圖は五二金迄の局面）

持駒△小泉氏　金

持駒▼堀内氏　[illegible]

新刊紹介

△雜誌塔影（三月號）　二月に種々の展覽會があつた爲めに本號は大分賑かになつてゐる、從來本文中に挿入して來た各展の出品寫眞數十枚をグラビヤ紙に印刷して口繪として特輯されてゐる、本文にも展覽會評、[illegible]島[illegible]等讀むべきものが少くない（定價八十錢東京市[illegible]町下六番町六番地塔影社發行）

臺日案内

料金　一行　五十錢　[illegible]

書籍　[illegible]　**平光書店**　臺北[illegible]

受驗　[illegible]參考　**東陽堂書店**

藥種商　**ネオエルビン**　[illegible]

にんにくエキス　臺北西門[illegible]

安生[illegible]息丹　臺北[illegible]

内地土産　**芭蕉煎餅**　下江商店

平野商會　臺北京町二丁目　電八七二番

寫眞　**三共六合**　臺北[illegible]

寫眞機の御買時　[illegible]西尾商店

新鋭カメラ各種新著　臺北[illegible]

活動寫眞は　臺北[illegible]

寫眞速成　[illegible]

下宿屋　**太陽館**　臺北市本町三丁目　電話三〇二五

御下宿　**福井館**　臺北[illegible]

自轉車　**拾九圓半**　大阪[illegible]

自動車　**電2851**　[illegible]

洋服　**服地裏地**　**逢坂屋**

料理屋　**ビクリせんさい**　[illegible]

製靴商　**ビコウ運動靴**　各地販賣店にあり

ラヂオ器械　**ナショナル受信機**　小林[illegible]ラヂオ部

紙文房具　**萬年筆大勉強**　臺北京町二　大[illegible]　電三五八八

洋書材料は　**小塚支店**　臺北京町一丁目　電一〇二七

高等理髪　**志々田毛商會**へ　臺北京町三丁目

南華軒理髮館　市村[illegible]

治療所　**手壓療法講習**　[illegible]

土肥タンク　臺北京町二ノ二三大場外科

平川鍼灸院　臺北市[illegible]

運送業　**勉强引越運送**　山村[illegible]　臺北州廳前（電話八一四番）

洋服ダンス　臺北[illegible]

麻雀特價拾圓　臺北市[illegible]

牛乳とパンで十五錢

土地建物管理　[illegible]

伊萬里燒は末源　臺北市[illegible]

ラワン及オーク材　[illegible]

メガネは東京堂　[illegible]

まさかや　臺北京町[illegible]

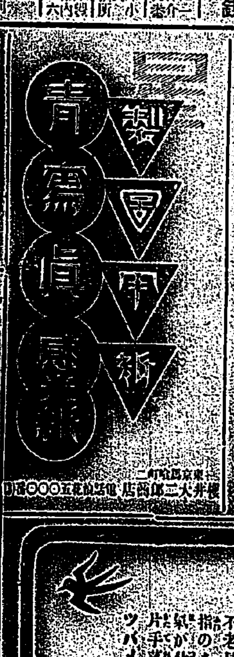
大理石各種　[illegible]

職業　[illegible]

寫眞特許の玉突臺　安價提供　中村玉臺店

廣告は宣傳の近道なり

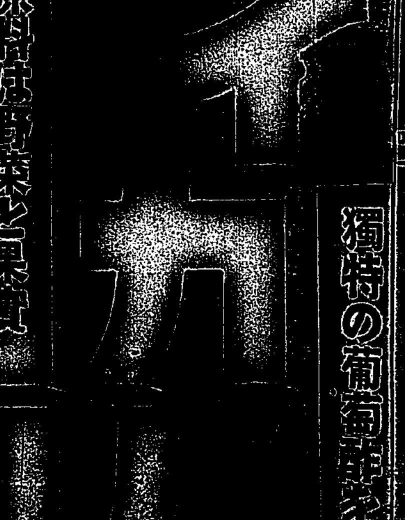
マルカン酢
名古屋　笹田本店
摂津灘　笹田商店
類似の商標に御注意乞ふ



青寫眞感光紙
製　寫　用　新
東京市[illegible]町二　櫻井大二郎商店　電話[illegible]五〇〇〇番

金儲の大王
ツカサ式
穀物膨脹機
開口一發!!
五合の米が八升に膨脹す
[illegible]
特約店募集[illegible]
製造發賣元　日本[illegible]社

ツバメ石鹸
不老長壽な瓢ひながら指のささのバイキンに氣が付かないのは、片手落と云ふものだ。ツバメで清潔に！
正價一個十錢



景氣は滿蒙から
精力はトッカピンから
原料は野菜と果實
獨特の葡萄酢を配す

美味　滋養　葡萄酒
赤玉ポートワイン
ことに　疲れた夕方
なんぞ……しみぐ
有難い一杯なんです
主成分=葡萄糖は　躰内に於てグリコーゲンに化生して　疲勞を回復し　筋力を充實す

漢文臺灣日日新報

軍司令官
上陸高雄

阿部軍司令官。檢閱馬公部隊畢。搭去二十五日午前六時入港之開城丸來高雄。村上臺南第二聯隊長。堀內內務部長。今井市尹等。到木新迎接。一同上陸。軍司令官即入壽山館朝餐後。搭八時十分急行車赴臺中云。

又軍司令官。去二十五日下午零時十三分抵臺中。入春田館。晚與軍要官民。赴開在富貴亭之招待晚餐會。

中國若無誠意讓步
則停戰會議不見曙光
二十五日會議內容

二十五日上海電。本日停戰會議中心之我軍撤收問題。即原則條項第二項。中國主張第一我軍須撤退于租界及其附近。我國主張如左。示強硬態度。中國有欲捨棄會議而逃之意。會議瀕于決裂危機。日本以議事進行上。求中國態度反省。明日亦決定續行。即日本就我軍撤收。所主張要旨如左。（田代參謀長。當說明之任。）

撤收線乃繼上海。江灣鎮。大場鎮。楊行鎮。寶山鎮。吳淞鎮線以內。停戰協定。不能再讓步。現在我軍兵員有○○○○。馬匹○○○○。若考慮此衛生及住居設備時。則收容于共同租界及其附近之一部。實際不能。上述上海。吳淞線。乃最大限度之讓步地點。顧右線前方。非全部配置日本軍之意。其線以內。撤收日本軍。在右線同時防禦事件再發之危險。此于和平保障實必要也。

對于是。列國公使及列席各國武官。似認日本主張爲妥當。而不正式表示意志。中國郭泰祺氏。以日本主張之線。國民不肯。故絕對不承認。日本此點若不讓步。則此會議。終歸失敗。如是放言。便衣隊取締若不保障。而欲使我軍歸上海。中國此主張若不緩和。則會議前途。毫無曙光。悲觀的空氣瀰漫云。

關稅根本的改正案
次期議會將提出
藏相命主稅局調查

二十六日東京電。高橋藏相。因六十二議會。政府以有利形勢終了。爲此得力。次期特別議會。將提出關稅根本的改正案。使主稅局從速調查。即鑑于金輸再禁止後我國經濟狀勢。以產業五個年計畫爲基礎。謀產業保護助成。

一、從量稅約占我國關稅八成。爲替下落結果。比較的低廉者多。且自產業保護見地言之。改正餘地不少。故加昇之。

二、整理關稅中。豈無使與一般關稅聯而考慮之必要乎。以此等爲改正眼目也。

日英美中央銀行
將相繼降金利
日銀近或再降一厘

二十五日東京電。世界的低金利時代之主要國。中央銀行公定率。

紐育準備銀行　三分

英蘭銀行　三分五厘

日本銀行　日步一錢六厘

然由各種事情而言。之等中央銀行之公定率。或更減下。殊如實現性濃厚者。爲英蘭銀行。最近倫敦金融情勢。日貸二分。割引率二分五厘。三月拂大藏證券約二分一厘五毛。與英蘭銀行公定率甚差異。且最近英國正貨之流出入。流入有超過傾向。英美滿水帶強調。于產業界不與好影響。故以低金利政策爲必要。次紐育準備銀行。雖不迫于如英蘭銀行降利必要。而不好法國資本之點。與英國同樣。且對內的。爲景氣振興。必要低金利。若英蘭銀行再降利。則紐育準備銀行。亦當隨從。最後就日銀金利。在金融界低金利不及通貨供給爲必要。且因發行稅關係。降利餘地亦少。然由景氣振興與其他而言。于政策產業方面。甚望低金利。爲關此等意味。金融實勢姑勿論。而由政策見地。近日中或更降下一厘云。

中國調查員
調查日程

二十五日東京電。據二十五日外務省接電。中國調查委員之調查日程。

一、二十六日上海發。滯在南京四日間。滯在漢口二日。次于北平滯在數日間。

一、至五月一日。爲提出滿洲問題豫備報告。于四月上旬赴滿洲。滯在三週間。

二、其後渡日本。聽取日本政府之意向。更渡中國。聽取中國政府意見後。擬在北戴河。發最後報告。

粵系蔣系軍隊爭奪地盤
以對日抗爭爲口實
大軍移動于上海

二十五日上海電。張發奎軍移動南方。蔣介石系熊式輝之第五師其他。亦中止江西兩省之共匪討伐。目下由陸路浙江省。向杭州移動中。此乃欲與我軍對抗之作戰。亦可謂廣東系軍隊。與蔣介石軍。藉與日本軍對抗爲口實。爭奪地盤。以上海爲中心之中國大軍移動。乃不經事實。填爲往日云。

滿洲國承認
各國空氣轉向有利

二十五日北平電。滿洲新國家。對列國發新國家建國通告。不知列國作如何回答。依其內容如何。可以推斷列國態度意向。事甚重視。近者英美法意白諸國。各經在哈爾賓自國領事館。答云受領通告。殊如勞農露西亞。比較諸國。示極鄭重態度。當地外交團。依此等事實。由實際上承認。有正式承認可能性。外交上醞成有利空氣云。

軍司令官
視察烏山頭
卅日夜車歸北

阿部軍司令官。隨時檢閱臺中分屯大隊告畢。偕宮內副官。及夫人女公子。搭二十七日下午三時二十分列車。通過臺南驛。經高雄。視察鵝鑾鼻。二十九日歸途。下午零時三十四分。抵臺南驛。同一時半。驅自動車。視察烏山頭貯水池附近。再歸臺南。投宿旅館。翌三十日。赴安平方面視察。搭夜行車歸北。

我將校斥候
與華軍戰
半時間後擊退

二十五日上海電。二十四日午後三時。在陸渡橋之西方三千米（白川司令官聲明線內地點）我將校斥候。與中國軍遭遇。交戰半時間後擊退之。我軍無損傷。中國軍侵入我聲明線之事既明。前線部隊嚴戒之。

臺北新水道竣工
質佳味甘全國稀見
足以給供卅二萬人

臺北市新水道。近已完成。爰于二十六日午前十一時。在臺灣神社山後之圓山貯水池。盛大舉行竣工式。該水道乃利用臺北市近郊及大屯山方面湧出清水。自草山經士林、圓山。引入于臺北市內。以後臺北市民。雖增至現在二倍之九十萬人。亦無可憂。該水源爲山泉。質佳味甘。稱爲臺灣第一。即內地亦稀見。蓋專門家所保證者。就此據市武部水道課長談云。

臺北水道水。乃取入新店溪水。然隨人口之增加。甚苦缺乏。臺北市爲此對策。妥爲利用草山上流之豐富水源。昭和三年四月。舉行興工式。以來經四箇年。投下工費二百十五萬圓。竣工告成。遂于二十六日。舉行竣工式。其擴張工事。本于斯界權威者佐野工學博士設計方針。經調查研究後。方得成案。利用天惠水源。其水質在日本亦稀見。唯伊豆之伊東。有類似水道。鹿兒島水道。由山引水。係集其谷間之水。水源兩處。各係地下水。々質極清冷。如依地表水之水道水源。不要沈澱池。濾過池。其他設備。不須何等淨水法。便可給水。一日湧出量。百三萬六千八百立方尺。若合既設水量。得應三十二萬人需要。第以既給水人口之平均增加率而言。至給水人口三十二萬。當在昭和三十五年也。由此擴張工事完成。則大臺北市之水道。已重如泰山。又從來臺北水道。爲補助水道。而以新水道爲主也。

梨樹鎮兵匪四百
恣行掠奪放火虐殺
鮮人二百餘被殺說

二十五日哈爾賓電。東華鐵道東部線穆稜鐵道終點梨樹鎮。突出兵匪四百。恣行掠奪。放火。虐殺。全市化成火海。民家數百余燒。鮮人二百餘有被虐殺之報。然鮮人陸續避難于哈爾賓。真相尚不明。

北投水道擴張
興工式

七星郡北投庄多年懸案之北投溫泉施設改善問題。依樹村庄長等之努力。着々實現。訂來二十八日上午十時。在北投公園廣場。集關係各方面人士。盛舉北投水道擴張及溫泉施設改善工事起工式云。

嘉義郡戶稅
事務磋商會

嘉義郡戶稅事務磋商會。去二十四日午前十時。開於同郡會議室。出席者嘉義稅務出張所山下州稅係長外二名。嘉義市白井戶稅係外三名。郡簑田街庄係主任。郡下市街庄吏員三十七名出席。磋議事項。爲嘉南大圳水租控除。外十六件。及戶稅所關疑義之點九件。至午後三時閉會。

阿部軍司令官
廿八日赴鵞鑾鼻
翌日視察屏東

阿部軍司令官。偕其夫人。搭二十七日午後四時十八分發高雄列車。到高雄。參拜神社後。入善妻旅館一泊。二十八日午前七時。往恆春視察鵝鑾鼻。東洋捕鯨會社事業所。林業試驗所。種苗場。石門等。同夜在四重溪一泊。二十九日往屏東。午前十一時十七分。經由高雄驛。向臺南云。

中瀨知事
巡視基隆

臺北州知事中瀨拙夫氏。擬于來二十八日。初巡視基隆市。是日知事乘自動車。於午前八時十分。抵市中學校。同三十五分。抵市役所。應接市內官民。正式參拜基隆神社。在郡役所。應接部下官民。巡視基隆署。醫院。女學校。訪問重砲兵大隊。衛戍病院。正午出席於一般官民之歡迎會。（顏家庭園）。午後經宋港。水產試驗場、要塞司令部。午後三時半。抵港務部。搭同四時五分。基隆發列車歸北。

竹下新知事
登廳訓示
赴各方面廻禮

竹下臺中州知事。去二十五日。抵臺中驛。受重要官民迎接。驅自動車參拜臺中神社。下午零時半。抵州廳。在公室接見各高等官。州市協議會員後。集州廳員。于第一會議室。訓示如左。余今回爲臺灣地方長官。拜命勤務本州。不勝欣慰。顧州治方針。歷代知事。施設得宜。但所確立州治方針。依世間變遷推移。有改換之要。當應時勢。加以適當施設。希諸君精勵格勤援助。其對于是。有今井內務部長。述答辭。畢。一巡州廳內各課。終到市內各官衙銀行會社各處廻禮。

長官視察日月潭
二十六日向埔里

二十五日魚池特電。平塚長官。偕松岡市尹外。重要官民隨行。發嘉義赴日月潭途中。在二水受臺電力會社南理事。新井建設部長。五百木庶務課長等出迎。於集々線。新井部長就日月潭工事。以圖面詳細說明。由水裡坑。驅自動車。迂迴山道。於午後零時十分。入涵碧樓。日麗風和。長官由涵碧樓上。眺望四方。次午餐。午後二時出發。參謁玉島之蕃天。次於日月潭。乘汽艇視察頭社堰堤工事。旋觀化番之杵歌。最後由新井部長。說明水社堰堤工

岡山公卒業式

岡山郡岡山公學校。第二十八回。及高等科第九回畢業授與式。去二十四日午後一時起。在同校假講堂舉行。小林校長述式辭。授與證書及賞品畢。由瀰郡守。授與賞品。郡守訓話。來賓楊庄長祝辭。本科畢業生非麗華。高等科畢業生劉森田答辭。在校生總代王蒔送辭。下午三時散會。此回畢業生數。本科六十二名。高等科二十四名。

高雄市佛教
慈愛醫院
來一日落成式

高雄市佛教慈愛醫院。此回由督府當局。寄附金二千圓。及市內有志諸慈善家之寄贈淨財。計金一萬五千餘圓。建設於市內北野町方面。新館一座。附病室。建坪百三十餘坪。已於昨日告竣。定來四月一日。舉落成式。目下由幹事者。準備中云。

嘉法院縮少
陳情長官
並議電話改造

高雄法院支部。決定來年一月增設。因此。嘉義支部內合議部。或豫審部。豫定縮少。事件稍複雜者。移于臺南法院解決。又阿里山國立公園。有太魯閣競爭。嘉義市民。希望設置農林試驗所等。去二十四日午後三時。利用長官巡視嘉義。市內有志者代表十名。協力陳情。並提出陳情書。市內電話交換室。從來爲單式。至少須呼兩次。深感不便。有志者亦擬陳願改爲複式。市內公私電話六百三十三個。每臺新費六十番。若改爲複式。須改築建物。工費約三十萬圓。際此財界緊縮。能否實現。殊爲疑問云。

急欲出恭不暇持紙
拾地下物被蛇咬傷
上半體生腫氣息奄々

高雄市前鎮人朱畑坤。年四十。去二十三日。午後八時頃。突起腹痛。急欲出恭。不暇持紙。及至事畢。始覺無紙可拭。轉眼向地上四顧。欲取雜物以拭。不料是處。伏一毒蛇。朱右手被咬傷數處。上半體生腫不堪。立舁入附近某病院。施以應急手當。目下尚續一命奄々云。

新營鐵線橋公
第七回畢業式

新營郡鐵線橋公學校第七回卒業式。去二十四日下午一時五十分舉行。有郡菊池視學。來賓五十里新營庄助役。及保護者等。多數臨場。岩崎校長對卒業生十名。總代李金水。授與一括證書及賞狀。菊池視學。對李金水。授與郡守賞。並一番訓詞。後五十里助役。庄協楊允中氏。先後祝辭。李金水氏總代答辭。式畢。一同紀念撮影。後開祝宴。此回學業操行。出席優等賞李萬盛。外六名。操行方正賞。十一名。學業優良賞七名。精勤賞二名。精勤賞九十四名。卒業生中。志願入上級學校者。商業學校。農補高等科各一。從事家務七名。

拘禁自轉車賊

新營郡柳營庄小腳腿人連厚所有自轉車一臺。昭和五年十二月十五日夜。在同庄大衆觀戲中。被人竊盜。去三月二十日。在高雄州恒春農場連厚之友人林老生處。發見柳營庄太康人王福基。賣與林清仔之自轉車一臺。價十圓。甚有可疑。即將其記號番號抄寫。報知于連厚。遂發覺真犯人王福基。拘到警察課留置取調中。

七星業佃會
水稻競作
廿九日授賞式

七星郡聯合業佃會。爲喚起佃人愛地觀念。及圖業佃協調。農產增殖施設。主開小作水稻競作會。訂來二十九日午前九時。舉行授賞式。式後繼開佃人懇談會。同日午後一時。開聯合業佃會評議會。其附議事項。一、昭和六年度事

臺北新水道
廿六日竣工式詳報
官民濟々約五百名列席

臺北市新水道竣工式。二十六日上午十一時。在臺灣神社後。圓山貯水池傍。盛大舉式。已如略報。是日市中官民。出席者可五百餘名。在貯水池南方設式場。首由山神官修祓降神後。西澤市尹。佐々木助役。由神官導往。與啓栓式。次奏樂祝詞。其次西澤齋主。總務長官（友部警務局長代理）中瀨臺北州知事。吉鹿市協議員總代。小松一般參列員總代。順序奉玉串後。樂奏撤饌送神。爲時適午。續移于相賀市技師。報告工事。其次則市尹。總務長官。州知事。安田市協議員等祝詞。十二時半式終。開園遊會。盡歡至近一時散會。

澎湖廳水產係
計畫鰮蓄養所
四季得供給全島鰹漁業者

現在臺灣鰹漁業。若餌料得以常有。四季皆得出漁。然該餌料常乏。故雖有利之各地鰹漁業。亦不得已要于一定期間中休業。而該餌料之鰮。澎湖近海。稍無盡藏。迄今供給各地不尠。顧該鰮。因現在設備不完全。致不能蓄久。故對各地方定購。不能一一應之。該業者間。鑑及此點遺憾。一面臺灣鰹漁業界。近念感餌之要。於斯業發展上。切望澎湖之餌料常備。使鰹漁業者。四季中得以自由購定出漁。澎湖廳水產係。爰設欲將近海無盡藏之餌料。設法養蓄。以應各因之需。種々研究結果。定將西嶼庄小門島。西嶼木島間。設法閉住。利用爲蓄養場。經著手設計。近已完成。若滿潮時。沒入海水。有一萬坪。退潮時亦有八千坪。是處理想的養魚場。若得以十分供給全島。該工費約略要五六萬圓。水產會幹部。現努力欲使該計畫。得以實現。澎湖每年鰮漁獲額。約百二三十萬斤內外。供給各地爲餌料者。不過二三十萬斤。其餘則全部曝作魚肺。關前記餌料供給問題。欲與高雄水產會磋商。去二十二日。三冊技手。三浦街長。上龍柳作。鍾西嶼庄長。林福蒲水產會役員。搭便船赴高雄云。

料理店女傭
服藥自殺

臺南市錦町。大黑料理店女傭人山縣倉。年四十四。去二十五日正午。外出一時間乃歸店。未幾苦悶。咯血頗多。經二十分間遂絕命。臺南署接急報。派警部補外保管。急赴現場檢證。其原因現調查中。諒外出飲多量劇藥。然無何等要自殺事情。而該女原爲酌婦。且無親戚。諒以是厭世自殺云。

豐原
及第高師

豐原女子公學校長陳蔡喜氏之長男陳蔡棣昌君。本年三月。以優等成績。畢業臺中師範學校。及第東京高等師範。日前又欲負笈上京。聞本年島人及第東京高師者。惟棣昌君一人而已。

羅東消防
十週年記念式

羅東街消防組創立十週年紀念式。去二十五日午前十一時。開于羅東街役場樓上。是日有總督府藤村警務課長。倉持州保安課長。菱沼羅東郡守等。凡五十餘名列席。宣告開式。次陳街長敘禮。並對勤續十箇年以上之功勞者。如柚木消防組長。野中副組長。河合九藏。吉田伊三。森德。恩川又作。白矢丈夫。及福田三郎諸氏。授與表彰狀。及木杯一個。又對消防組長。及組員三十名。贈呈紀念品。藤村警務課長。倉持保安課長。砂川宜蘭消防組長等述祝辭。菱沼郡守。一場訓示。閉式後。在同街役場前。撮影紀念。及演習喞筒。後一同入羅東公會堂。受羅東郡街庄民。開祝賀會。是夜假同公會堂。映寫活動寫眞。極盛況。

是々非々

爲慈善事業之包工者。口々慈善。即一坪包工。得利二圓。有是理耶。（羊頭狗肉）基市某町委員。慣用金錢。扶植勢力。欺侮良善。良心安在。（被害者不堪）高雄州下某處保正。期滿選舉。運動之法。妙莫能名。黨派壓迫。更覺可惡。趣聞百出。趣即醜也。小天地之醜態鬥爭。可堪浩嘆。（社會月旦）貴報文欄。載愛知縣農民。栽培洋麥。得利不少。臺灣地土氣候。不知適合否。請斯道專門家。爲詳示愛知縣下某郡某村。余欲親往視察之也。（花蓮港黃）

送前知事

今回退官之太田前臺中州知事。去二十四日午後十二時四十分北上急行車。通過豐原驛。有豐原東勢兩郡官民多數。在驛相送。更有森豐原郡守及岩下豐原街長。送至苗栗驛云。

北港
農事會議

北港郡農事組合。訂來二十九日午前九時起。假郡役所會議室。開通常總會。協議七年度豫算。及事業計畫其他等。又同總會後。擬開北港郡畜產改良組合聯合會。通常總會。亦欲協議七年度豫算及同事業之計畫云。

清潔日程

北港本年春季大清潔。決依左記期日施行。

三月二十五日北港第一保第二保。二十六日同第三保第四保。二十七日同第五保第六保。二十八日同第七保第八保。二十九日同舍社。樹內又各派出所部內。

新街四月七日至十一日。

土間厝四月七日至十二日。

客子厝三月二十八日至四月四日。

蚵寮四月十五日至二十日。

元長四月七日至十五日。

好收四月十七日至廿一日。

水林四月四日至十四日。

牛挑灣四月五日至十五日。

蔦松四月五日至十四日。

潭墘同右。

四湖四月五日至十五日。

新港四月四日至八日。

口湖四月七日至十三日。

下崙四月十一日至十五日。

三條崙四月四日至十日。

飛沙四月七日至十一日。

長官通過

平塚總務長官。爲初巡視高雄臺南兩州歸途。去二十四日午。由臺南出發。經嘉義大埔。視察糖業試驗場。及嘉南大圳組合烏山頭貯水池。堰堤。在同所午餐。下午一時半。啓行。同二時頃。驅自動車。由縱貫道路。通過新營時。該地平井郡守。兩課長。並庄役場吏員。庄協議會員。小公學校兒童。庶務警察兩課員。及各種團體職員。多數迎送。

新營
柳公畢業

新營郡柳營公學校第二十六回卒業式。去二十四日上午十時舉行。平井郡守代理及劉庄長。劉助役。組合專務劉偉及保護者等。多數臨席舉式。狩俣校長對卒業生八名總代周竹籃。授與一括證書及賞狀。次學事報告及戒告。畢。平井庶務課長。對郡守賞張進興。授與賞狀賞品。並一番訓示。後庄長劉明智氏祝辭。卒業生總代周竹籃答辭。十一時

會事

▲臺北市北松龍山兩公學校兒童保護者會役員。去二十五日午後七時。在龍山寺會議室。議開謝恩會。招待兩公學校教師。期日決定來三十一日午後六時。場所假龍山公學校講堂。會費每人二圓。希望參加者。限至三十日。向西門町委員事務所電話一、二六〇番聲明云。

▲由新竹長崎。佐賀縣人會主催。市役所。鄉軍會新竹分會。三日刊記者後援。於昨二十六日午前八時。在新竹公園招魂碑前。爲北川。作江。江下肉彈三勇士。舉行慰靈祭。是日有官民。及學生多數參列。

▲新竹郡舊港庄業佃會第二回通常總會。定來二十八日午後一時起。假舊港公學校開催。附議昭和七年度豫算。規約一部改正。並改選總代。是日有福引抽籤。以助餘興。又李州勸業課長。中平郡守等擬列席云。

▲新營郡街庄治研究會。訂二十八日午前九時起。在同會議室。開庶務研究會。當日出席者。街庄長及關係吏員。預定有二十五、六名。

▲北港朝天宮。訂本二十七日。（即古曆丁亥日）依例舉五文昌夫子春祭。

▲高雄市。澎湖廳民會高雄本部。定來二十七日。午後一時起。在同會館內。舉第六回總會云。

人事

▲朴子濟。多年勤務林本源當記。二十四夜。忽患腦出血。逝於太平町四丁目三九寓次。年僅三十八。出殯期日未定。

▲新北街林耀九氏。元新北第一公學校訓導。辭職後。去二十四日。在當街開業代書。

▲本社新北部通信林家甘氏。定來廿六日。赴竹部視察。

磐城奇案（三）

保泰背著包。一頭走。一頭尋思。今天好端々的高興返家。即被一群小兒。一頭淋着二瓢尿水。也不知是真是假。我那丈夫。也不致有這種勾當。也罷。「人不保心。木不保寺。」「無風怎會起浪」到家再作理會。保泰沒精打彩的。走到自家門首。叫道「屋裡有人嗎」方氏笑臉々的迎出道「唉唷、原來是你、來了。我不是人嗎」大驚小怪的。嚇得我苦」。閑手將包接過。奔進屋子裡來。殷勤的。給保泰擠了一盆清水。取來個汗巾。請保泰擦臉。保泰面上皮的難過。却不理會。一屁股坐在炕上。方氏陪著笑臉道。你怎的了。半年沒回家。緣何這等模樣。有甚麽解不開的愁腸。悶々懨々的。難道你掌櫃的。一把你辭了。這也不算什麽。不賺他的錢。不受他的氣。原來方氏。不知保泰早已聽說了。保泰嘆口氣。說你那裡得知。我們櫃上。方氏道。你們櫃上怎的。保泰道。「我們櫃上。高先生。在城裏黃三大爺家。治了一個病。吃藥多付。不但不效驗。並且死了。那黃三太爺。對於這筆藥錢。不但不肯給。還要我們東家賠償。咱東家更硬。一要討這筆錢。我還說「他要不付藥錢。」就將這筆賬。委託到我身上。並且告訴我。說「他要不給錢。你就在那兒等。」他家裡沒人。本是一股火。想那黃三大爺。豈好惹的。今番我去。豈不是火上澆油。我本待不去。又想。捧人碗。服人管。吃誰錢。就得給誰拉套。我要是去了。倘如被黃三那厮氣惱打死。拋得留一個年輕幼小的婦人。誰替我報仇麽。因此回轉家來。和你商議。我打算不幹了。方氏接著道。我當有什麼大不了的事。原來如此。你若去時。只要豁通一點說。人心都是肉長的。難道他就撒野。依我看你。還是去當外櫃的事。多麽輕巧。不幹幹甚麽。（未完）

臺灣日日新報

本日夕刊共十二頁

[illegible]

世界大戰座談會

出席者

海軍大佐 安武正道
海軍少佐 福永恭助
參謀本部附 根本博
[illegible]

特別讀物

銀座繁昌策 小林一三

江戸の相政（近世俠客噺） 子母澤寬

總選擧前後（政界夜話） 城南隱士

鶴澤叶聞書 その二 茶谷半次郎

笑ひのエキストラ 濱本浩

新聞紙論評

滿蒙新國家特設

新國家之言 王一胡

滿洲國の誕生 白鳥香一

滿洲はどんな所か 江藤夏雄

愚感 阿部賢一

世界のインフレーション的傾向（政治經濟時評） 土方成美

射殺された團琢磨 鈴木茂三郎

日比谷座新スター風景 竹内栖鳳

菊池寬の屑籠

四人の評判

日本はどうなる？

◆十字路頭に立つ日本外交 神川彦松

◆日本景氣の將來は何を約束するか 有澤廣巳

◆ファッショに成つた政局は安定するか 新明正道 永川俊美

創作

短篇集 川端康成

雪崩 深田久彌

母達のために 立野信之

來迎の姿 嘉村礒多

鯨 三人と一人 丹羽文雄

細田源吉

谷崎潤一郎氏に就て（文藝時評） 中戸川吉二

スポーツ

今春のリーグ戰 天知俊一

春の豫想から夏の舞臺へ 小高吉三郎

實話

漂流する餓鬼 吾妻二

執政溥儀氏に落着くまで 伊集院

三部實笑婦物語 名和藤輔

隨筆

[illegible]

座談會

出席者 御手洗辰雄 佐々弘雄 菊池寬

附錄 文壇ユウモア

主要列車時刻表あり

文藝春秋

東京市麴町區内幸町大阪ビル 振替東京一七〇六三〇番

文藝春秋社

大附錄つき四月特大號

現代

◆日米戰爭近づく 米國陸軍中將 ミッチェル

ファシズムと愛國運動 明大教授 赤神良讓

◆奉天の要人と語る 東朝外報部長 町田梓樓

◆滿洲國元首、數奇の半生 山内春雄

人情美に感激した話

◆舊友馬占山君 外山高一

◆犬養首相父子 諏訪三郎

◆日本は勝てり 沖野岩三郎

現代の人物を語る座談會

◆時事短評 法學博士 下村海南

◆時の人

◆海外時事 東朝外報部長 町田梓樓

巨頭はどう動く 阿部眞之助

春のリーグ戰展望 報知記者 天知俊一

◆偉大なる天才ヘランカ 清澤洌

◆飛行機王フォッカー傳 中正夫

◆歌姫關屋孃を中心に日系米國娘の座談會 清澤洌

◆特種秘密話公開

◆宣統帝と芳澤外相

◆死線を越えた奇傑

◆悲壯!! 油井君の最期

◆兵匪の中に同胞を救ふ

◆スパイに利用された話

特輯 春のユーモア

◆江戸から倫敦へ 白井喬二

◆荒井良輔 吉田絃二郎

◆アル中二人組 徳川夢聲

◆ストップ 丸木砂土

◆ロボットの誘拐 龍膽寺雄

◆戀の上海 池田桃川

◆私の見た滿洲事變

◆インフレーションとは？

◆貴金屬の見分け方

◆紳士の身嗜み

◆増税・減税・新税の話

▲歷史小説 大石良雄 武者小路實篤

▲社會小説 荒野の呼ぶ声 賀川豐彦

▲事實小説 危機一髪 大森洪太

▲時代小説 女殺し權現裏 大佛次郎

▲偉人小説 秋山好古 山中峯太郎

(實物縮寫眞)

別冊附錄 誰にも必要な政界の常識 (三六判美本)

現代人は悉く座右にお備へあれ!!

◆衆議院の各政黨と中心人物
◆議會の議事法
◆貴衆兩院歷代議長一覽
◆主要國政治形態一覽
◆選擧制度の沿革
◆世界列國の現狀と其動き
◆新代議士一覽
◆宮中席次一覽表
◆代議士老若番附
◆軍部一覽
◆政黨の沿革一覽
◆大官一覽
◆樞密院議員一覽
◆歷代大臣一覽
◆朝野兩黨代議士當選番附
◆政界用語辭典
◆貴族院諸會派と中心人物
◆議會解散一覽
◆貴族院の組織と議員の種別
◆政黨の主義政策
◆選擧費の内幕ばなし

定價附錄共六十錢 (送料四錢)

大日本雄辯會講談社

商業登記公告

[illegible]

▲內科▼

吉田內科醫院

臺北市榮町一ノ五

第壹期決算報告 (昭和六年九月三十日現在)

[illegible]

臺灣製帽株式會社

工事請負入札公告

[illegible]

馬公海軍共濟組合購買所

決算報告

[illegible]

ラキサトール

無味・無臭副作用なき緩下劑

殊に常習便秘に

本劑は今や全國多數の病院醫院にかて優秀國產緩下劑として盛んに愛用されつゝあり

本劑の排便作用は通常六乃至十時間後に來り便通は極めて自然的にして何ら副作用なし

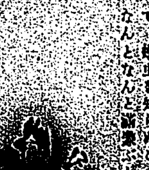
連用するも習慣性なく無味無臭にして服用し易く奏効常に顯著なり

(全國藥店にあり)

大阪 塩野義商店 道修町三丁目

虫下し マクニン

日本はマクニンデー



マクニン

お子達には菓子 マクニンゼリー

[illegible]

國家社會主義 思想の解剖
反動的である事は掩はれぬ

一

いまの日本は、「國家社會主義」なる標柱の側に立つて聊か目迷ひの感あり。現在識者の間において盛に之が論議されてゐるのも此の爲めと察せられる。國家社會主義を解いて言へばファッショ的思想であるが、日本で今日唱へられてゐる國家社會主義は、伊太利のムッソリニズムより遙かに國家的見解において徹底してをり、皇室中心の思想に盛りて今日の時代に即した社會主義的政策を行はんとするところに純日本的の特異性を多分に持つやうである。吾人はこの主義綱領に對し多數の國民が大體に共鳴を感じつゝある事實を無視するものではないが、無批判の共鳴は如何なる場合においても極めて危險であり、識者の到底與し得ないところである。コレ吾人が茲に國家社會主義思想の解剖を試み、その實體本質を究めんとする理由である。

二

ファッショ主張の政綱が、國家としての統制をつけてゆく上に可なり有效適切であるのは事實である。殊に國家の統制が破れ勝ちになり國内治安維持の上から、國家權力を極度にまで發揮する必要に迫られた樣な場合には、ファッショ主義政府が一番仕事がやり易いといふ所、爭へない所である。此點は伊太利にファッショが起つた一九二二年當時の模樣を見ても明かであつて、國家の狀態が動搖し安定を缺いたり或は一般的に[illegible]狀を呈した樣な場合に起り來る主張であることを先づ注意いたさねばならぬ。而して吾人は此の場合參考として、ムッソリーニが如何にして多難の伊太利をファッショ主義に依て救ふたかの事實を諸君と共に想起いたしたい。

三

ファッショの元祖ともいふべきベニート・ムッソリニ氏は[illegible]イタリアの中堅として盛んに大伊太利主義を强調してゐたが、大戰後のファクタ内閣が無力であつて怒濤の如くに押し寄せる共產主義運動や猛烈なるストライキに對し手の施しやうなく、政府は寧ろ是等の新勢力に對し秋波を送らんとする傾向さへ明かになつた。コレは伊太利國家として眞に重大であり一大危機であるので、茲にムッソリニ氏は斷然として起ち一九二二年十月遂に黑シャツ軍の進擊を見るに至り此の新勢力を以て祖國の危機を救つた。かくしてムッソリニ式國家主義政府を組織し今日に至つてゐるのである。現に今ファッショ運動に依て伊太利が共產主義者の手から奪ひ取つたことだけは明白なる事實であつて、伊國に於けるファッショの永遠に誇る功績なりと言はねばならぬ。

四

國家が難局に際してファッショ主義の統制し勢力を得て來ることの他の一例は、現在の獨逸に於てヒトラー一派の擡起が之である。現在のやうに莫大な賠償金及び戰時債を背負はされてゐる獨逸國民は經濟財政的に將來的に自立し得ないから、獨逸の統制を主眼とするファッショ主義新政權の手に依て同國の根本的革新を强行しやうといふ所に目標を置き、その首領ヒトラー君は其の政策實現のため大統領候補として打て出たこと世人承知の通りである。是等の事例から眼を轉じて日本の現狀を觀望する場合、國民は果して如何なる感想を得るであらうか。いろいろの國難相つぎ、政黨は在來の態度を改むることなく國民の間には議會否認の聲さへ聞かれ、大資本閥の跳梁また時に國民の眼に餘ることがある。是等に刺戟されて國民の胸底に自つとファッショ主張的思想が泉の如く湧き立つのは一應は尤ものやうでもある。

五

然しながら既に論じた所で明かな通り、ファッショ主張は飽くまで反動的思想であり、國家社會の變態時においてのみ出現を見るものであつて思想そのものが反動的であり變則的であるとの批判は免かれぬのである。問題は我國の現狀が、この反動思想を受け容るべき社會狀態にあるや否だが、吾人の見る所を以てすれば數日前の本欄にて論じた如く之を容認すべき何等の根據もなきことを直言いたさねばならぬ。健全なる國家社會への大道は、現在においても依然として民意に基づく立憲代議政體にあるのであつて、若し此の政治組織に不都合があり缺陷があるならば其の惡い所を改めて進めばよいのである。殊更らに反動思想の圈内にまで突入する必要はないと信ずる。ファッショ的思想が、國家主義的に偏く、個人生活を基調とする民族發展の點においてデモクラシーに劣る所あることも亦た衆人の認むる所である。吾人は、國家非常時の場合を除いてファッショ思想や國家社會主義に與すべき何等の政治的若くは思想的根據を持たぬことを茲に斷言する。さりながら現在のやうな泥山の世界をもつ政黨政治がこの儘で改善されず、國民は國民、議會は議會といふ風に別れ〳〵になつてゐては、我國にも國家社會主義思想の高潮し來ることは到底防ぎ得ぬであらう。コレ政治家や識者が今日に於て特に留意し深く反省いたさねばならぬ所以である。

決裂を憂慮されつゝ 日支停戰會議開かる
一時間餘にして散會

【上海二十六日發電通】交涉決裂に瀕した爲め停戰會議は物別れとなつたが、英米兩公使の斡旋で今朝十時から隱密開會される、昨日の會議で日本の主張した撤收線は南翔、江灣鎭、大場鎭、楊行鎭、瀏河鎭を通ぜられる線に對し、支那は何れ政府に回訓の上回答すると述べてゐるので、今朝の會議には間に合はぬ模樣である、然し若回訓到着せば討議に入るが我態度は强硬である、支那側も容易に聽かざるべく會議は結局決裂に至るなきやを憂慮さる

【上海二十六日發聯合】停戰會議は今朝十時英總領事館で開會、國際警察組織問題につき討議した

【上海二十六日發電通】停戰會議は午前十時二十五分緊張裡に開會されたが、會議は益々重要事項に亙るので、英、米、佛、伊四國陸海軍武官が會議室の隣室に詰かけてゐる、之より先き我方は重光公使、植田師團長、田代、島田兩參謀長、松岡洋右代議士を加へ午前九時前から日本公使館で重要協議會を開き會議方針を協議した

【上海二十六日發電通】停戰會議は午前十一時四十分散會した

【上海二十六日發本社特電】二十六日の停戰會議は午前十一時四十五分に散會した、次會は二十八日午前十時から續會の豫定である、二十六日の會議では前日決裂の危機を行つた日本軍の撤退問題に關して意見の交換をなしたが何等決定を見ず保留のまゝ第二項の國際聯合委員會設置問題の討議を試し大綱決定した

若干の點では一致（コンミユニケ發表）

【上海二十六日發電通】停戰會議は散會後左のコンミユニケを發表した

日支兩軍撤收其他重要問題二、三に就て討議した結果、若干の點で一致した、撤收問題は具體的事項に亙り細かに討議した、然し會議は本會議に報告する程進展せず、二十八日は午前十時より本會議と並行して小委員會を開く

難局を切拔けたい（郭泰祺語る）

【上海二十六日發電通】停戰會議散會後郭泰祺は語る

今までの會議は大體進捗してゐる、問題が專門的で多岐に亙るので分科委員會で討議を進める兩國協定の責任者として余と重光公使が出席してゐるが、雙方の互讓に依り難局を切ぬけたいと思ふ

兩軍の撤收を確認する 混合委員會を編成
大體結論に到着したと
コンミユニケ發表さる

【上海二十六日發電通】停戰會議散會後左のコンミユニケが發表された

本日の本會議の議題は主として兩軍の撤收を確認する任務を有する混合委員會の編成並にその業務に關する事項に付き討議せられ、大體結論に到着した、又一面に於て兩軍の撤收に關する細目的事項を協議するため小委員會を設置した、直ちに審議を開始した混合委員會は日支及び四國武官にて組織されるものである

【上海二十六日發聯合】二十六日の停戰會議散會後重光公使は左の如きコンミユニケを發表した

日支停戰會議は午前十時より開會し友交四ケ國代表者を含む混合委員會の構成及び仕事に關して意見の一致を見た。混合委員會は四ケ國及び日支文武官を以て組織し、相互の撤退を監視する爲のものである、尚ほ軍事上の問題決定のため、分科會（小委員會）は相互撤退の細目につき交涉を重ねてゐる、本會議は更に二十八日午前十時より開催される事になつた、混合委員會は日支及び四國文官を以て日支相互の撤兵を監視するが、委員の數及び選擇其の他委員會の事務上の問題は田代、黃強日支參謀長及び四國武官を以て組織する小委員會で決定する事になつてゐる、小委員會は本會議と並行して今後も同じく開かれる

特別小委員會で專門的協議

【上海二十六日發電通】停戰會議特別小委員會は二十六日午後三時より英國總領事館に開會

日本　田代少將、北大佐、阿部海軍大佐、梶原通譯
支那　黃強外一名

及び各國武官出席、我軍撤收線及び撤收期日、支那軍駐兵地點等を一括議題とし專門的協議を行ひ午後五時十分散會

若干の進捗を見た（田代少將談）

【上海二十六日發電通】停戰會議軍事小委員會[illegible]小委員會は二十八日午後三時から續開するに決したが右委員會に付き田代少將は左の如く語る

特別委員會は主として撤兵具體案に關し專門的見地から討議を進めてゐる、本日は我軍撤兵後の支那軍隊の駐屯地の問題に付き意見を闘はし、若干の進捗を見たが決定までは尚相當の討議を要する

特別小委員會出席者は日本側田代少將、原田大佐、支那側は黃強、[illegible]である

大詰めで背負投げか

【上海二十六日發電通】日支停戰會議は支那側の强硬態度に[illegible]その解決相當永引かんと見られるが、聞く所に依ると蔣介石の復活に伏からず、[illegible]をして會議を永引かせ、確かに張[illegible]の前線參加を待ちつゝあり、目下張發奎軍は上海に移動中で上海の上は日本軍に總攻擊を開始するとさへ豪語し居り、斯くて支那の內部的紀律は會議の大詰に於て背負投げを喰はせるにあらずやと早くも會議の前途悲觀されてゐる

川村氏の起用で 農相へそを曲ぐ
閣議にも出席せず
各閣僚も大に憂慮

【東京二十六日發電通】犬養首相は內閣改造に當り、川村竹治氏を法相に起用したのに關し二十六日正午山本農相を招き諒解を求むる所あつたが、農相は嚮に東武氏を推薦してゐた關係上、首相今回の處置に非常に不滿を抱き、二十五日午後の臨時閣議には病氣と稱して出席しなかつた、之は農相が將來に不穩の態度を表明したもので之に對し各閣僚も頗る憂慮し何人かがこの間に立ち農相をなだめることとならう

與黨有志代議士が 黨の平和を懇談
百餘名三緣亭に集つて

【東京二十六日發電通】內閣改造は鈴木系の策謀功を奏して斷行せらるるに至つたが、之が爲め反鈴木系の憤激を買ひ、黨內に拭ふべからざる溝渠を殘し、この儘放任するにおいては何時如何なる大事を惹き起さんとも測り難いので、黨內の中立的立場にある黨員の間にはこの黨情に憂慮し、尖銳化した兩派の感情を緩和し、黨の和平を圖る必要ありとなし、それには純眞なる黨員の結束をもつて黨員の總意が常に公平平等に總裁に進言せられ、總裁の裁斷が全黨員に納得せらるる樣な融化融合の諮問機關を設置するが至當であるとの議論の下に、有志代議士百餘名發起となり黨の長老岡崎、水野、望月、小川、山本（条）その他の諸氏と共に二十六日午後三時より芝公園三緣亭に黨の和平懇談會を開會した（發起人）西田敬吉、倉元要一（東海）、井出[illegible]（北海道）兒玉右二、[illegible]（中國）首藤長吉、清家吉次郎（四國）內野辰次郎、向井倭雄（九州）外六十余名の發起人出席、先づ兒玉右二氏より黨中黨を圖つる策謀は我黨の病根である、我等はこの好ましからぬ黨情に鑑み、純眞な氣持をもつて和平運動を起したるに、一部には之を逆用して內閣改造派の變支持運動なるかの如く宣傳中傷したるものあるは遺憾である、我等の運動は決して鈴木床次久原等の傀儡にあらず、一派に偏せず[illegible]の大政友會を圖る上に强からしめるため、一に上下融合を[illegible]一部のものが總裁を動かし公平を缺く如き事を[illegible]ため黨高諮問機關設置の要ありと述べ、長老と各代議士間に意見一致を見、四長老は熟議にて總裁の諮問に應じ黨と協力すべきを約し七時散會

四長老も 協力を約す
政友會中間派の 諮問機關設置に

【東京二十六日發電通】政友會內の中立的立場にある黨內和平派の組と黨長老との懇談會は二十六日午後三時より芝公園三緣亭に開會

水野錬太郎、望月圭介、小川平吉、山本條太郎、岡崎邦輔氏等の長老初め[illegible]（四國）木下成太郎、西方利馬、[illegible]林路一（東北）武田德三郎、（北

生活の安定を圖り 思想の惡化を防ぐ
鈴木內相の抱負

【東京二十六日發電通】鈴木新任內相は二十五日夜今後の內務行政方針に付き左の如く語つた

自分が內相となつて何よりも重大だと思ふのは思想問題、社會不安だ、之に對しては左右の別なく徹底的に取締る、この思想惡化も期する所は生活の安定を得ぬところから生ずるものであるから一方に過激思想取締を嚴行すると共に未然に防ぐ如き事態を招來せぬやう[illegible]前內閣のやうに[illegible]少しばかりの救濟より積極的に失業防止に努め國民の生活を安定せしめ從つて危險思想を防止せしむる事を第一とするつもりだ、この意味において思想取締りと共に土木事業も大に起し又社會行政にも意を用ひたいと思ふ、內務首腦部や地方長官の異動は別に行はない、現內閣が折角これを組立てたものを大臣が變つたからと言つて替へる必要もないと思ふ、選擧法の改正は或は行ふかも知れぬがまだ判らぬ

司法權の尊重と 威嚴を發揚
川村法相の抱負

【東京二十六日發電通】新任川村法相は語る

[illegible]自分は司法部の事は全くの素人であるがこの[illegible]法相となる[illegible]に就ては第一番に司法權の尊重と、その威嚴を發揚する事に力めるは勿論最近の人心險惡社會狀態不安に鑑み社會人心の安定を圖るため充分力を盡すつもりである、又從來裁判が遲れると云ふ非難が大分あるので裁判の進行を早める事にも努力し民意にそひたいと思ふ

郡守の異動
二十六日發表さる

既に退官した郡守の補充を含む異動が二十六日付で左の如く發表された

督府地方理事官
八級俸下賜　甲木豐吉
臺北州蘇澳郡守を命す
九級俸下賜同　眞室亞夫
臺北州新莊郡守を命す
九級俸下賜同　梅谷修三
臺北州羅東郡守を命す
九級俸下賜同　佐藤勝也
臺北州七星郡守を命す
九級俸下賜同　中尾莊兵衞
新竹州[illegible]郡守を命す
八級俸下賜同　都築琛藏
臺中州新高郡守を命す
八級俸下賜同　泉芳德
高雄市助役を命す
同　菱沼宇平
新竹州竹東郡守を命す
同　曾根原弘
臺南州虎尾郡守を命す
新竹州勸業[illegible]八等　甲木豐吉
督府交通局書記兼督府屬　眞室亞夫
臺北州[illegible]部　梅谷修三
交通局書記兼督府屬　佐藤勝也
督府殖產局書記兼督府屬　中尾莊兵衞
督府屬　泉芳德

任督府地方理事官
敍高等官七等（以上內閣）（各通）

異動評

◇本月十九日退官した郡守、助役級の補充は取敢ず二十六日前項の如く補充された、郡守、助役級に進出する有資格者及特別任用は二十一名だといふことだから今回進出の新任七名を除けば十四名がまだ殘つてゐるわけ、玉手箱があけられるまで候補者は樂みにして待つべしである

◇今回の郡守、助役の補充は既に豫想された顔ぶれで先づ適材を適所にはめたといつてよからう、曾根原の虎尾は確かに適材だが木下前長官と同縣の佐野だから已むを得まい佐藤、眞室、中尾などの諸君は有資格者で一、二年前から今度は出るだらうといつも線香をかがされたもの

◇甲木の蘇澳は特別任用としては大栄轉で府內に有力な後援者があるのだらうと一部では噂して居る、都築も相當ある男だ、梅谷、都築兩君は經濟畑の人で相當手腕家、泉君は高雄市助役は手八丁口八丁で何をやらせても出來る男、殖產局商工課に永く勤め產業組合の權威者である、曾根原助役には最も適任だらう、菱沼の竹東も惡くはあるまい

辭令（東京二十六日發電通）

司法大臣秘書官　猪野毛利榮
任內務大臣秘書官（三等）
衆議院議員　平島敏夫
任司法大臣秘書官（三等）

督府追加豫算案 作成を急ぐ
二十六日から著手

【東京二十六日發本社支局特電】督府七年度の所謂政策的追加豫算案作成については過般來の人事問題、臨時議會等の爲め延び延びになつてゐたが、議會も昨日無事終了したので岡田新局長により豫算を改め愈々本日より作成を急いでゐる

保證準備擴張案 特別議會に提出
限外發行を要せぬ程度に

【東京二十六日發電通】高橋藏相は金輸出再禁止後の日銀兌換券發行保證準備の限度擴張に付き次の特別議會に法律案を提出することに決した、而して保證準備を擴張すると共に納付金制度を制定する方針で大體保證準備は限外發行を必要とせざる限度まで適當に擴張することとし、若し限外發行を必要とする如き場合になれば金利政策に依つて調節し得るやう制度を改める意向である

明年度の公債發行 五億圓を突破か
明年度實行豫算編成の爲め
藏相官邸に於て省議を開く

【東京二十六日發電通】六十一議會も終了し、大藏省は明年度實行豫算編成に着手することとなり、二十六日午後一時藏相官邸に於て省議を開き、歲入見積りを審議した、二十七日午後一時半から引續き續行する筈であるが、明年度の公債發行額は昭和七年度に比し可なり多額に上る見込みで五億圓を突破し、發行不可能に陷る懼れが多いので、極力公債政策を押へる方針である、而して[illegible]各省大臣の新規要求を如何に取扱ふか等の根本方針決定の上審議することとなる

貴衆兩院議員に 酒饌を賜ふ
御慰勞の思召にて

【東京二十六日發電通】天皇陛下には第六十一臨時議會に際し議員に對し御慰勞の思召にて二十六日正午[illegible]首相以下各大臣、貴衆兩院議長以下[illegible]正午[illegible]の間にて一同に酒饌を賜はつた

糖業試驗所 用地問題解決

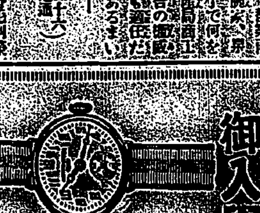
[illegible]糖業試驗所の官制は二十三日公布されたので[illegible]殖產局長[illegible]兩、高雄州廳下に出張し[illegible]二十六日朝歸北した、其の用向は屏東市に新設される糖業試驗所の土地選定その他に關するもので、[illegible]は用地問題を解決し而して[illegible]工事に取りかかるに當り州市當局に對し今後に於ける何分の援助及便宜を請ひ挨拶をなすところがあつた

人事

▲白勢國交通局總長　市內御成町一ノ二四（電二、三四六番）に卜居
▲村松昌二氏　退官後も依願通り督府學務課で農協の事務を執る
▲森田富士助氏（遞信省保險局工務課長）二十五日東海岸へ
▲文部郁次郎氏（京島）二十六日臺中より角板山に赴き一泊二十七日夜來北（吾妻）卅一日內地へ
▲牧山清砂氏（帝國製麻專務）二十五日來北（鐵道）

內科、眼科　本町二ノ[illegible]　大竹醫院
肛門梅毒科　濱町二[illegible]　肛門病院

臺北市榮町二ノ九　電話二五三番
內科　外科　板谷醫院
[illegible]



御入學、御進級、卒業
御祝として
好適品は最も
確實なる盛進商行
の學生持時計を
御利用願ひます
其外學生用品並に
記念贈答用品各種
臺北市本町　電話二〇七番　二〇五番
盛進商行

スクレ
御化粧に
Let try Woolly
WOOLLY

此頃の
流行風邪には
キツトよく效く
發賣元
南門藥局
電話1508番 2994番

[illegible]
のみ易[illegible]
を召し上つて
下さい
（全島有名藥店にあり）

山の先覺者……ツベリアさん

赤き戀から死の日まで

數奇の一生

山の先覺者—若い日のロマンスから數奇の運命を辿つた新竹のヤジウ・ツベリアさんが死んだ風邪が元で肺尖カタルを併發し去る彼岸の中日眠るやうに靜かに彼の世へ旅立つていつたのであるが葬儀は州の理蕃關係者や郡役所員ら多數出席して仲々盛大であつた、而も現金で七千圓餘からあつたさうであるから彼女の生前の用ひ振りは偲ばれて山の同族は今更ながら彼女の死を痛惜してゐるとか

×　　×

彼女は新竹山の[illegible]頭目の長女として大溪郡竹頭角に生れた、年頃となるにつれて美しくなつて行く彼女の美貌と怜悧たる理智とは部落の若者の血をどんなに湧きたたした事であらう、併し大自然に閉鎖された深山の中で何事もなく父頭目の愛護の下に平和に生きて行つた、時は明治三十四年領臺後十年に充たないその頃は蕃情は穩かでなかつた隘勇線の彼方から物凄く山に谺する小銃の音が聞かれる日もあつた、或日突然裏に突然一內地人青年が—話しにだけ聞く異族の青年が彼女の家に飛び込んで來た、頭目も彼女の母もそれから彼女も驚いて物々しい樣な此青年—中野[illegible]青年—を見て暫しは言葉もなく呆然として[illegible]るばかりだつた、併し次の瞬間戸外にドヤッと起つた蕃丁のざはめきに頭目は我に歸つた、そしてこの青年中野[illegible]君が蕃[illegible]取に身の危險も忘れて入山し今日蕃人に追はれて家もあらうにこの蕃人の頭目の家に逃げ込んだ事が分つた、彼女—ツベリアさんは併し一目見たその瞬間からこの初めて見る異樣の青年を何かしら心臓のときめきなしには見る事が出來なかつた、戀か、それの芽生えか！悲の閃きか、彼女は蕃生の勇を振つて父頭目に助命を懇願した、かくして彼と彼女の戀は奇しくも結ばれ結婚式も華やかに擧げられた、彼女は溫情の限りを盡して夫中野君に仕へた、彼中野君も全身をあげてこの命の恩人である彼女を愛しよき家庭をつくりつけた、彼女は結婚直後斷然向學に志し夫の事業を助けんと第三高女の前身たる國語學校第附屬女學校に明治四十四年依託生として入學した、爾來現在今日の彼女はかくして築かれたのだつた、その後彼女は夫とともに京都に居を移した、併し人生は何時も彼女に笑顔ばかりを見せてくれなかつた彼女の腕から死の神は彼女の夫を奪つて了つた、彼女は悲しみにつぶれた胸を抱いて故鄉に歸つた、そして竹東郡內橫屏—そこは吉野櫻の美しく咲く—で駐在所の蕃語教師として死の日が來るまで淋しく暮して來たのだつた（寫眞はツベリアさん）

臺銀五十圓券のにせ紙幣現はる

臘塗紙へ巧みに繪描いたもの

犯人は早くも晦逃

【臺南電話】此程臺銀支店に於て十圓僞造紙幣が發見されて間もなく二十六日正午頃一本島人男が同支店を訪れ五十圓臺銀紙幣を差出して一圓紙幣と交換方を申出た行員が引取れば一目僞造なる事が判り、それと臺南署に急報したので係官は直ちに持參の男を捕へて取調べの結果同人は高雄州岡山郡湖內庄圍子內八六〇五曾西欽（二一）と云ひ彼が今朝知人某に牛を賣りその代價として某より右紙幣を受取り利益三十圓五十錢を支拂つたが尚利益不足なるため臺銀に兩替方を申出たものと判明した臺南署では逸早く某の逮捕に向つたが某は前科三犯の竊盜常習者のしたたかもののことで捜査開始と共にそれと感づき姿を晦ましたものである。僞造紙幣は極めて粗末な臘塗りの紙質に凡て鉛筆ペンで巧妙に繪がいたもので此程發見された十圓紙幣の手口に酷似して居り未だその犯人も擧らぬ折柄では恐らく其の所爲と睨み依然色めき立ち何はさて置き逃走者某の行方を嚴探中である

政治の對照はすべて民衆本位に

搦手人事は絶對排斥する

今川知事の初訓辭

【臺南電話】二十五日午後來任した今川臺南州知事は二十六日午前九時には既に登廳の上同九時半より州職員一同を會議室に集め「今回臺南州知事を拜命致したことについては前知事に致された諸君と職員を同時にお分ち下されて州の統治行政上それぞれ皆樣の立場からの御協力により州下八十萬民衆の福利增進のため御努力あらんことを希望する又自分の心境の一端は先月來の新聞紙上で御承知のことと思ふが官吏以來常に育つて第二の故鄉たるを思ひ本島を愛する心は島民の人後に落ちないつもりである更に執務上に關し服務規律等は特に申述べる必要もないが心得の出發點は矢張り民衆の上に置いて統治の一端を分擔してゐる心得を寸時も忘れぬやうにして頂きたいさうして官吏であるについては國家本位を根つことは元より必要だが個々の小我を捨て進めるやうなことがあつてはならぬ又事務を取扱ふ上においては上下の階級があり系統はあるがその全機構は集つて知事の仕事となる順序である點よりその系統を亂さぬと共に一層の研究と努力を重ね私の心に添ふやうに願ひたい、言葉をかへて云へば御き申出あるやう私の願に入るやうにして頂きたいのである、それから身心の健全を期することは即ち[illegible]によつて起る事務の支障を出さぬこと、これらは特に節制を重んじ[illegible]が比較的起らぬやう心掛けられたい、尚其後に婦人の人格を尊重することは元より必要だが、婦人を働かして出世しやうとしたり、他人を陷れやうとするやうなことは、今川知事在職中は絶對行はせない故安心して頂きたい」とて一同を激ばせ從來嘗てなかつた打解けた就任訓示をなしてこれに對し石井內務部長は一同を代表し閣下御訓辭の趣旨を體し一同州治上一段の努力をなす旨の答辭を述べて解散した

盗つ人のたけぐ〵しさ

馬鹿を見たは百姓

【高雄電話】高雄州岡山郡大湖庄姓名不詳の二十四、五歳の本島人女が二十五日午後九時曲[illegible]の金銀細工屋に貴金屬品を十圓で賣拂ひその金を懷中にしての歸り途戲館の下から突然一人の男が現はれ件の女は所持品を強奪された上男が怪しからぬ振舞ひに出でんとしたので大聲を上げて救ひを求め附近にゐた農夫黃某が馳けつけて大格鬪を演じてゐる所に又一人の本島人が來たので金を強奪した曲者は女を助けに來た黃某が犯人だと云ふので其の男もそれを眞にうけて犯人と力を合はし黃を散々毆打し重傷を負はせて派出所につき出した所取調べの結果事實が判明し眞犯人は郡警察課に引致されたが犯人は大湖庄井子脚[illegible]（二九）と判明した

會計檢査官臺中へ

【臺中電話】會計檢査官行方氏は二十八日臺中州大安溪堤防の現狀二十九日は大甲溪の堤防及び同橋梁の現狀を佐藤土木課長の案內で檢查し三十一日より四月三日迄四日間は臺中州廳に於て書類により會計檢査をなすと

爆彈三勇士慰靈祭

廿六日嘉義で

【嘉義電話】嘉義肥前會主催爆彈三勇士慰靈祭は既報の通り二十六日午前八時公會堂樓上に於て嚴かに執行されたが主催者側佐竹文六氏外同鄉人及び市內各官衙、學校團體長、職員、州市協議會員代表に各學校生徒兒童等多數參列し佐竹氏の開式の辭及び祭文朗讀について外三氏の祭文朗讀等あり同九時盛況裡に終了した

盗む傍ら人を賣る……

憎むべき男捕はる

【臺中電話】宜蘭街生れ林長貴（二〇）は昨年五月頃から臺中市と大屯郡北屯庄との境に一家を借り受け臺中州生れの陳[illegible]（一）なるものと同居し臺中市內の宿舍を荒し廻り門に十數ケ所で竊盜を働いてゐた事判明、二十五日夕方市內柳ケ枝町の[illegible]に臺中署の[illegible]刑事に逮捕されたが、彼は妹を宜蘭で某金持に千圓の前金で妾にやつた味が忘れられず、最近には知人の娘を誘拐して數百圓で酌婦に南部方面に賣りとばさんとした事も發覺し目下取調べをうけてゐる

生れ出た臺南市の歌

記念放送で發表する

昭和五年五月中共榮會臺南支會で選んだ臺南市歌は今日まで用ゐる機會がなかつたが來る四月一日以降の臺南放送局開局の記念放送に於て臺南市青年團、音樂隊で放送の事となつた、尚その作曲は最近東京音樂學校囑託橋本國彥氏に依りなされたものであると

一、わがうまし島高砂に
大御光のさしてより
古き都に花さきて
今ぞ榮ゆる臺南市

二、天恩覆ひて島が根に
動かぬ基築てまして
永久の守りと大神の
鎭まりませる宮かしこ

三、沃野千里の中心に
水陸運輸の地の利占め
市民十萬手を取りて
文化の營みたゆみなし

四、歷史の光輝ける
我が臺南の諸人よ
御國の爲めに市のために
いよよ盡さんいざ共に

春……悩まし

嘉義神社の裏山で

自殺を企てた若者

【嘉義電話】二十五日午前一時頃嘉義市山子頂嘉義神社裏手の丘上にて苦悶中の內地人青年あり通行人が發見して屆出でたので市役所の取はからひにより行旅病人として嘉義醫院に收容加療中であるが服毒した形跡あり生命危篤である

同人は斗六郡古坑庄助役奧平某の長男奧平[illegible]と云ふ者にて家庭の不和と生活難から厭世自殺を圖つたものと云はれてゐるが一説には某女との戀愛[illegible]から自殺を企てたものと云はれてをる

阿里山行きの觀櫻列車

けふから增發

【嘉義電話】營林所嘉義出張所では阿里山觀櫻登山客の利便を圖る爲三月二十七日より四月三十日迄每日上り午前七時四十五分嘉義發及び下り七時四十分嘉義着列車と連絡をとる爲從來の發着時間以外臨時に阿里山線嘉義發午前七時五十分阿里山着、午後三時七分の列車を運轉する事となつた

自動車燒く

ガソリンの自然發火で

運轉手は體に大火傷

臺中驛前の椿事

【臺中電話】臺中朝日自動車所有の撒水自動車七十七號は二十六日朝七時十分頃、臺中驛前ガソリンタンクにガソリンの補給をなすべく近づいた折、自動車のガソリンが自然發火して燃え出し異樣な物音に附近のものが馳けつけ消火に努め約十分後にして鎭火したが運轉手邱華良（二一）は背後及び兩腕に大火傷を負つたが生命には別條なく自動車は車體の大部分が燒失し全然用をなさなくなつた、自動車の火がもう少し後れガソリンタンクのパイプを自動車內の油槽に連絡してから發火したならガソリンタンクに火が入り大椿事を惹起する所であつた

始めは親の金

次には人の金を

チンピラ泥棒擧げらる

【嘉義電話】嘉義市朝日町一の七番地[illegible]氏陳の長男許金塗（一七）は、日頃母親の金錢を竊取費消してゐたが從來嘉義警察署宿舍關係にて屢々注意をうけても更に改悛の情なく本年一月中より今日迄市內の官舍を荒し廻り現金及び貴金屬類を竊取した事が發覺し二十六日逮捕され目下取調べ中である被害ケ所二十餘同金額多額に達する模樣である

屏東の軟式野球

【屏東電話】屏東地方軟式野球大會の主將會議は二十六日午後二時より屏東會館で開かれ各般の打合をしたが同月までの參加申込はA組淸水、B組[illegible]、二組其他十二團體で[illegible]の參加申込があるならんと

大掃除を怠けてお灸

二百名告發さる（臺中）

【臺中電話】臺中市の春期淸潔法は去る十五日から一週間に亙つて實施することになつてゐたが折惡しく雨天となり二十一日から淸潔法を初めたが雨天で遲延したため日取を遲ひ延ひその當日に掃除をやらなかつたものもあり降雨のために[illegible]し淸潔法延期の屆け出が遲れたこれがため臺中署に告發されたものは二百餘名により二十六日朝はその告發を受けたもの全部が臺中署に召喚され淸潔法違反として諸罰法違反から油をしぼられてゐたが春期淸潔に際し三百餘名の告發を見たのは今度が初めてである

八堡圳

事務所移轉

【臺中電話】八堡圳水利組合では同組合事務所を員林街に移すべく昨年來同街に事務所建築中の所最近に至り宿舍等に至る迄全部竣功したので二十六日臺中の事務所を引き拂つて員林街に全部移轉したが事務員の戶數は三十である

刑事に虎の卷

高雄州で制定

【高雄電話】高雄州ではさきに刑事課新設とともに州下刑事行政の刷新を圖るべく先づ搜查上の指針となるべき搜查規定の制定に着手したが愈々成案を得たので二十八日先づ之を州部長會議にかけ審議の上近く州訓令を以つて發布實施の豫定である

怪しい夫婦連れ

【屏東電話】屏東街東山旅館へ[illegible]三日より嘉義市の夫婦連の擧動に不審を抱いてその筋で探査するとその夫婦連は一見やさがたの夫人ではあるが女は花蓮港[illegible]神社の[illegible]テステ（三二）男は花蓮港郡下の[illegible]ので[illegible]にも係らず郡下の各山々を[illegible]取締規則[illegible]してゐたものと判明[illegible]

臺南州の獻金高

三萬九千四百圓に達す

既報の如く臺南州で取扱つて來た陸海軍獻金は臺南市の分を最後とし二十五日漸く全部の取纏めを終つたがその總額は三萬九千四百十六圓八十八錢を算し二十六日[illegible]全部の獻金を終つた尚その他に豫定されて居る新營郡下[illegible]分及び嘉義郡下三[illegible]街庄の分は追加分として取纏めの事となつた

下營　自十二日至十七日
[illegible]　自十日至十四日
東後寮　自十五日至二十日
鴨母寮　自八日至十三日
[illegible]　自十四日至二十日
[illegible]　自九日至十三日
過溝　自十五日至二十日
[illegible]　自十二日至十九日
前東港　自九日至十七日
布袋　自十日至十六日
義竹　自十二日至十七日
過路子　自十二日至十七日
新店　自十五日至十九日
新塭　自九日至十四日

寄附……

【高雄電話】高雄州岡山街草店尾[illegible]はこの程[illegible]費用を節約し金百圓を同街方面[illegible]

自動車へ飛込み重傷

【臺南電話】臺南市本町二ノ一九六吳允成（二二）は二十五日午後七時頃自宅前大通りでタクシーに跳ね飛ばされ頭部に重傷を負はされ臺南醫院に入院加療中であるが加害者は臺南タクシー運轉手市內港町三の四六[illegible]田部良造（二二）で被害者が路上に[illegible]いて狼狽のあまり自動車の進路に飛び込んだためであると

[illegible]員助成會資金として寄附を申出でた

東石郡下の大掃除日割

臺南州東石郡では來月左記日割を以て郡下全部に亙り春季大淸潔法を施行すると

直轄　自十日至二十日
[illegible]　自九日至十四日
蒜頭　自十五日至二十日
港尾寮　自十二日至十七日
竹子脚　自十二日至十四日
港墘　自十日至二十日
東石　自十日至十六日
[illegible]　自九日至十三日
下揖子　自九日至十三日
六脚　自十二日至十七日
[illegible]　自九日至十五日
[illegible]　自十五日至二十日
太保　自十二日至十七日
鹿草　自九日至十五日
後[illegible]　自十五日至二十日

中學校では減って

女學校は志願者が激增

高雄の入學試驗始まる

【高雄電話】高雄中學と高等女學校は二十七日から入學試驗を行ふが志願者は中學內地人百五十九、本島人百六十四、朝鮮人一合計三百二十四名で前年に比し減少を示し高女は內地人百五十八、本島人四十八合計二百六名で前年に比し增加であるが本年は屏東に女學校の設置を見加ふるに不景氣の折柄に拘らずかくも增加を見たので學校當局も不審に思つてゐる

臺南での三勇士慰靈祭

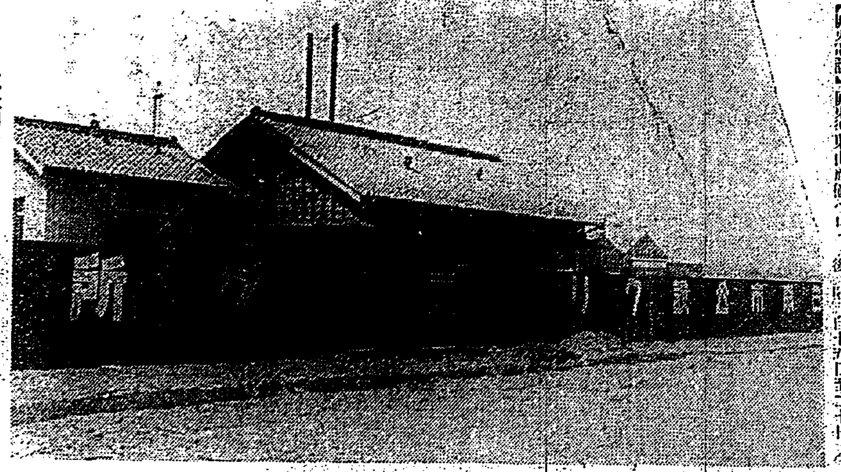
【臺南電話】臺南在住[illegible]の主催で爆彈三勇士作江・江下・北川各上等兵のため臺南に於ては同鄉[illegible]會主催となり臺南市役所、在鄉軍人臺南支部後援の下に二十六日午前八時から臺南公館に於て盛大な[illegible]

花蓮港農業補習學校卒業式

【花蓮港電話】第十回花蓮港農業補習學校卒業式は二十六日午前九時より同校にて擧行[illegible]校長訓示、宮崎街長、井坂仁太郎氏の祝辭があつた、本年の卒業生は四十二名である

新營郡街庄治研究會

臺南州新營郡街庄治研究會に二十八日午前九時より郡役所會議室に於て庶務研究會を開催することになつたが當日の出席者は街庄長其他二十五六名あると



◇……臺南が自慢の市營洗濯所

目下試運轉中であるが二十九日午後二時より實地作業を見せ同四時より落成式開催の事と決定した尚二十日は午後一時より同三時まで招待婦人連の隨時參觀を許ふ由

怪しい夫婦連れ

【屏東電話】屏東街東山旅館へ

臺南師範

今期入學者

臺南師範學校の本年度入學許可者氏名は左の通りである

普通科四十名

（臺南州）黃清泉、陳石山、上岡光治、杉本正、小西勝、田中善彥、王清俊、內川春男、淺藤一郎、蔡世英、盧衡村、謝源泉、石坂三郎、岩永光私、平松鐵郎、[illegible]、佐藤克己、中島勉、稅所功吉、吳維良、林竹山、入村修一、西田文夫、[illegible]、許子秋、今井宗一、赤嶺直義、渡邊伸一、中尾仁志、[illegible]、張[illegible]興、勝呂秀雄、江勝芳、宮川及二、鄭照明、下村登

（澎湖廳）金城嘉政

（臺東廳）大川一雄、本田太郎

（講習科）三十五名

（臺南州）楊江中、吳威權、張昭立、廖海水、高平臨雄、張淮川、洪瑞源、黃復立、黃金龍、湯昆山、陳松、廖茨明、金澤久良雄

（高雄州）蕭水湖、蕭[illegible]、楊啓春、蕭添丁、謝啓德、坂元講義、[illegible]、坂鳩猛巳、朱德村、[illegible]連、朱發森、簡福海、井口欣二、林正光、趙阿春、田中茂、劉森田、李宗興、堀原正則

（澎湖廳）五丁枝

（臺東廳）池田國治、松井政雄

竹南便り

▲…石川縣農事試驗場に於ては昨年同場より新に配付せられた優良品種（[illegible]十八號及[illegible]文一〇六號）增殖の爲め去る二月上旬同郡竹南街下南庄において[illegible]郡技手[illegible]外一名が指導し苗代に播種以來發育極めて良好で目下同[illegible]十八號は五[illegible]十日目で過日中に下穀を終り、同[illegible]文一〇六號は四十日目であるから來月五、六日頃には上穀を終る豫定であると

▲…竹南庄では庄民の多年の懸案である竹南海水浴場までの道路を開設する爲め去る二十二日管內の各保正を庄役場に集め郡守以下關係派出所巡查立會の上打合せをしたが庄民全部出役分擔にて近々の中に右工事に着手する事に決定したと

花蓮港ニュース

◇（花蓮港電話）臺北[illegible]生二十一名は修學旅行で二十九日玉里を經て來花[illegible]止宿の豫定

◇（花蓮港電話）本年花蓮港廳に赴任する師範新卒業生人員は九名で廳下學校教員の異動は退職轉任等で合計十二、三名の豫定であると

◇（花蓮港電話）東海自動車會社は三月二十五日が創立滿一ケ年記念日に當るが當日一日の旅客運賃七百二十一圓に達し滿一年の記念日に今迄の一日收益高の最高を示したと

◇（花蓮港電話）本年花蓮港廳下教育會の國語演習會は三十日行はるる筈であつたが中止となつた

◇（花蓮港電話）花北商業入學試驗は二十七、八兩日花蓮港廳にて行はれると

屏東

▲卒業式變更　[illegible]長官巡視の爲め豫定の日程を變更し屏東小は廿三日午前八時より同公學校は十時より同女子公は午後二時より卒業式を擧行した

▲從來所員の[illegible]で大[illegible]屏東主任は高雄へ轉勤する事となつたが同氏は頗る勤勉であり且つ篤實[illegible]者に對する[illegible]指導には常に各般の調査研究を積んで實務に當つて居ただけ[illegible]ではあるが稀[illegible]屏東地方米界では痛惜されて居る。[illegible]なクリスチャンであつた[illegible]潮州主任が大甲出張所へ轉勤となつたが同氏の人格を識る人々に惜しまれて居る

中壢

▲友田郡長嚴父死去　友田郡守の嚴父は今年八十三の高齡で二十三日朝鄉里岡山縣にて逝去したが友田郡長は二十三日基隆出帆の瑞穗丸にて歸鄉、中壢官舍に於ては同日午後二時半官民多數參列の上通夜會を營んだ

▲小學卒業式　中壢小學校高等科及尋常科卒業證書授與式は二十四日午前八時半より郡守代理馬場課長、松尾視學、米街長其他父兄多數列席の下に擧行九時半閉式△郡守賞六年原田和正△街長賞六年松井重泰、高等二年有崎由△六ケ年精勤六年黃氏金英

▲中壢公卒業式　中壢公學校本科及高等科卒業證書授與式は二十四日午前十時より同校講堂に擧行、當日は馬場郡守代理松尾視學、米街長吳保證者會長其他多數列席式次[illegible]の如し十一時半閉式したが本年度卒業生は本科百三九名高等科三六名である△郡守賞本科[illegible]和、王阿溪、宋氏甜妹、高等科謝鑑輝

汐止

▲汐止街民に一大衝擊を與へたる天然痘患者三名は去る二十二日全治したので隔離遮斷を解除した

▲汐止街の公醫高島[illegible]さんは家事上の都合にて近く退職し後任として臺北赤十字病院に多年勤務の[illegible]さんが就任すると

金山

●…業佃會總代會…金山庄業佃會總代會は來る三十一日午前十時から庄會議室に於て開催すると

●…通常總會…[illegible]郡萬里庄畜產組合通常總會は來る三十日午前九時から庄役場に於て開催する筈であると

人事

▲小宮[illegible]　二十六日大稻埕、三[illegible]知事夫妻も同行
▲原東海自動車會社專務　二十六日出北
▲林東海自動車會社營業主任　同上【花蓮港電話】

他の藥店に販賣を許さず
有田ドラッグ專賣所
有田音松鑑製を御買取あれにて
全島專賣所
台北市本町二丁目　有田ドラッグ專賣所
台北　新起町三
大平町三
基隆　哨船頭
宜蘭　街南門
新竹　東門
台中　榮町
嘉義　驛前
台南　錦町
高雄　山下町

梅毒完全驅毒療法
帝國大學醫科大學病院
ヨコネカンソは切らずに
有田ドラッグ
本舗　大阪內本町二
有田音松鑑製
百圓進呈
淋病　梅毒　諸合藥
だまされるな
新藥や新發見の
淋病

東亞の謎

（227）　作者　國枝史郎　畫家　伊藤順三

蠻王の執念（二）

二組は事も無く擦れ違つた。

併し十間ほどへだたつた時、二人の蒙古人は立ち止まり、ダット達の方を振り返つた。

「あれはダットと洋子ちやアないか」

さう一人の蒙古人が云つた。百川頭城主の也速該であつた。

「ダットのやうでした。たしかにダットですよ」

もう一人の方の蒙古人が云つた。同兒盛の頭目の巴林であつた。

「女の方は見たことがないが、お前に聞いたあれが洋子で」

「さうだ、あの女が洋子なのだ」

也速該はさう云ふと舌なめずりをした。

いつ迄も二人はたたずんでゐた。

不圖、也速該は囁いた。

「わしに勢つてダットは恐切者だ。さうして洋子は想ひを懸けた女だ。その二人が通つて行く、ちよつと是は見逃せない」

「さうですとも」

と巴林は云つた。

「洋子といふ女、美しいですなア」

さういふと巴林も舌なめずりをした。

二人は暫く見送つてゐた。

ダット達は夫れとも知らないで、振向きもせずに歩いて行く。

急に也速該は部下達の方へ近寄り、しばらく何か囁いた。

それから巴林の方へ戻つて來たが。

「巴林君、後をつけやう」

「さうして、隙を見てひつ攫ひませう」

「うん」

と也速該は頷いて。ダット達の行く方へ足を運んだ。

で、みんな後につづいた。

也速該や巴林が熱心になるのは不思議なことではないのであつた。二人は匪賊の頭目となく、沙漠の蠻からこの都會へ來た。[illegible]のためにもやつて來たし、[illegible]寺院へ參詣のためにも來、非常に高價な寶石類などを、掠奪によつて得た時には、その贓品を捌きのためにも來た。

來る度に二人は大金を使つた。で二人は料亭にとつては、わけても料亭の花柳界にとつては途方もなく大切なお客様なのであつた。[illegible]府でも保安部でも、赤黨でも、青年蒙古黨でも、二人の入府は大目に見てゐた。

いや寧ろ歡迎した。

二人は沙漠の王であつて、その方面では大勢力家であつた。それで何うともしてその二人を、籠絡して味方にしたいものと、以前から心掛けてゐたからであつた。で、時には總督府に招いて、總督が逢つて馳走さへした。

今度二人がやつて來たのは、主として遊蕩のためであつた。で、今夜も二人揃つて、東君子や西君子の花柳界を、無作法に暇に任して金を散き、今はその歸途なのであつた。

也速該の頁懐は快臨つてゐた。巴野蠻人のこんな男に、小銃の彈の一つや二つは、中つたところで何んでもないからである。

さういふ也速該とその一隊とに後をつけられてゐるとも知らず、ダット達は歩いて行つた。

と、不意に呼び止められた。

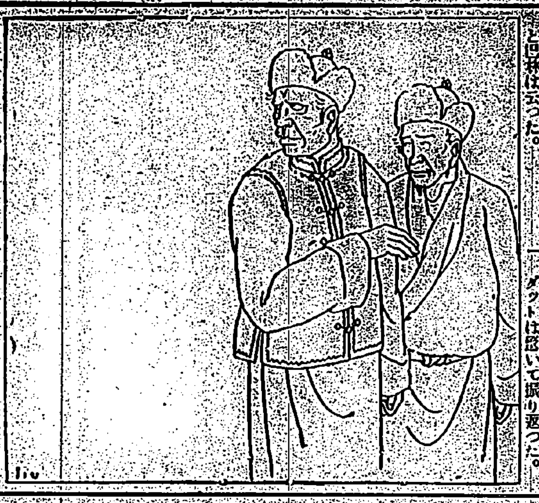
「ダットさん、しばらくでしたな」

ダットは愕いて振り返つた。

その眼の前に立つてゐたのは、昔山頭城の城主であつた

「……」ダットは一刹那呼吸を呑んだ。

「私です、ヘッヘッ、也速該です」



臺日歌壇

安成二郎選

角板山　えち子

たらちねの母のいたつきみとりつつ月の光に涙をおとくる

臺北　柴田　[illegible]

吹きとほす風すさまじく樹の枝はただに亂みて諸葉ぞそり立つ

臺北　柴田　[illegible]

水路ふ川岸のほとり夕影に白鷺群りて水を浴び居り

臺北　柴田　[illegible]

夕かげの明りに見ゆる園の水いまはほのぼの霧立つらしも

臺北　村川百合子

大空は深く澄みわたり家々にほためく御旗見つつうれしき

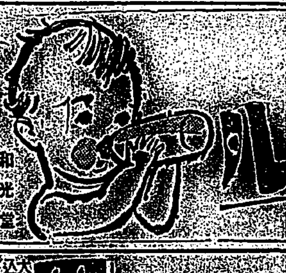
基隆　まさ子

遠くさかり病にわびしきすまいすと母に泣きつつ涙ながるる

おん額のしはの一つが我が爲に刻まれしやと母のいとしさ

夜更くればときみ定めて啼く鶏のとくなきたれど夫は歸らず

咲きそめし支那水仙の花あはれはつはつ匂ふ夜はくだちつつ



こな　おちゝ

安全第一な母乳代用料！

キノミール

和光堂

K—23　藥局にて販賣

仕事

大次第案内書見本呈　自宅で[illegible]　大阪港區九條北通三　博信社

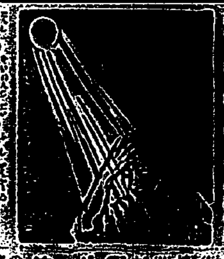
人生の光明

男性器の強健發育

日常の氣分朗らかに

進取の勇氣勃興す

貧乏でも夫婦共稼ぎで、よその見る目も羨ましい程和合した家庭が多いが、金持階級に却て家庭の波瀾が多く、夫婦喧嘩から[illegible]て財産上や離婚の訴訟を提起したり、妻の三角關係で家の恥を世にさらす樣な出來事が多いが、それは主人公が夫婦生活に缺陥があつたり、或は花柳界に耽溺して家庭的に破綻させたりするに因る場合もあるが、最も多くの場合は、男子の青年時代の不自然行爲などのため、生殖器發育不完全[illegible]になつて居て、夫たる資格を缺いで居るのに原因することは[illegible]



發明品たる專賣特許ホリツク眞空水治療法器でわが本器は極めて巧妙なる構造裝置により眞空的[illegible]吸引力を起し、[illegible]無力なる生殖器を[illegible]具體的に發育せしめ同時に眞空力と水の[illegible]なる交錯作用で[illegible]

エンツンデユング作用

[illegible]

局部へ直接に物理療法

[illegible]

日出的光明

[illegible]せられよ。

◎無料進呈（非賣品）圖入說明書

內容
- 一、造化の神秘、性的新知識[illegible]
- 一、本器のくわしい說明
- 一、多數實驗者の赤裸々なる眞劍的告白文

◇ハガキで御照會あれ　御安心全部無料匿名發送す

◇本器は直ぐ御求めになつても必ず役立ちます。

醫學博士十二名　實驗證明推奬

各博覽會　名譽大金牌　受領

實用新案　特許　商標　◇◇ホリ眞空水治療法器　金四圓五十錢　送料內地廿一錢

◇◇ツク包莖安全自療器　金三圓八十錢　送料內地五十一錢

◇包莖　は特許包莖安全自療器で其血無痛切らずに治る。

◇代金引換は（放器說明書付）と注文次第送る、代引送料十五錢增

東京市芝區神谷町十八　振替東京七七三二九　電話芝三二一三一　東京　新療法研究所

大阪市港區市岡二丁目三二　振替大阪五六九九　電話北八二六八　大阪支部　新療法研究所

支那事變

負傷戰士を勞りませう！

滿洲や上海で御國のために名譽の負傷を受けた戰士を心から勞り感謝いたしませう

森永の外函（ミルクキャラメル（大・小）ミルクチヨコレート）が負傷戰士の慰問金になります

―方法―

投入函は全國菓子店や加盟新聞社その他便宜の處にあります

集つた外函や外裝紙は大三厘・小一厘の割合で森永が買受け支那事變傷病軍人後援會を經て陸海軍省に獻金します

（森永ミルクキャラメル・ミルクチヨコレート大小一ヶ月の生産高一千五百萬個・全部賣れると一ヶ月の獻金　貳萬貳千五百圓）

MILK CARAMEL
Morinaga
CHOCOLATE

主催　支那事變傷病軍人後援會

後援　全國加盟新聞社　森永製菓株式會社

滿蒙の春は新國家から　常世の春はトウカピン

官衙　公署　人事撮要　（定價二・〇〇）　臺北日日新報社發行

美髮なら……

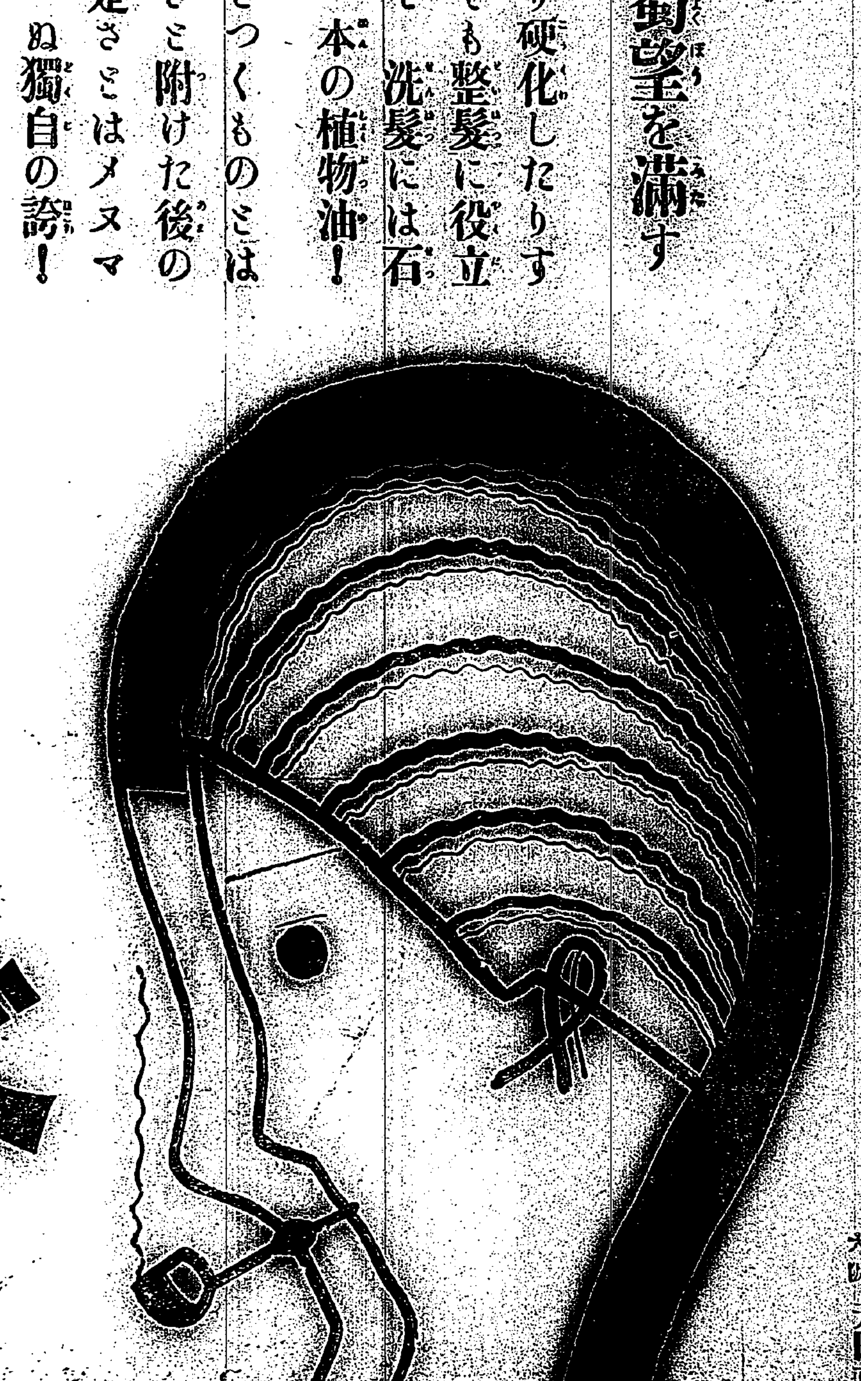
キツト貴下の蜀望を滿す

頭髮に用ひて乾燥したり硬化したりする類とは異り　いつまでも整髮に役立つ適度の粘稠性こそ保て　洗髮には石鹸に無類落ちのよい生一本の植物油！

不快にニチヤ〳〵べとつくものとは違ひ　附け心地の爽かさと附けた後のさらつとした感觸の淸楚さとはメヌマポマードでなければ味へぬ獨自の誇！

毛髮を美しくする

メヌマポマード



メヌマポマードは濃度中性で永く芬香を保ち頭皮及毛髮に榮養と自然的潤ひを與へ、フケや拔毛を防ぎ漆黑の光澤を増し髮容を整へ婦人の美髮用には特に適當であります

東京　大阪　井田京榮堂

臺南糖業試驗所
近く新築に着手
臺南市は一段の活氣

既報の如く〔[illegible]〕臺南試驗所は新設計に從つて〔[illegible]〕目下準備中であるが〔[illegible]〕

和議決定を見へ漸くて中間以來數多の曲折を見た川崎の和議も四月末か遲くも五月中旬迄には債權者集會を開く迄になつた

近郊の〔[illegible]〕

〔[illegible]〕

技師として新化郡〔[illegible]〕

〔[illegible]〕

綿絲安と綿布取引
買物手當一巡

綿絲は時節の買物が期待した程伸びないので値段も反落の傾向に〔[illegible]〕

大阪勞働運賃
稍低下

【大阪二十六日發本社特電】大阪商工會議所調査の二月中に於ける大阪勞働運賃〔[illegible]〕

川崎造船の和議
五月中旬迄に
は債權者集會

【大阪二十六日發本社特電】〔[illegible]〕

正米組合員
內地視察團
三十一日出發

正米市場組合員約十名は〔[illegible]〕松井榮太郎氏、正米市場林書記に引率されて名古屋における米穀大會に出席を兼ね來る三十一日內地視察の途につくが日程は次の通りである

三十一日臺北發大和丸乘船、二日下關着、三日宮島を見物、後大阪泊、四、五日大阪滯在、豐島市場その他市內見物、六日京都見物、七日奈良見物、八日名古屋へ、十二日迄名古屋滯在、十三日から十二日迄の米穀大會出席、十四日東京へ、十八日迄東京滯在、十九日日光見物、二十日東京にて解散

東京の銘柄
清算取引
業務規定變更
認可さる

【大阪二十六日發本社特電】西工名は遂に東京米穀商品取引所から申請中の米の銘柄清算取引開始に伴ふ正米部の業務規定變更の件は二十三日附認可した

宜蘭製糖の歩留
一割四分臺に躍進

【宜蘭電話】昭和製糖會社宜蘭工場の製糖は昨年の不良甘蔗より壓搾を始めてゐた爲本月中旬頃迄は步留稍や低下してゐたが之れ略ぼ片付いたので昨今では一割四分二、三厘の步留を示し殆んど中南部の成績を凌駕する位である、因に原料は一億七千九百萬斤の內約九千萬斤程終つてゐる關係上製糖終了期は五月二十日頃と見られてゐる

在來米は
買戻し
產地品不足懸念

〔[illegible]〕在來米は島內消費の增加と先高見越しの買惜みで引續き出廻り少く〔[illegible]〕月積を契約せる手前は買物漁りにて不渡りとなるを恐れ內地買主との間に買戻しの交涉が始まつてゐる、外米の輸入が許可されない限り在來米の相場は一寸下落の見込がないものとされてゐる

印度カルカッタに
一大製靴工場計畫
履靴の習慣付けると共に
日本製靴驅逐の目的

【大阪二十六日發本社特電】日印綿會カルカッタ日本商品館發二十三日附印綿會入電によれば

世界の

製靴王と稱せらるゝチエッコスロバキア國トーマス・バタ氏が過日當地へ來り一大製靴工場建設の計畫を樹て既に當地西北の新カルカッタ市郊外二十哩の地に一萬一千坪の土地建物（現在製紙工場）を先ケ年リイスにて借入れ（期間內に買收の權利あり）既に印度人約一千名を雇入れ建築に取かかつた

パタ氏

の計畫は約三億の履靴の印度人に履靴の習慣をつけると同時にこれ等の安價なキャンバス靴を多量に製造し現今印度市場を獨占しつつある日本製キャンバス靴を驅逐せんとするもので一部印度人失業者に對する救濟なりと歡迎された半面には外國資本の

侵入に

よる印度經濟の脅威なりとし非難されつつあるが非常に有望なる事業としてその成行は注目されてゐる、該計畫が實現の曉は日本新靴に對する一大脅威となる譯である、因日本の對印キャンバス靴輸出高は年額七百萬圓に上つてゐる

生絲底入模樣

〔[illegible]〕

火災保險
契約高減少

總督府商工課の調査によれば本島昨年十一月末現在火災保險契約高は四億二千七百七十五件、二億八千七百萬八千三百四圓にして前月に比し一千百十六件、五百三十六萬二千六百五十七圓を減少してゐるが更に前年同月に比すれば二千四百十四件、九百三十一萬九千七百十七圓の增加を示してゐる、契約高を各社別に示せば次の通りである

社名	件數	金額
大成	[illegible]	[illegible]
東京	[illegible]	[illegible]
共同	[illegible]	[illegible]
千代田	[illegible]	[illegible]
神戶海上	[illegible]	[illegible]
三菱海上	[illegible]	[illegible]
明治	[illegible]	[illegible]
大正	[illegible]	[illegible]
日本	[illegible]	[illegible]
日本海上	[illegible]	[illegible]
帝國	[illegible]	[illegible]
大阪海上	[illegible]	[illegible]
橫濱	[illegible]	[illegible]
朝日海上	[illegible]	[illegible]
豐國	[illegible]	[illegible]
日本共立	[illegible]	[illegible]
大平洋	[illegible]	[illegible]
帝國海上	[illegible]	[illegible]
大平	[illegible]	[illegible]
中央火災	[illegible]	[illegible]
東洋	[illegible]	[illegible]
東京海上	[illegible]	[illegible]
大北	[illegible]	[illegible]
攝津海上	[illegible]	[illegible]
扇	[illegible]	[illegible]
昭和火災	[illegible]	[illegible]
中外海上	[illegible]	[illegible]
扶桑海上	[illegible]	[illegible]
日本簡易	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]

北投建築信用組合
低利資金は六月頃決定せん
組合員の資格と建築費

臺北州北投を臺北郊外の住宅地とする大理想の下に昨年十月末認可を受け三月十三日創立されたる北投建築信用組合は〔[illegible]〕

利資金十萬圓は土地買入資に一萬二千三百圓、建築費に八萬七千七百圓を要する計算で此の要求通り借りられるや否やは不明だが來る六月迄には決定さるることになつて居る

組合長

は三卷俊夫氏、〔[illegible]〕專務理事が松本安藏氏で理事、佐野、寺西、岡野の諸氏が理事、吉武、河東、吉武、許藤定の諸氏が監事となり正式に組合員の募集に着手すると共に去二十日を以て低利資金十萬圓の借入を臺北州を經て出願したが出資者は一口五十圓の內先十圓（第一回）を拂込むこととし組合員とならぬ限り住宅建築資金を借入れることが出來ない一組合員の借入限度は

三千圓

までとし之を借入れるにはその八分に相當する二百四十圓（第一回拂込額）即ち二十四口を持たねばならない此の內二口、二十圓は設初申込の際に拂込み跡二十二口、二百二十圓を今度拂込むこととなつてゐる、目下のところ組合加入申込者は四十二名に上つてゐるが、尙續々申込ある筈である、一戶の建築に住土地百坪（內八十坪は庭其他）坪十圓として千圓、建築費は坪二十圓として一千七百圓として約二千五百圓として之を十五年

十五年

賦とし元利共一年に二百九十二圓七錢づつ返して行けば好いことになつて居る、低

淡水街の
農畜兩組合總會

淡水街農畜組合は來る三十日午前九時より公會堂に於て定期總會を開催規約の改正並に昭和七年度豫算の議定同年後一時より畜產組合の創立總會を開き規約の制定並に昭和七年度豫算、議定する由因に畜組合は養豚組合と異り街民全般の組合であるが故に將來は相當成績を擧げ得るものと期待する

米界漫言

〔[illegible]〕容易に……本當に穩かな春らしくなつて來た、この春の日にふさはしく、どうやら〔[illegible]〕

移川米累計

二十六日迄の移出米の狀況は次の通りである

二期蓬萊米	七九〇、八八九袋
同在來米	四九六、三三二
同丸糯米	一、二二八、一二二
同長糯米	二四二、八五三

〔[illegible]〕

最近業佃會の成績
漸次好成績を示す

〔[illegible]〕業佃會の小作紛爭調停等を主要事業とする業佃會及その他の團體の昭和六年十二月末日現在に於ける現行成績〔[illegible]〕

州別	小作地總面積	證書式契約締結面積	同上割合
臺北	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新竹	[illegible]	[illegible]	[illegible]
臺中	[illegible]	[illegible]	[illegible]
臺南	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高雄	[illegible]	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]	[illegible]

即ち五州の小作地總面積は四十一萬九千甲にしてこの中證書式契約を締結せるもの十一萬四千甲その割合は二割七分に相當する、之を昨年九月末日の成績に比較すれば割合に於て二分の增加を示してゐる次に證書式契約締結件數並に人員を示せば

州別	締結件數	地主	小作人
臺北	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新竹	[illegible]	[illegible]	[illegible]
臺中	[illegible]	[illegible]	[illegible]
臺南	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高雄	[illegible]	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]	[illegible]

右によれば締結件數は八萬件地主の數四萬人小作人の數七萬七千人でこの內地主の最も多きは臺南州で一萬一千人小作人の最も多きは高雄州の二萬三千人である、次に紛爭調停狀況を見るに

州	成立	不成立	未決	計
臺北	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新竹	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
臺中	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
臺南	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高雄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

之は昭和四年以來の累計にして紛爭件數二千二百十四件の內調停成立せるもの二千五十八件で不成立及未決は夫々七十四件八十二件に過ぎず。又紛爭數の最も多き新竹州のみに就いては總數一千二百五十七件中成立一千二百二件不成立二十六件未決二十九件である、更に昨年十月一日より約十二月末日までの紛爭調停件數を原因別に見れば中途解約に基因するもの七一件（內新竹四四件臺中一八件）小作料減免に基因するもの一〇九件（新竹四一件臺北二九件高雄二九件臺中一〇件）その他擔保金損害賠償金、契約更新、貸地金、所有權移轉等に基因するものは夫々一〇件乃至一七件あり、最後に證書式契約締結面積の總小作面積に對する割合二〇％以上の郡は三十六郡でその內特に割合高き郡は東港（七四％）屏東（五七％）新竹（六一％）竹東（五八％）員林（四三％）岡山（五三％）等であ

支那向貨物の
戰時保險料引下げ
二十五日より實施

【大阪二十六日發本社特電】戰時〔[illegible]〕支那向貨物の戰時保險料を左の通り引下げ二十五日から實施を協定した

揚地	海上	陸揚一週間込	同二週間込
南京北地揚子江奧地	五十錢	八十七錢五厘	[illegible]
右 上海附帶	六十七錢五厘	[illegible]	[illegible]
福州、廈門、汕頭、廣東	十五錢（[illegible]）	三十錢（[illegible]）	四十五錢（[illegible]）
右 香港附帶	二十錢（[illegible]）	三十五錢（[illegible]）	五十錢（[illegible]）

新式製糖最近の步留
三月上旬は稍向上
結局平均は前期より低下か

三月上旬に於ける新式製糖工場の步留計算は次の如くである（二十六日までに糖務課に報告された分）

△臺灣製糖		
橋仔頭	1	一六、〇四
同	2	一五、五七
後壁林		一四、六二
阿緱		一四、三一
東港		一三、七七
車路墘		一四、六〇
三崁店		一四、八三
灣裡	1	一四、一五
同	2	一四、九五
埔里社		一三、二四
臺北		一三、四一
旗尾		一四、五二
恒春		一四、四一
△臺東製糖		
臺東		一三、四一
△新竹製糖		
新竹		一一、八三
△明治製糖		
總爺		一四、〇八
蒜頭		一四、〇〇
南靖		一四、八八
烏樹林		一四、六六
南投		一三、七三
溪湖		一三、四六
〔[illegible]〕		一〇、七二
△鹽水港製糖		
新營		一四、一九
岸內		一五、七二
溪州		一三、六三
旗尾		一四、九三
△昭和製糖		
大和		一三、九二
玉井		一三、〇二

右に全部の平均步留一三・二二％に比すれば相當向上してゐる、併し例年ならばこの時期には既に步留の最高點に達すべき筈なるに左程までに上つてゐないのは霜害その他の事情によるものにして此の分で行けば本期の平均は前期の一割三分五厘九毛より低下するに非ずやと懸念されてゐる併し原料收穫高は豫想より增加の模樣であるから結局產糖高は大して減るまいともみられてゐる

臺灣茶共販所總會
全部原案通り可決
再製茶の製造も行ふ

臺灣茶共同販賣所の第四回通常總會は二十六日午後二時から臺灣〔[illegible]〕に於て開催された、組合員の

出席者

百十二名、監督官廳から殖產局特產課長、宮田勸業課長、鈴木技手ら多數出席、一同着席するや川村理事長不在に付鈴木理事蘇長に着き決議錄署名者に江文通、〔[illegible]〕兩氏を議長から指名した後議事日程の報告あり

議事に

入り先づ承認事項の一、昭和六年度收支決算及事業報告の件
二、準備金及特別積立金を事業資金に融通の件
三、餘裕金管理方法の件
を異議なく一瀉千里に可決、次で決議事項に入り
一、借入金最高限度の件
一、定款變更の件
は何等異議なく可決、內規變更の件は手數料を新たに十一錢五厘あぐるのは此際不合理であるとて二三組合員から

反對意

見の開陳あり、鈴木議長と問答を重ねたが結局原案通り可決、理事、監事任期滿了につき改選の件は殖產局長の指名により理事長猪俣一郎、常務理事鈴木信越、理事川崎宗榮、鍾會宏、監事宮田嘉明、李春生の諸氏就任に決し退職役員賞與の件は議長一任に決定

臺中米價（廿六日）

蓬萊米三等一期八、六五錢、二期八、五五錢、九四三等九、六五錢、在來種米八三錢、九四三九〇錢（臺中電話）

東京より
石川生

東京最近の政情は先づ〔[illegible]〕川村竹治氏の法相問題が話題となつて各方面共に川村氏に同情を寄せて居るが一面現內閣の策謀がなされないと云ふ事も云はれてゐる然し政治上の關係は一般に寬厳を許さないので今後の成行につき大に各方面から注目されてゐる、新任南總督も二十四日東京を出發して伊勢大神宮、桃山御陵を參拜して二十六日神戶發二十九日基隆着の扶桑丸で赴任の豫定であるが臺灣關係者としては島田臺銀頭取、荒木同理事及松本同理事其他〔[illegible]〕同理事なども同船渡臺する筈であるから定めし船中は大に賑ふ事だらうと云はれてゐる、又新任の局長知事諸君も續々と渡臺するので各所に送別會などが行はれ何れも非常な元氣で赴任するやうである

東西南北

天下の視聽が滿蒙へ向ひ、滿蒙に新國家が建設されんとしてゐると北支那から南支那も〔[illegible]〕てゐる本島の商工業に於ても新〔[illegible]〕を要する必要があるが、北支那と南支那とその自然を異にすることは我の間に特產物の交換作用が起ることは必然なところで新國家〔[illegible]〕〔[illegible]〕

北支那と滿洲の〔[illegible]〕の給與を得るに北支那、中南支の〔[illegible]〕

〔[illegible]〕することにしたいが、將來は〔[illegible]〕

再製茶

の製造、監督官廳の〔[illegible]〕の會合は〔[illegible]〕同時刻から紛爭決議の件は〔[illegible]〕

青物卸相場表（廿六日）

臺北市中央卸賣市場　（百斤相場）

品名	最高	最低	平均
大根	[illegible]	[illegible]	[illegible]
牛蒡	[illegible]	[illegible]	[illegible]
人參	[illegible]	[illegible]	[illegible]
甘藷（赤）	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同（白）	[illegible]	[illegible]	[illegible]
蓮根	[illegible]	[illegible]	[illegible]
馬鈴薯	[illegible]	[illegible]	[illegible]
里芋	[illegible]	[illegible]	[illegible]
玉葱（和）	[illegible]	[illegible]	[illegible]
葱	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大蒜	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二〔[illegible]〕ラ	[illegible]	[illegible]	[illegible]
韮	[illegible]	[illegible]	[illegible]
ワラビ	[illegible]	[illegible]	[illegible]
ウド（國）	[illegible]	[illegible]	[illegible]
ワサビ（內）	[illegible]	[illegible]	[illegible]
モヤシ	[illegible]	[illegible]	[illegible]
胡瓜	[illegible]	[illegible]	[illegible]
花胡瓜	[illegible]	[illegible]	[illegible]
內地南瓜	[illegible]	[illegible]	[illegible]
在來西瓜	[illegible]	[illegible]	[illegible]
冬瓜	[illegible]	[illegible]	[illegible]
苦瓜	[illegible]	[illegible]	[illegible]
長茄子	[illegible]	[illegible]	[illegible]
圓茄子	[illegible]	[illegible]	[illegible]
小茄子	[illegible]	[illegible]	[illegible]
蕃茄	[illegible]	[illegible]	[illegible]
菜豆（長）	[illegible]	[illegible]	[illegible]
枝豆	[illegible]	[illegible]	[illegible]
桂竹筍	[illegible]	[illegible]	[illegible]
冬筍	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高苣	[illegible]	[illegible]	[illegible]
シンギク	[illegible]	[illegible]	[illegible]
甘藍	[illegible]	[illegible]	[illegible]
白菜	[illegible]	[illegible]	[illegible]
結球白菜	[illegible]	[illegible]	[illegible]
波稜菜	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大芥菜	[illegible]	[illegible]	[illegible]
花椰菜	[illegible]	[illegible]	[illegible]
ミツバ	[illegible]	[illegible]	[illegible]
芹菜	[illegible]	[illegible]	[illegible]
豌豆	[illegible]	[illegible]	[illegible]
落花生仁	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四季豆	[illegible]	[illegible]	[illegible]
長年菜	[illegible]	[illegible]	[illegible]
梅	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大西瓜	[illegible]	[illegible]	[illegible]
芭蕉實	[illegible]	[illegible]	[illegible]
木瓜	[illegible]	[illegible]	[illegible]
香柑	[illegible]	[illegible]	[illegible]
椪柑	[illegible]	[illegible]	[illegible]
梨（和）	[illegible]	[illegible]	[illegible]
苹果（和）	[illegible]	[illegible]	[illegible]
苹果（[illegible]）	[illegible]	[illegible]	[illegible]

〔[illegible]〕

商況
二十六日

米況

臺米相場

二期在來米	六、七五	三安
北部一期蓬萊米	七、七〇	一安

正米市況（後場）

〔[illegible]〕

高雄在庫米（二十六日現在）

〔[illegible]〕

基隆在庫米（二十六日現在）

〔[illegible]〕

大阪期米

〔[illegible]〕

東京期米

〔[illegible]〕

神戶期米

〔[illegible]〕

大阪在庫米

〔[illegible]〕

堂島米況前場

【大阪二十六日發電通】〔[illegible]〕

堂島兩建玉除保合

〔[illegible]〕

昨日の市況

株式	好調
綿絲	不變
期米	保合
砂糖	小弱

株況

大阪短期

〔[illegible]〕

大阪長期

〔[illegible]〕

東京短期

〔[illegible]〕

東京長期

〔[illegible]〕

糖況

〔[illegible]〕

爪哇

〔[illegible]〕

大阪現物

〔[illegible]〕

大阪定期

〔[illegible]〕

穀肥

神戶豆粕

〔[illegible]〕

大連特產

〔[illegible]〕

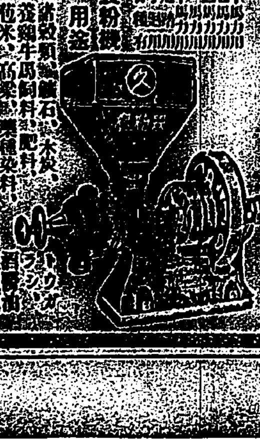
銀塊

〔[illegible]〕

米日爲替

〔[illegible]〕

丸久製粉機　丸久ウドン機



丸久製粉機

製粉機用途　〔[illegible]〕

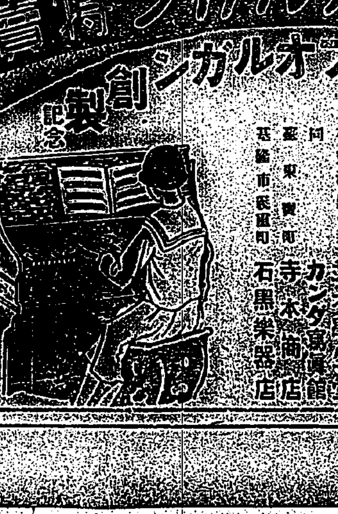
丸久ウドン機　大規模大量製作によりウドン機の〔[illegible]〕

（カタログ進呈）

大阪市東區〔[illegible]〕

久保田工業所

山葉オルガン特賣　國產パイプオルガン創製記念



山葉ピアノ（空前）

日本樂器會社臺灣出張所

臺北市 〔[illegible]〕	小林商店
同 京町三丁目	平商店
新竹市	文華堂
宜蘭市 〔[illegible]〕	アサヒ商會
花蓮港 〔[illegible]〕	並木樂器店
同	カンダ書店
臺東	寺本商店
基隆市	石黑樂器店

植民　〔[illegible]〕

滿洲國誕生座談會　海外活躍の就職と入學　ブラジル〔[illegible]〕　南米實生活通信〔[illegible]〕

生徒募集

殖民地醫業開拓發展

東京理科醫學專修學校

東京ユーロン〔[illegible]〕

學藝

歌のこころと形式

民謠と短歌に就て

相良守次

元來の韻律學者達は我が詩歌の中に二、三とか三、二とかの音數的形位を見出したといつてゐる、また、この韻律形式も時代によつて變化が見えるといつてゐる。例へば短歌の元音の句では三、三の形式が萬葉に多く古今、新古今に至るに從ひ三、三の形式が多くなるとか七音の句では三、二、二か萬葉に優勢で三、二、三は以後に多くなつてゐるといふ具合に、然しかういふ統計は何を現してゐるものか、いはゆる歴史的に時代の氣風か、ここに反映してゐるとみる人もある、一世の氣風にしろ作者の個性にしろ、直に詩歌の音數形式と結びつけるのも性急に過ぎる。成る程、一切の諧調と韻音を缺きにした例の拍節を以て、二、三とか三、二の拍音をうたせてみればそれ〴〵一時のリズム的ニユアンスは明瞭に感受される、ある形式は必然的に、ある形式はいふ各の斷を以て。だからといつて、それが時代の必然してゐる氣風を反映し、あるひはいふ長なる作者の個性と一現してゐるか

○――○

詩歌心理學者のスタリプチユアが嘗て『詩家は作詩に當つてその形式を豫め思ひ浮かべるであらうか』と歐米の著明な詩人達に質問を發してみた。答へはハーデー、ゴールズウアージーもチエスタトンも『否』であつた――『唯想を追ふのみで』『形式は時と共に』『形式は詩から』詩想から離れた形式感といふものは作者の意識にはあり得ない、詩人は唯無意識に想ひを凝らすのみだ。無意識とは無ではない、想ひを凝すところには時代的感動がある、時代感が頭に活動してゐる時には自己の要は意識にのぼらぬのだ、のぼらぬからとて無ではない、ここに本當の活動としてのこころの消息がある。韻律形式はこの活動の定型、固定化の形態に示された一つのモメントだ、こころでは、現象となつた意識はもはや働きを持たない表象、觀念を綴り合せた思想は死んだ寄木細工だ、眞に生命のあるこころの統一、綜合は、現象ではない活動そのものの中にあるだから眞に活動してゐる作者のこころは形式を意識しはしない、かれのこころは、ただその身を具現化せんと煮えたつ熔岩にすぎない

○――○

たとへば短歌の創造に選頭するとき、五句無二音形式を意識しはしない、しかし五句無一音拍を知らぬのではない、働くこころは盲目ではない、夢を描くものは眠りなく醒めてゐなければならぬ、では醒めてゐる此活動としてのこころは何を夢みてゐるか、我々には分らない、時に感じ得るだけだ、夢をみさせるものは何であらうかこの夢の規定者を何と呼ばうか、經驗的に歸納的にはその名を呼ぶことはむづかしい、名づけやうによつてはフロイドにもアドラーにもなれる、歷史的社會的現實として生命觀、ベルグソン（ひと）アントロポロギー、理性、詩人にとつてはとりも直さず詩魂であらう、その名は兎に角、このものこそは詩的、作用としてのこころを燃やするつぼとして、一切の社會的環境と個人の素質とを包んでその創作活動を特殊性格化する規定者を指したものだ。詩形と時代の風潮との關係もここを通つて始めて明かにされる、だれかこの過程を唯觀念的ではなしに心理的に經驗的に研究してくれるひとはないか

○――○

だが夢みさせるものは何であらうと、夢みることは經驗的のわれに屬する。われは從つて夢み、創作し、活動することを感じはするこの感ずる活動こそ眞に現實的實在なんである、現はれた意識現象は生産の結果にすぎない、かくて作用、活動はわれのものだ、短歌を創るものは、この活動において短歌の本質にめざめ、それを實現しなければならぬ、三十一音を思ひ浮べつつ並べる文句がうたになるはずはない、生みの悩みにあるこころは五句三十一音形式を意識しはしない、然し活動してゐるこころの目ざしは短歌精神にさめ短歌的感動と呼ばるべき性格を持つてみなければならない、この活動自體か短歌創造の本質であらう

○――○

かくしてこの活動の發現した姿は、ぴたりと五句三十一音に收まる場合もあらう、しかしそれは不可缺のことではない、肝腎なのはこの本質的な短歌のこころを殺さずに體化せしめることだ、生命を持つた一つの形態がここに生産される、眞によい形態は移調性を持つものだ、本質を失はずに形態を移すことが出來る、五句三十一音形式の破れることは短歌にとつて致命的のことではないのだ、短歌において、この形式と本質の關係を問題にしたのは割合に近頃のことのやうだ！そこへゆくと民謠の作者は早くから民謠のこころにめざめてゐたやうに思はれる、民謠では、その形式に拘泥して本質を見失つたやうなことはなかつた、それで民謠には、寧ろ思切れのしない民謠のこころの具體化されてゐるものが多いやうに思はれる

文章を語る

室生犀星

僕は色々考へて見るか文章は率直に書くより外はないと思ふ。勿論意識して分りやすくコマカク書く方がよいと思ふ書くことがらを三通りぐらゐ考へて、そのなかの優れたものを選んで書いて行くのが苦心といふものだ。原稿紙のすべり工合で出鱈目にずつと書いてゆくのは猾く動揺にならんと思ふ頃の力をペンの先で平衡させるのはよくないと思ふ。かういふふうに書けば繁だがあゝいふふうに書けば苦しいと二通り考へた時にあとの苦しい方を選ぶのが文章の本道だと思ふ

○……○

文章はその人の原稿を見れば、考へて書いたものか、出鱈目に速り書きしたものかが直ぐ分る原稿の文字と文字の間にタイムのあるものは、字の崩ち書き方でわかるのだらういふ作者は一流であるほど一層よい作者としなければならない。殊なものしか書けない人間が速り書きで書きなぐつたあとを見るのは悲惨である。よいわるいよりも一層悲惨である。僕はさういふ文章を書く人の氣持の荒み方も解るやうな氣がする

○……○

わかりにくい文章を書く人も解りよい文章を書く人も、みな文章に選ひないのである。わかりにくいものを書かうとしたのではない文章に熟練して行くに從つて何か奥の方でさういふふうに固まつて行つたものであらう。さういふ人はそれでいいのだ。だが之から書かうとする人は分りよいことを目標にして進みもし勉強もしなければならない。泉鏡花さんの文章などは解りにくいすくなくとも解りよい方ではない然し鏡花さんぐらゐになりそれで押して行つた所では、もう解りよいも解りにくいもない。そこに特異な文章の構成があり歴史を閲して行くからである西鶴の殺何を一個の文章として見ると大變に解りにくい、奥の方でものを云つてゐるからである。然し村になるとずつと解りよくなり子規になると文章と平衡談に殺何が横にはつてゐる。萬葉の歌はわかりにくいが今様の和歌は解りよいこれも文章と同じ水平線に溶解してゐるからである。俳句や和歌がよほど優れてゐないと平凡になり文章に存まれてしまふ。文章で書けるやうな詩や俳句や和歌が次第に多くなるのは、文章の那み方にかれらの動きが狂れてゐるからである

○……○

文章はどれだけ進めばいいものか解らない、どれだけ埋まつて行くものか解らない。人間の心理の奥まると同様に進んで行くものと見なければならない。ここでいふ文章はもはや在來の使ひ古しの文章といふ言葉のみではなく、その人の總てを含む人格的なものとして考へたい。自然といふ言葉が何時の間にか凡ゆる人生のなかに應用されてゐるやうに文章といふ言葉もそのやうに考へて行きたいのである

○……○

僕は時には文章をねぢ曲げる。ねぢ曲げないと僕の文章が文章にならないからである

○……○

僕は無理に文章のなかに飛びかかつて行く。さうしないと僕の文章を掻き起すことが出來ないからである。文章のなかに喰り込むまでは文章に揺蹴もし投身もし正直か近頃の僕には甚だ苦しくなつたりもし挑戰もするのである。それでやつと叩き起すことが出來その最初の數行を摂りしめることが出來るのだ。さういふ苦しげな僕は背後に十何年かを書きつづけて來たからであり呼びさますまで材料も起きて來ないからだ。誰でも永く書いた人はさうでないかと思ふそれが本當のことだらうと思ふ。

○……○

いきなり僕は手で文章のなかへ這入つて行けない。向ふで入れてくれない時もある

○……○

僕はそんなに苦しくとも矢張り素直に行きたいと思ふ。ねぢ曲げてはゐるが根本はさわやかに素々しくない手法で書きたいと思ふ。難しくなるにはどれだけでもなれる、しかしさうすることは破滅だからだ。文章は何度でも出直してかからねばならぬ。出直すたびに出直し甲斐のある文章をつかまへねばならぬのだ

舊廳舍で開催中の楊氏個展

楊佐三郎君の個展を見る

欽一廬

楊君がデツサンの正確さに優れて居ることは枕頭の林家の庭園などの作に復活した建築物を簡潔に然かも安らかに扱つて居るのを見ても解かる。これは君の長所であると思ふ

× ×

それで楊君は、この正確さに加へてヴオツユームを出さうと努めて一種の強い線を配合しやうとする。それは可いが、然し時としてはそれが反つて有害無益に歸する結果ともなると思はれることは、要するにこの強い線の色調が具合よくコナレぬために反つて効果が減殺して來る。一と口に言へば筆の調子が崩れやすい。この點の用意は必要である。それ故三番の後庭の所見や三十六番の淡水などは君の長所を圓滿に現はすもので佳作であるが、畫面の大なるものの中には殊更に強い線を加へたのが害をして居るのもある

× ×

楊君はグレイの調に甘い趣味を持つから、さう云ふ調子の畫はよく整つて居る。然しアンバーの調子に不得意らしい。これにつまり畫の透明性を缺く結果となるかもである。それで三十一番の家屋の如きは形も可し構成も可いが陸のアンバーの調に遺憾が思はれる、陸よりもその色が突出するからである

× ×

五十四番の波紋峠のやうな畫には光の感じが出て居るが、中には明るい色を使つて居ながら明るくないものもある、これは要するに陸の扱ひ方に原因する、陸が暖めに過ぎるために光が負けたやうなのもある

× ×

楊君に自分の長所をよく自覺すると共に短所も自覺しなければならない、私の考へた所では、荒い筆の扱ひ方を更にねり、色の暖めに一と工夫を要し、明かりの表現には色の性質なり濃度なりによい方を研げず、兩面の長所と相俟つて君の藝術に特有の清新なる趣りを一層明かに見せるであらう

臺日俳壇

村上鬼城選

宜蘭　福原宮笑恩

くきやかに彫して春の月夜かな

きつねなく迷が原や月あかる

嘉中　燕　城

春寒や辻に焉げる杏仁茶

基隆　伊田　芳郁

山崩れしたまま咲きし躑躅かな

嘉中　燕　城

北吹しや大王椰子の片靡き

金山　坪井　嬰寬

炎雨水牛遊くなりにけり

洗ひ場やちかきところに蝸柳

ＪＦＡＫ　三月二十七日

▲午前八時　全國氣象通報（東京）△今日のお天氣のお知らせ△臺北測候所發表△今日の家庭料理獻立、吉野鮨の清汁、鯛丼

▲午前十一時五十九分　正午の時報△放送局編輯ニユース

▲午後〇時二十分　慰問娛樂時間（レコード演奏）獨唱と獨白（セリフ）一、菩提樹の歌（シユーベルト作曲）二、別れの歌（シユーベルト作曲）（ベルマン・ヤドロフカー）三、ヴエニスの謝肉祭（ベネデイクト作曲）フリーダ・ヘムペル四、魔王（シユーベルト作曲）マリア・イエリツア六、シエークスピアの劇の獨白ジヨン・バリモーア（イ）ハムレツト中のハムレツトの獨白（ロ）「ヘンリー六世」中のグルスターの獨白

▲午後五時　國語普及の時間臺北州七星郡の部、一、齊唱「七星郡歌」（內湖青年團及女子青年團）二、會話「農業の問答」（和水盛陳乖智）三、合唱「夕の鐘」（內湖女子青年團）四、お話「私共の生と私共」（許氏資）五、お話「男鈴薯栽培」（陳丙丁）六、齊唱「鉢をさめて」（內湖青年團員）七、お話「秀山園」謝阿琳八、齊唱「スキー民謠」（內湖女子青年團員）九、お話「農村青年」（林阿仁）十、齊唱「日本青年歌」（[illegible]）十一、合唱（[illegible]丙丁外十五名）十二、合唱「凱旋」（內湖青年團）十三、お話「[illegible]」（許氏阿金）十三、齊唱「牧人の呪き」（陳氏幼）十四、お話「花摘」（陳氏笑）十五、齊唱「流れのほとり」「荒花」（顔氏笑外十九名）十六、ヴアイオリン獨奏（呉金龍）十七、合唱「青年の歌」（內湖青年團）

▲午後六時　ＪＦＡＫ子供新聞ＪＦＡＫ子供放送

▲午後六時三十分　連續講談（東京）「渡邊五郎大」（第四席）一龍齋貞山

▲午後七時十分　新謠（東京）唄淨瑠璃松吾三味線[illegible]一、宇治茶二、飛行機（松原松鶴作詞）

▲午後七時三十分―ラヂオ・ドラマ（東京）「旗本退屈男」（全六景）原作佐々木味津三、脚色光村進二、河原崎長十郎、その他前進座員

▲午後八時三十一分　奉天より奉天放送局

▲午後八時四十分　新日本音樂一、歌謠曲「ひばり」（西條八十作詞、宮城道雄作曲）唄低音箏鈴木貞子、高音箏吉田[illegible]子、尺八佐藤[illegible]二、尺八獨奏尺八佐藤時[illegible]三、箏作奏鈴木貞子（イ）かもめ（吉田晴風作曲）（ロ）小川のほとり（吉田晴風作曲）三、尺八獨奏佐藤[illegible]古典本曲「九州鈴慕」四、第二箏奏「花園」（務原しげる作詞、宮城道雄作曲）高音箏鈴木貞子、低音箏吉田[illegible]子

▲午後九時二十分　時報△氣象通報△臺北測候所發表△翌日ニユース△放送局編輯ニユース△公示事項△明日のプログラム發表

萬なかだち

求職一件一回　壹圓貳拾錢
其他　一回　壹圓七拾錢
臨　名　前　[illegible]

結婚　媒介金錢に只一ケ所之を知らぬ者は婚に泣く　臺北市東門町一の一七　公認相和會

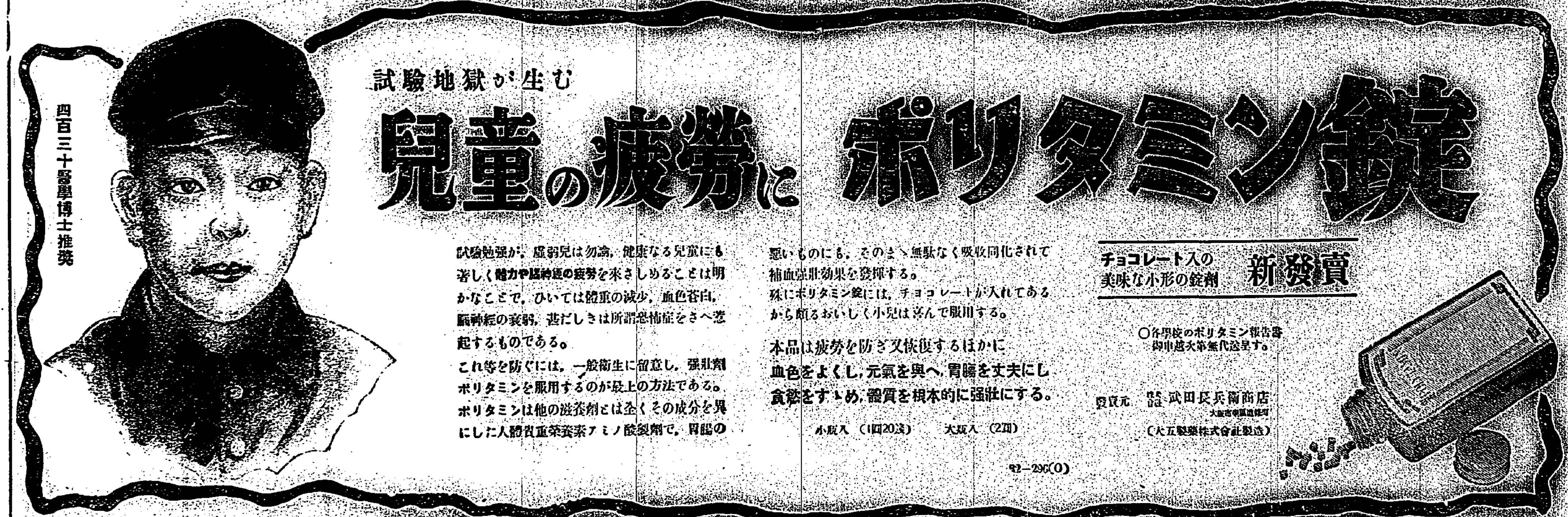
派出婦　家政婦付添婦其他派遣　新富町三幼稚園横　[illegible]

新學期　四月四日各科生募集　[illegible]　ファロス和洋裁縫研究所

貸家　新築家屋[illegible]町貸十五圓より　三圓建西門町電三二〇七[illegible]

電話賣讓り受け渡し　新起町二ノ三四　泉山商店

讓店　大和町四丁目[illegible]　電四〇六七番



四百三十醫學博士推奬

試驗地獄が生む

兒童の疲勞に　ポリタミン錠

試驗勉强が、虛弱兒は勿論、健康なる兒童にも著しく體力や腦神經の疲勞を來さしめることは明かなことで、ひいては體重の減少、血色蒼白、腦神經の衰弱、甚だしきは所謂恐怖症をさへ惹起するものである。

これ等を防ぐには、一般衞生に留意し、强壯劑ポリタミンを服用するのが最上の方法である。

ポリタミンは他の滋養劑とは全くその成分を異にした人體營重榮養素アミノ酸製劑で、胃腸の弱いものにも、そのまゝ無駄なく吸收同化されて補血强壯効果を發揮する。

殊にポリタミン錠には、チヨコレートが入れてあるから頗るおいしく小兒は喜んで服用する。

本品は疲勞を防ぎ又恢復するほかに血色をよくし，元氣を與へ，胃腸を丈夫にし食慾をすゝめ，體質を根本的に强壯にする。

小瓶入（1圓20錢）　大瓶入（2圓）

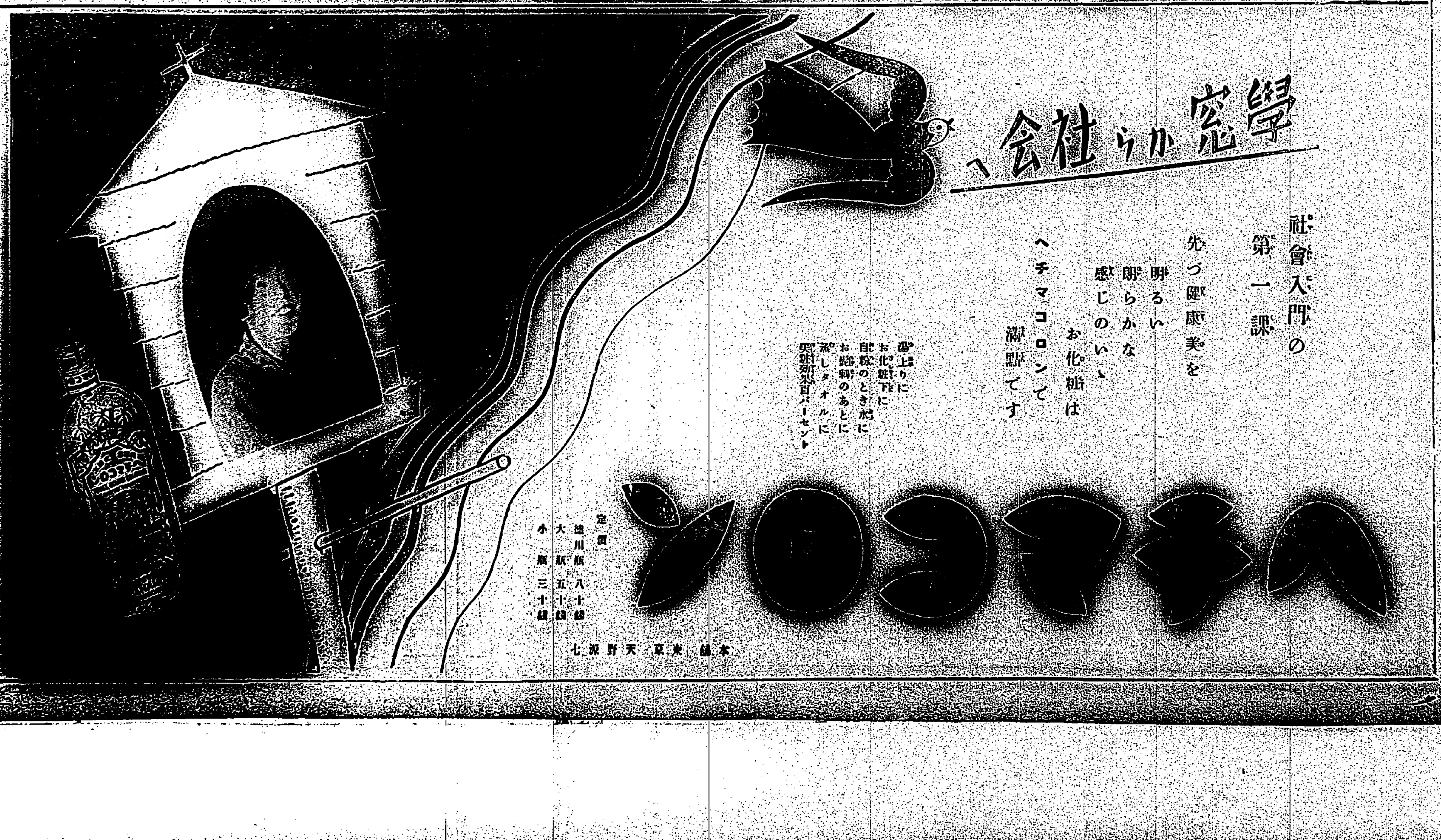
チヨコレート入の美味な小形の錠劑　新發賣

○各學校のポリタミン報告書御申越次第無代送呈す。

發賣元　武田長兵衞商店　大阪市東區道修町

（大五製藥株式會社製造）

92−296(0)



學窓から会社へ

社會入門の第一課

先づ健康美を

明るい朗らかな感じのいゝお化粧は

ヘチマコロンで満點です

湯上りに
お化粧下に
白粉のとき水に
お髭剃のあとに
蒸しタオルに
實驗効果百パーセント

ヘチマコロン

定價
徳用瓶　八十錢
大瓶　五十錢
小瓶　三十錢

本舖　東京　天野源七

現實に即した施設をして行く

神戸出帆を前に

南新總督は語る

【神戸二十六日發本社特電】初赴任の南新總督は伊勢神宮、畝傍、桃山御陵を參拜した後京都に入り二十六日午前十時半三ノ宮着、米神戸商船會社に少憩の後正午出帆の扶桑丸で白根知事、黒瀬市長、田村貿易課長等多數の

見送りを受け華やかに赴任した、政界有數の論客人として知られ[illegible]外國の新總督も手際の大事に飛び込んだ[illegible]と云はるるだけに言辭明晰、肌理もよく、そしてユーモラスな所もある

臺灣には四年前貴族院各派の人人と一緒に内地[illegible]を視察したことはあるが、よくは知らない、併しその後興味を感じて居るが東の方はまだ知らぬ、今度は

役目で視察するのだから[illegible]何も出られぬか、現實に即した施設をして行くことが僕の主義だから、改革すべきものがあれば直ぐ實行する、何事も現實と將來を考へ萬全を期したい、日月潭水電其他の事業は赴任の上よく研究し、又理蕃政策も慎重に行はねばならぬ、これは何と云つても

互ひに理解することが肝腎であるから親睦を保つことに努力する心算である

堀田交通、小濱内務

昨日大和丸で著任

こもごも抱負を語る

【基隆電話】大和丸が二十六日午後一時入港した、總乘客三百九十五名、[illegible]交通局總長堀田鼎氏、内務局長小濱淨鑛氏がお揃ひで背廣を着込んで[illegible]の中央卓子正面に相並んでお目見え宜しく構へ込むと[illegible]松本府[illegible]竹内商船[illegible]を圍んで挨拶する、春の日の麗かさは兩氏の

朗らかな初入りにふさはしかつたが先づ**堀田氏**は語る

君の父の名が鼎左衛門と云つて長すぎるので子供には一字名をつけたものです、兄の眞もそれです、總長なんて南京政府邊の役人の様ですね（とあるを石川部長がうけて初代總長の生野さん御自分も交通總長と合點して局の字をとつてしまひましたよと付け加へた）局長諸氏へのステートメントですかそれらや正直にやりますかねと洒落れて何かの口邊宜しく左の如く語つた

本島は始めてである、今回図らずも交通局總長の職に就く事となつたが總督はじめ督府首腦部總替りした事であるから一般島情は勿論交通方面の事を出來るだけ速やかに視察し熟つて新總督の手足となつて、本島交通行政に對し實際に即した獨自の見解を定め同胞諸氏の福利増進に努力したい

◇**小濱氏**は語る

私の名字は小濱淨鑛と削みますが皆が小濱と云ひますからそれにしてゐます（とあるをうけて堀田氏が清い金氣があると思つてゐればよいと洒落る）ステートメントですか只今堀田君が述べたのと同様で、と同じ[illegible]大同小異のしかし新總督長官の施政方針に則り政治を[illegible]したい即ち總督長官を補佐しその手足となりその指圖を受けて同心一體協力あるのみである[illegible]したい

とかく緒んだ兩氏との密話が始る頃交通内務兩係官長有志數十名がゾロゾロと入つて來て交々挨拶のみ挨拶しくあつて松木[illegible]が兩氏の為一同と乾杯し汽車[illegible]約半時間休憩一同と和やかに歡談した

赤堀學務課長の談

文教局學務課長赤堀鐵吉氏が督府改官令改正に關し中央當局と打合せて來たが語る

問題の師範教育令の改正は拓務省、法制局、閣議を通過し樞密院精査委員會にかけやうと云ふ所で議會が始まつた、中央教育に關する勅令の審査には教育畑出の多い樞密の小姑振りが嚴しいので四月一日から實施の所を來年四月一日より實施の事に一ヶ年延期し、樞密委員會議に對する說明は拓務省に頼んで來た改正の骨子は師範教育年限の普通科[illegible]を各々一ヶ年延長するにある

その他諸氏は明治生命[illegible]、通局[illegible]松[illegible]三郎、[illegible]その他であつた

平塚長官けふ歸北

中南部巡視から

中南部の初巡視中であつた平塚長官は豫定の日程を終へて二十七日午後三時五十五分臺北驛着にて歸北する筈

本間廳長出府

【馬公特電二十六日發】本間廳長は總督出迎へ及び事務打合せの為め[illegible]を經へ二十六日午後八時發出府來月五日歸任の豫定

遙弔式の前日に

奇しくも遺言屆く

谷口徳治氏から實兄の許へ

上海に出征して去る二月二十二日江灣鎭方面の戰鬪で名譽の戰傷を受け、後送中遂に死亡した臺北市出身の谷口徳治氏の遙弔式は既報の如く二十七日午後一時から臺北市新起町の西本願寺で舉行される筈であるが、谷口徳治氏は御用船で宇品を船出する時既に再び踏まじと固く決心をなし、實兄一雄氏に宛て、遺書をしたため

頭髮と爪を同封してあつたものが三月十七日付の軍事郵便で上海から奇しくも遙弔式の前日である二十六日に臺北市本町藤田吳服店内の一雄氏のもとに屆いた、左は其の全文であるが明るい氣持で死を覺悟した徳治氏の健氣な心情があふれてゐる

遺　言

一雄様

徳治は今幸福です、國民の熱誠なる萬歲の聲に送られて廣島に向て出發して居ります、此から宇品より乘船して戰場に向ひます、むしろ不幸にして戰場の露と消えたなら、多少なりとも貯へて有る金の内兄様の心だけ神社なり國家事業に寄附し、後は兄様が店を出す資本のたしにお使ひ下さい此の中に頭髮と爪が入れて有ります、此れが最後の兄様への贈り物です、家の事は宜敷お願ひします、今迄難謝した強健な體で國家の為め御奉公致します

歩兵第二小隊第一分隊　谷口徳治

太田前知事送別會

二十八日離臺する前臺中州知事太田吾一氏のため臺北[illegible]は二十六日正午鐵道ホテルで送別會を開き主客の間に歡談があつた

山下氏の遺骨

來月二日に著北

同五日新公園で

盛大な葬儀を擧行

島都出身軍人中名譽の戰死を遂げた山下森夫氏の遺骨は來三十日神戸發の便船にて父君に護られ四月二日臺北着の豫定との電報が到着した附後會の協議にて協議の結果四月五日新公園で[illegible]葬儀擧行の筈にて準備中である、當日の參列者は多數に上ることが豫想さるので各方面に參列者數を照會中の所既に回答に接したる向のみにても數千人に上つてゐる

總長と局長共に

朗らかな島都入り

臺北驛頭でのスナップ

新任の堀田交通局總長と小濱内務局長を乘せた列車は二十六日午後二時五十五分臺北驛に着いた、兩氏は相携へてプラットホームに降りたち大部分[illegible]局長、中川臺北州知事以下官民多數の出迎へ人の挨拶を受け共に朗かな面持で驛玄關に出で新聞社の寫眞班のカメラにをさまつたが寫眞班の一人が『もつと前へ出て下さい』といへば堀田總長『日が照つてゐるではないか、まぶしいではないかね、ハ、……』なかなか専門的な事を云ふ、やがて出迎への自動車で官邸に入つた、尚小濱局長は指に少しく負傷してゐたので途中臺北醫院にて其の手當をしてから官邸入りをした、日程では直ちに臺灣神社參拜の筈であつたが二十七日に延期された。

【寫眞右が堀田交通局總長、左が小濱内務局長】

平塚長官

霧社を弔ふ

遭難者の墓に手向け

頭を垂れて默禱

【霧社特電】日月潭湖畔涵碧樓に一夜を明かした平塚長官は二十六日朝早く宿を出で、麗しい霧に彩られた日月潭の風光を賞し七時出發、自動車にて魚池を過ぎ、八時埔里に著いた、眉溪行臺車發著所に小憩し、臺車に乘換へ埔里官民學校兒童等の見送りをうけ

眉溪に向つた、途中[illegible]林にて霧社事件當時[illegible]人の[illegible]た[illegible]を見、見晴らし臺で[illegible]十時三十分眉溪に著き[illegible]に向つたが小笠原能高郡守の案内で四から八丁の急坂を徒步で行き一行を驚かせた、午後霧社[illegible]に著き、澤井能高郡守から霧社事件當時の模様を詳細聽取した

感慨深い面持ちであつた、次いで元公學校跡に赴き一昨年秋の慘劇當時を偲び、殉職のやう[illegible]霧社遭難者の墓を弔ひ、線香を捧げ頭を垂れて默禱を久しくしたつづいて霧社を距る二十丁のホーゴー駐在所に赴き、マヘボ社頭目[illegible]花岡一郎二郎の縊死せる花岡山を見て霧社分室に引き返し警察職員一同を分室前に集めて次のやうな訓辭を與へた

私は今回霧社を初めて視察して諸君にお目にかかる事を得た此の

機會に一言御挨拶を述べたいと思ひます、諸君は普通とちがひ、[illegible]地勤務の勉強してお互ひに勤務であらうが[illegible]多大の困難があらうが色々の御努力に對し感謝の意を表し御苦労千萬に存へる次第であります、霧社事件勃發以來霧社に就ては世界の注目を喚起した從つて諸子の責任は頗る重大で各方面に注意され事件終了後[illegible]お願ひ致し度い、當時の[illegible]も[illegible]諸君は一面には威力の充實を計り、一面には蕃人を愛撫し、遺憾なく理蕃の目的を達する事が大事である、諸君は身を以て

範を示す事に心し、誠を以て局に當り誠心誠意彼等に接し、恩を施す事が必要であら、是れが爲には諸君は規律を守り何等非難の點なく一團となつて警察の目的の爲に努力して貰ひ度い、警務局長も近く當地を巡視し詳しく話があらうが私は今日初めて親しく諸君と相見て困難な諸君の勤務に對し慰安の意味を以て御挨拶を申上げた次第である、是れに對し澤井郡守より御訓辭に添ふべく職員一同努力致しますと答辭を述べ三時

霧社を出發、五時三十分埔里着、竹下臺中知事の出迎へを受けて日月潭に到着した

後方部隊の一部

内地に歸還

廿六日御裁可を仰ぐ

【東京二十六日發本社特電】陸軍省發表　上海派遣軍後方部隊の一部を内地に歸還せしめる事となり、二十六日御裁可を仰いだ上發令された

林少將以下

遺骨故國へ

〇〇丸で上海出帆

【上海二十六日發電通】林少將以下二百六十四名の陸軍戰死將士の遺骨は二十六日午前十時〇〇丸で白川軍司令官以下官民多數の告別を受け正午發内地へ向つた

臺北市民に甘い水を供給する新水道の竣功式

（上は[illegible]、下右は[illegible]、下左は祭主西澤市尹[illegible]）

日本大使館前で

反日デモの計畫

アメリカの共產黨員

【ワシントン二十五日發聯合】アメリカの共產黨員は二十六日當地日本大使館に反日デモを行ふ旨のビラを撒いた、ビラは日本及び列強の帝國主義を攻撃した激越な字句を羅列し、之等帝國主義が支那國民を奴隸化し、滿洲を日本の自由に任ぜんとしてゐると書いたものであるが、警察側は市民を煽動させては相ならないと大使館前の警戒は怠らないでゐる

臺北市の水道

擴張工事竣功式

きのふ盛大に擧行

臺北市が二百十五萬餘圓の巨費を投じ四箇年の歳月を閲して竣功せしめた水道擴張工事の竣功式は豫定の通り二十六日午前十一時から臺灣神社裏山の圓山貯水池において嚴粛に且つ盛大に擧行された、出席者は長官代理友部警務局長、中川臺北州知事、田端[illegible]局長、州、市の各協議會員、臺北市役所長其他關係

各方面の人々五百餘名、朝來日本晴れの天氣にて、式には絶好の日和であつた、一同席に着くや修祓、降神、供饌、水道開栓、祭主祝詞奏上、祭主西澤市尹、長官代理、中川知事、市協議會員代表吉鹿善次郎氏、參列員代表小松吉久氏の順序で玉串奉奠あり、次で臺北市田賀技師の工事報告、西澤市尹の式辭、平塚總務長官（友部警務局長代讀）、中川知事、市協議會員代表吉安田辭太郎氏の祝辭朗讀あり、高橋新竹州知事の祝電披露あり、零時二十五分にて式を終り、それより

撰擬店を開き充分の歡を盡し一時過ぎ盛會裡に散會した　圓山貯水池は臺灣神社の背後の傾斜地を利用したもので將來淡水河を脚下に見下し臺北市街、觀音、大屯、七星の諸山が手にとる様に見え好天氣には絶好の遊び場で遙かに臺北市民の新名所とするに足るものである、尚市役所では二十六日夜は市協議會員を梅屋敷に招いて祝賀の宴を催した

凱旋五將軍を

首相が招待

慰勞茶話會を開く

【東京二十六日發電通】犬養首相は二十六日午後三時より首相官邸に末次第二艦隊司令長官以下五艦隊司令官及び幕僚を招待し、政府側より荒木陸相、大角海相其他列席の上慰勞茶話會を催し和氣藹々裡に四時半散會した

煤煙防止の

最後的懇談

宣傳ビラ配布及び

講演會開催を決定

既報島都大臺北市の一部を構成する大稻埕を煤煙の汚濁より救ふべく管内臺人有志者によつて組織された北區煤煙防止會も各關係の生石炭使用禁止決議、生石炭に代るべき主要燃料ガラ、コークス等の配給交渉等を經て更に「生石炭を使用すれば一圓以上百圓以下の過怠科に處す」との保甲規約の[illegible]

大半を遂したが、後に加と相俟つて既に運動目的の達された關係として煤煙防止宣傳講演會實施計畫その他につき協議すべく二十六日午後二時半より市内太平町四丁目稻江信用組合樓上において實行委員の最後的懇談會を開催した　同會顧問岩田北署長、同顧問[illegible]氏、會長郭廷俊氏の他十數名出席、先づ岩田署長より防止會の經過報告があつた後、次の如き宣傳ビラ「煤煙防止について」四萬枚を各戸に配付する事及び煤煙防止宣傳講演會實施計畫につき

協議した後午後五時頃散會した

煤煙防止について

- 一、生石炭を焚くと煤煙が出て衛生上は勿論都市の美觀を損ひ且つ產業上の發展を阻止します
- 一、生石炭に代るべき主要燃料ガラの火付は生石炭とあまり變りはありません、コークスも細かに碎くと良く燃えます
- 一、ガラやコークスが生石炭より高いと云ふ事は全く杞憂です、目下の時價生石炭百斤六十餘錢に對しガラ、コークス（三等品）は百斤につき七十五錢乃至八十錢位で、現價で比較すると多少高い様に思はれますが生石炭程分量を要さないから結局生石炭を焚く時よりも廉價になります
- 一、現在の竈でも立派に焚けます但し十人以上の家族の所は少々竈の底を深く狹く直せば尚ほ結構ですが現在の儘でも充分に間に合ひます
- 一、ガラ、コークスの販賣所は蓬萊公學校側の永樂市場や防保商會、義香齋餅店その他各石炭販賣店です
- 一、生石炭を焚いたら一圓以上百圓以下の保甲過怠に處されます
- 一、今からすぐ實行して下さい

講演會實施計畫

一、期日、三月二十九日午後一時より新舞臺、三月三十日午後七時より太平公學校講堂、三月三十一日午後一時より永樂座、四月一日午後七時より靜修女學校、四月二日午後七時より大稻埕公學校、四月五日午後一時より第三世界館、四月六日午後七時より蓬萊公學校

他の催し物

衛生に關する映畫、面白い漫畫多數

基隆市廳舍

竣功祝賀會

四月一日開催

基隆市協議會員及公私社主催で左記により市廳舍竣功祝賀會を開催[illegible]

臺日映畫公開

日時　廿七日午後七時（雨天順延）

場所　新公園廣場

映畫　肉彈三勇士

陸軍省當局が勇猛果敢なる大和魂を萬代に記念すべく[illegible]をして現場に於て實行せしめたる當時の壯烈なる撮影

▽漫畫「おい等の野球」▽喜劇「彌次喜多」▽其他

主催　臺灣日日新報社

木越安綱男

きのふ逝く

【東京二十六日發電通】陸軍中將木越安綱男は二十六日午前一時逝去した享年七十六歲

瑞穗會例會

[illegible]二十八日午後七時より[illegible]で本月の例會を催すが講演は左の如く

『大觀[illegible]』[illegible]

『[illegible]』[illegible]

鄉軍城内分會總會

在鄉軍人臺北城内分會總會は二十七日午前九時より[illegible]において開催される[illegible]の講演がある筈

軟式野球第二次戰

で會計、五月勝つ

臺北軟式野球協會主催第二回軟式野球大會第二次戰の中二試合が二十六日午後一時より新公園にて開始されたが會計及び五月が勝ち殘つた

會　計　三一〇　專賣

五月倶樂部　九Ａ一二　[illegible]

訂正

二十七日附本紙夕刊に臺中州北斗郡沙山庄の保安林所跡地一千二百甲に[illegible]とあるは『二千甲』の誤につき訂正す

けふの催し物

△故谷口徳治君遙弔式　午後一時西本願寺別院

△生田花朝三教授茶會　正午から鐵道ホテル[illegible]

△[illegible]三郎氏歡迎歡送會

△[illegible]　午後六時より

◎電化した宮田クリーニング店　石坊町二ノ四　動力　電熱　悉く電氣應用

◇電氣昇天の新興キネマ[illegible]大名篇公開◇　河津清三郎　徳川良子　牧英勝[illegible]

漢文臺灣日日新報

保證準備擴張案
擬提出於特別議會
積極政策漸現

二十六日東京電。高橋藏相。就懸案中日銀兌換券發行保證準備擴張一事。決定對次回特別議會。提出法律案。而擴張保證準備時。取納附金制度制定方針。大體保證準備。以不須制限外發行之限度。適當擴張之。若須限外發行。則改制度。俾得以金利政策調節之也。

管束思想大興土木
使民生活安定
鈴木內相抱負談

二十六日東京電。鈴木新任內相。二十五日夜。就今後內務行政方針語左。余以內相。思爲最重大者。乃思想問題。社會不安等。其對於是。擬徹底的管束之。究思想惡化。乃由生活不安定所致。一方須勵行過激思想管束。防微杜漸。未雨綢繆。不可似前內閣之極端緊縮。造成失業者。使思想激化。宜救濟失業者。積極的防止失業。使國民生活安定。故以危險思想防止爲第一事。一面管束思想。大興土木事業。且社會行政亦要用意。內務首腦部及地方長官。不行異動。現內閣既計畫之事。不因大臣異動而變遷。選舉法或將改正。亦未可知也。

從來裁判甚遲
欲使其速以洽民意
川村法相抱負談

二十六日東京電。新任川村法相語左。元來司法部之事。余爲門外漢。今回任法相。第一須尊重司法權。發揚其威嚴。此固勿論。鑑于最近人心險惡。社會狀態不安。爲圖社會人心安定。擬十分盡力。又從來裁判。大有遲延之譏。裁判從速進行之事。亦擬努力。以洽民意也。

旅團先發二個列車
從哈爾賓出動
與飛機等共討叛軍

二十五日奉天電。○旅團先發二個列車。既於二十三日。從哈爾賓出動。又敦化獨立守備六大隊亦北上。被二十八日抵寧安。飛行隊亦擬多數參加。討伐叛軍云。

多門○團主力
移於賓縣
征反吉林軍

二十五日奉天電。爲討伐東鐵道西部之反吉林軍。多門○團主力。近將移于賓縣。

長谷部部隊
聚于賓縣

二十五日奉天電。長谷部少將部隊。二十四日正午已集合於賓縣。天野少將所指揮部隊。二十四日午前一時。募結于烏吉密。

政友會幹部
人選協議

二十五日東京電。政友會於二十五日午後八時。在久原幹事長邸。開院內外總務會。協議幹部改選。筆頭總務定爲久原房之助氏。幹事長爲山崎達之輔氏。

南市避難民八十萬
共產黨便衣隊跳梁
流言四出有暴動之虞

二十五日上海電。據南市歸於閘北之中國人所談。南市避難民。約達八十萬人。衣食皆不足。有不穩之兆。共產黨便衣隊等。遂居爲奇貨。到處跳梁。甚流四出。有暴動朕兆云。

滿洲國採用
金本位制

二十五日長春聯合電。滿洲國爲振興貿易。回復國際的信用。確定採用金本位制。其由銀本位。轉換于金本位。擬由漸進的而行。

小砂灘及東京城附近
與數百敵兵交戰
我戰死七名負傷十五名
敵兵殆歸全滅

二十五日奉天電。自敦化向寧安進軍中之獨立守備○大隊右縱隊。二十三四兩日。在小砂灘附近。遇數百匪賊。我軍戰死二名。負傷七名。又左縱隊。於二十四日午前十一時。在斗溝子及東京城。受匪賊包圍攻擊。今林中尉以下五名戰死。八名負傷。敵殆于全滅。

臺中州
帽子查定會

臺中州訂來二十八日。集州下帽子檢查員。于元八堡州事務所。開等級別標準帽查定會。又本年一月採定勝帽子不少。如斯狀況。今後景氣。料必好于昨年云。

模範地主
愛佃施設

七星郡士林庄社子字社子模範地主陳希郎氏。素對業佃會。頗贊同趣旨。于明二十七日午後一時。主開愛佃施設懇談會。出席佃人二十三名。就業佃所關事宜。披誠懇談。企圖農產增殖云。

宜蘭平農公司
籌設鳳梨
罐詰工場

宜蘭地方。鳳梨試栽結果。適合風土。成績頗佳。前年櫻井州技師。合到實地視察。認爲佳績。再來栽培者激增。宜蘭郡。約近百甲之栽培面積。合羅東郡下。面積益多。宜蘭平農公司。感有創設鳳梨罐詰工場之要。籌備計畫。去二十四日午後二時。於宜蘭中北街。該公司事務所。開役員會。協議一、鳳梨工場創設之件。二、株金徵納之件。三、總會招集期日擬本月末之件。以上諸案。皆照原案可決。其實行方法。一任公司代表者。李珪璋氏。爰爲措理。午後五時頃閉會。

大茅公卒業式

東勢郡大茅埔公學校。去二十三日午後一時起。在該校舉行本科第七回卒業證書授與式。古藤郡守。新保視學。及其他關係官民。保護者等。多數臨席。朱校長。奉讀勅語。次授與卒業證書並賞狀。及報告學事。並訓告一場。次古藤郡守訓詞。來賓述祝。卒業生總代答辭。卒業生唱謝恩歌。修業生唱螢光歌。至午後三時閉式。參觀陳列成績品。後退出。

選舉法根本大改正
政府政黨開始運動
作成有效適切草案

二十五日東京特電。司法省就多年宿案之選舉法。爲根本的大改正。政府政黨開始改正促進運動。大爲喚起輿論。經皆川次長作案中。次長私案。極爲有效適切。其要點如左。

一、有權投票者日當支給件。

二、選舉資格年齡。低下滿二十歲。軍人學生亦與選舉權。

三、制定連座罰（單位爲村之十字。若一字有出一則爲字全部連帶責任。二選舉違反者確定有罪。停止公權）

四、協定選舉費用（候補者與府縣官吏共同協定。以府縣獨立單位。決定費用）

五、地方特殊利益誘導獎勵。

六、撤廢村單位開票場。斯于投票買收違反激減。及助長自由選舉之美風等。視爲有效果矣。

取調密屠豚

嘉義郡水上庄番子寮人張受。年五十五。同黃桂枝年二十四。兩名共謀。于去二十一、三、兩日。在同所黃楯家。密屠豚一頭。被該管派出所巡查。探知告發。二十五日將兩名召喚入司法室訊問中云。

滿洲移民濫觴
大凌河集團農場
移民十家族先到

二十五日大連電。滿洲新國家成立。各方面計畫滿洲大移民。此次大凌河附近。新設大凌河集團農場。萬端準備已周。二十三日有十家族之移民到著。此即移民濫觴。至四月一日。必有四十家族渡滿。彼等爲豫防土匪。攜有小銃五十挺。彈藥多數云。

北署定期召集

臺北北署定期召集。全員百四十餘名。由岩田署長指揮之下。自二十六日午前八時起。集合在市內圓山運動場。舉行操練云。

竊人家金器
賭博輸去

北港郡北港街好收人蔡茂源之妻蔡李氏分。自本月八日。至同十七日之間。將所有之金器指輪。外四點。計重十一匁一分。時價值金七十三圓餘。收置于寢室棺櫃內。不期失去。將情報官。郡愛川。黃兩刑事接報。立至現場查檢。就被害狀況細推。必詳知內情者之所爲。乃極力內偵。聞有同所人黃老得者。年二十四。與被害者蔡茂源。以結爲說兄弟。素出入其家。且近日中有賭輸多金子風評。遂以同人爲被疑者。使帶入郡內嚴究。乃自白於三月八日。乘被害者家族不在中。潛入其家。由棺櫃內竊取所有金器。即刻帶往北港街北港四四二金銀細工業鄭水池處。以一匁五圓八十錢之廉價售出。得金五十圓。當日午後三時頃。以好收人黃企。蕭輻外二人爲內場。木人與蔡路漢二人爲外場。在好收南方約五百步黃百之閣中。賭博投。將所賣之金員。全部輸去。一二干人犯。已全部召入警察課嚴問中云。

時評

○滿洲國承認。各國空氣。轉爲有利。個人要圓滿。畢竟國際。亦要圓滿。

○臺北新水道告竣。二十六日舉盛大竣工式。此後島都市民。飲水思源。同時人人向大臺北市努力。爲第一要義。

○臺高本年得入東大者。比較的少數。望此後在學生。更加一層勉勵努力。

○小濱內務。堀田交通。昨二十六日又復到任。島內諸物任高官。內容略整。

○中瀨臺北。以自先代溫岳先生。即久任臺灣關係。爲愛護臺灣之精神。不落人後。今川臺南。多年爲農務課長。其所云欲致力於糖業之向上。正所以傾注精神。竹下臺中。襲爲督府社會課長時。力倡本島人查某嫺制度之撤廢。中臺灣多富家。因而查某嫺數。較他處爲多。此後向此方面努力。卽所以解放從來受束縛之本島少女。俾於覆盆之下。重見天日也。

各大學考試略完
附臺北高校出身者成績

除臺北帝大外各帝國大學。因高等學校增設結果。對高校卒業生。難盡收容。爲是各學部。殆皆行選拔試驗。即如醫學部。其得入學現狀。甚非容易。臺北高校。希望入東京帝大者。約八十名。其他則爲京大。九州帝大。臺北帝大等。今年度卒業生。未得進出大學者。合計約有二百名。至日前。各大學選拔試驗。略告終了。據學校當局接到通知。無試驗入學者。合經試驗入學者九十七名。其中無試驗入學者六十名。試驗合格者。不過三十七名。其中本島人合格者。東大法學部政治科曾新出。東北工學部機械呂琪石。長崎醫大郭萬一。張嘉英諸氏云。

臺北州水產會
開通常總代會
諸議案全部可決

臺北州水產會通常總代會。二十五日午前十時。開于州會議室。議員出席者二十三名。督府與儀技師列席。副會長岩滿內務部長就議長席。述州下水產業前年來深刻不況。重以最近遭難漁船頻發。金融極度逼迫等。以致漁業生產萎縮。此就基隆魚市場觀之。其經理額。比前年減三成六分。更視一昨年。減四成六分。如是當業者中。收支不和盤。陷于經營困難。至有停業者。其影響甚大。實所遺憾。本會事業。其急要施設經營者甚夥。目下鑑于水產經濟之窮狀。對于人件費及事業費。除不得已而外。爲之整理節約。其剩餘財源。據悉充爲獎勵助成方面。然此前年度。猶減四千五百圓。如此不況時。于本豫算編成之際。甚費苦心。陷于編成難。致延會期。此點望爲體諒云云。次入議事。第一議案昭和五年度事業報告及收支決算承認件。滿場無異議可決。第二議案同七年度經費收支豫算並分賦收入方法件。金高和泉兩氏一二質問。參與答辯後。照原案可決。第三議案同七年度特別會計救護資金收支豫算件。第四議案同珊瑚漁業獎勵金借入件。均無何等質問。原案可決。第五議案役員選任及辭任件。蓋平川會長辭任。于是滿場一致。決定選任中瀨臺北州知事爲會長。十一時十分。議事告畢休憩。其時參與員與議員間。就頭圍漁港調查其他。交換意見。正午閉會。又臺北州水產會七年度豫算。凡六萬二千八百八十六圓。特別會計救護資金四千六百圓。珊瑚漁業獎勵金借入十萬圓。

臺灣茶共同販賣所
第四回通常總會
大體原照案可決

有限責任販賣組合臺灣茶共販賣所第四回通常總會。二十五日午後二時。開于蓬萊閣。組合員百五十五名中。出席者合委任狀。計九十九名。來賓府則猪俣特產課長。夢野技手。茶檢查所員。州則富田勸業課長。宮永技手。高石屬。潘產業書記。郡則鈴樹淡水郡守。呂產業技手。其他一同既著席。理事鈴木恒誠氏就議長席。敍開會詞。對議事錄署名者。指名江文通。姜瑞昌兩氏。由是報告議事日程。附議一、昭和六年度收支決算及事業報告件。二、準備金及特別積立金融通于事業資金件。三、餘裕金管理方法件。無異議承認。次入決議事項。一、借入金最高限度件。一、定款變更件。一、內規變更件。一、理事監事改選件（因川村前理事長轉調。後任選舉常任一郎氏。其他對藤田兩監事轉任補缺）。一、退職役員與件（前理事長中瀨拙夫氏辭任慰勞）。一、附帶決議件。以上大體無異議可決。約近四時閉會。繼于午後六時。在同處大開懇親會。

竹市公質賣出

新竹市公設質舖。去二十六日午前九時起。在新竹公會堂。陳列流質品三百數十點發售。

嘉義同愛院
陣容告齊
按一日開業

嘉義一三會所籌設同愛院。經作及當局手續。已全部完了。定四月一日起。每日午前九時至午後四時。在市內元町四丁目九九番地開業。同會員中醫師十名。日輪流診察。外更聘東京醫專謝林吉氏爲醫員。囑託陳氏密爲產婆。一般患者。藥代半價。市郡下貧困者。若同會員案診券。始終無料施療。同會創立總會。去二十五日午後八時。開于福醫院內。詳定各係役員云。

恐喝其叔受懲役
出獄後行兇雪恨

臺南州東石郡義竹庄義竹五三七番地翁份。年二十一。昨年中。因恐喝其叔翁清草。年四十五。被當局捕去。以脅迫罪受懲役。最近出獄。去二十四日午前十一時。與同處翁元。（年二十五）共謀。在同庄役場附近路上。襲擊翁清草。並出臺灣刀。斬其右腳。陷於重傷。被害者。急舁入臺南醫院治療。生命危篤。又加害者兩名。自現場逃去。同郡警察課。正嚴重搜查中云。

豐原清潔日程

豐原街。決定依左記日程。施行春季大清潔。但雨天則延。三月二十八日豐原一二三四區。同二十九日豐原五六七八區。同三十日豐原九區。圳寮區。大湳區。同三十一日下南坑一二三區。鎌仔坑口區。四月三日官公衙。銀行。會社之廳舍及宿舍。四月四日烏牛欄一二區。社皮區。東勢坑區。四月六日翁子一二區。四月七日上南坑一二區。四月九日朴子口區。四月十一日。公館。北坑。中坑。南坑。

仰山吟社例會

宜蘭仰山吟社。由値東幹事。張明理。陳玉枝。李燃新三氏主倡。訂本二十七日。午後一時起。假宜蘭追遠堂。爲日前出席全島詩會出席者。李奐非林簡坡諸氏洗塵。並開例會。附記同社由陳金波李琛璜張振茂林木泉蔡老柯諸氏主唱。於去二十五日午後七時。假宜蘭街成興樓。爲目下來宜中之鹿港詩人施梅樵氏開歡迎吟宴。

北斗
大會提案

北斗郡三林實業協會。爲來四月二日將開於嘉義之全島實業大會。決定派出代表出席。日前役員會。決議舉陳建上楊潤。洪福衛。洪文滔五氏。爲代表出席。並提出左記議題。一、防風林完成之件。二、甘蔗區域撤廢之件。

造林新植

北斗郡下沙山庄草湖造林事務所。昭和六年度豫算中。對於草湖保安林第二期造林。新植苗木區域六十甲。補植苗木區域四十甲。每日人夫。百二十名。自早晨就爭出役。去二月二十九日著手栽植。按三月末日全部終了云。

詩壇

日月潭　小室翠雲

大尖水社聳晴空。獨木丹海日月通。終古碧潭無記識。當櫻陣陣太初風。

水而風生縠有紋。峯巒四面沒斜曛。山光較潔嘘成氣。幻作中天日月雲。

又絕句二首

來探蕃社地。兩岸帶春煙。笑卓非逕發。婆娑幾歲年。即野火燒不盡。春風吹又生意。

嶽色扉風繞。潭光一鏡明。流石大火嶼。雨後觀桃成。

涵碧樓

天女祠滄白鷺洲。詩人載酒泛輕舟。禰猴照見有佳句。落日紅中涵碧樓。

介首多半游心太初。落日紅中句。便是貴家設色鮮艷之法。　潤庵漫評

全島聯吟大會
春寒
詞宗（左□□　右□□）選

左五　施炳揚

冷冷一夜迫寒櫳。凍雀頻呵小院中。節近清明猶醞雨。衣穿白袷不禁風。待催淑氣花初放。欲剪宜春字未工。太息無人思挾纊。何如熱血付詩筒。

右五左四七　張鏡村

破窓凍硯雪初融。添盡棉衣未斂烘。日冷柳眉慵出綠。風多桃臉惜舒紅。尋詩驢背肌生粟。把酒床頭[illegible]

[illegible]欲遙。安得[illegible]不敢世上有寒[illegible]

左六　[illegible]

二月江城雪未融。[illegible]日雨空濛。況[illegible]剪。漠漠長霄月[illegible]炭客來千里外。[illegible]一樓中。竹看[illegible]都料春寒陰[illegible]

左七右三十八　[illegible]

未減寒威小院東。[illegible]寂又濛濛。蝶[illegible]雨。桃李無言對[illegible]遍狐裘霜已白。[illegible]火初紅。朱門夜[illegible]誰憶袁安臥雪中。

右七左四一　[illegible]

青衣催火處處同。[illegible]閣令家童。添[illegible]上。送炭無人到[illegible]夜詩成歡夜月。[illegible]對春風。歸袍[illegible]旅外徘徊看洛[illegible]

左八右四③　[illegible]

料峭寒天雪未[illegible]凍待春風。[illegible]白。獸炭添來活[illegible]手妻呼双袖捲。[illegible]一金翠。朱門衣[illegible]誰念袁安臥雪中。

所欲如意

人不能無慾望。吾人須使慾望滿足。如欲使食慾滿足。當以味の素爲先驅。

登錄商標

味の素　あぢのもと

近有假貨。請認明眞商標。

[illegible]　鈴木商店

學生服・カバン　カツバ・大[illegible]